

第35号住居跡 (第59図)

R-4 グリッドに位置する。第27号住居跡・第10号土坑に切られ、第37号住居跡を切っており、第26号住居跡の上に乗っている。平面は、東西が調査区外で不明である。

カマドは検出できなかった。

遺物は、覆土より土師器坏が出土した。

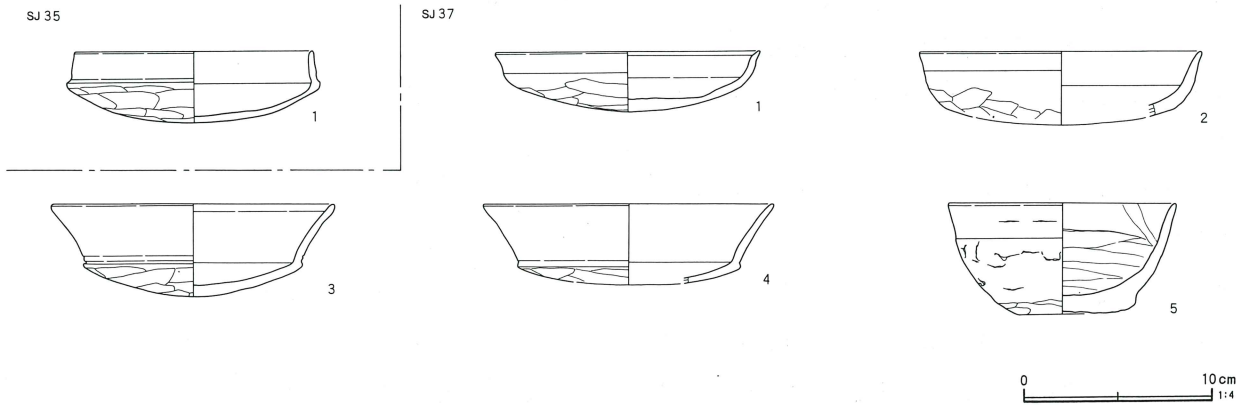
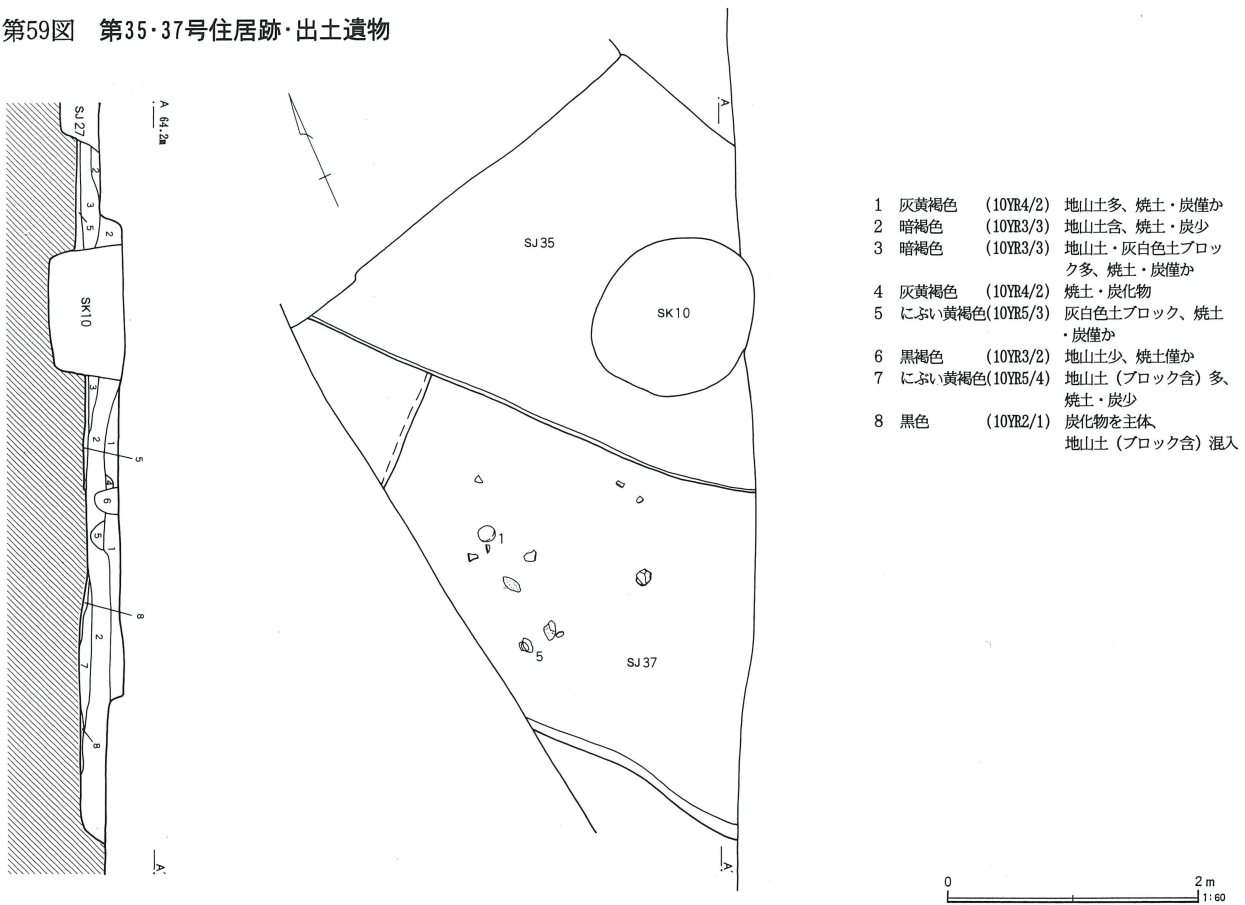
第37号住居跡 (第59図)

R-4 グリッドに位置する。第35号住居跡に切られている。平面は東西が調査区外で、不明である。

カマドは検出できなかった。

遺物は、土師器坏が出土した。

第59図 第35・37号住居跡・出土遺物



第35号住居跡出土遺物観察表 (第59図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.6)	3.8		B J	普通	褐灰	30		

第37号住居跡出土遺物観察表 (第59図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	14.0	3.2		B J L	良	褐	100	No6	床
2	坏	(15.0)			B	不良	橙	20		
3	坏	(15.0)	4.9		B D J L	不良	橙	40		
4	坏	(15.4)			B E F	不良	にぶい黄橙	25		
5	坏	12.1	5.9	6.3	B E F	普通	にぶい橙	100	No1	床 + 4 cm 体部下端・底部ヘラ調整

第36号住居跡 (第60図)

N-8グリッドに位置する。北西部を第30号住居跡に切られ、第34号・第73号住居跡を切り、第50号・第51号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長4.12m×4.03mの方形で、深さ20cm程を測る。主軸方位

は、N-19°-Wを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は117cm×52cmの楕円形で中央部が床面から5cm程ピット状に窪んでいる。

遺物は、土師器坏・甕、土錘が出土した。

第36号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.48)	1.19	(0.55)	(1.21)	B a	淡黄	25	D区
2	(2.10)	1.44	0.55	(2.56)	B a	にぶい黄橙	20	B区
3	(2.95)	1.41	0.45	(3.45)	B	橙	30	B区
4	(3.81)	1.43	0.58	(5.27)	B a	黒褐	50	D区
5	(3.87)	1.60	0.65	(7.45)	B a	にぶい黄橙	50	B区
6	(3.85)	1.64	0.65	(8.46)	B a	にぶい黄橙	50	B区
7	(5.24)	1.52	0.55	(11.31)	B a	褐灰	60	D区
8	(6.57)	1.77	0.50	(17.81)	B a	淡黄	95	B区

第36号住居跡出土遺物観察表 (第60図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	椀	14.1	5.8		B D	普通	褐	50	No3・5・カマド	
2	甕	(20.0)			A B D	良	にぶい橙	10	B区	

第38号住居跡 (第61図)

N-8グリッドに位置する。第30号住居跡に切られ、第36号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長2.74m×2.53mの方形と推定でき、深さ9cm程を測る。主軸方位は、N-12°-Wを指す。

さ50cm程を測る。主軸方位は、N-31°-Wを指す。

カマドは、北西壁に設けられている。カマドの南は調査区域外になっている。

遺物は、須恵器皿、土師器甕が出土した。

カマドは、北壁に設けられている。燃焼部は、97cm×60cmで、中央部が床面から15cm程ピット状に窪んでいる。

遺物は、土師器片が出土したが、図示できるものは出土しなかった。

第40号住居跡 (第63・64図)

Q-4グリッドを中心に位置する。第10号住居跡の下にあり、カマド先端が調査区外になっている。平面は、軸長3.57m×3.40mの方形で、深さ20cm程を測る。主軸方位は、N-135°-Eを指す。

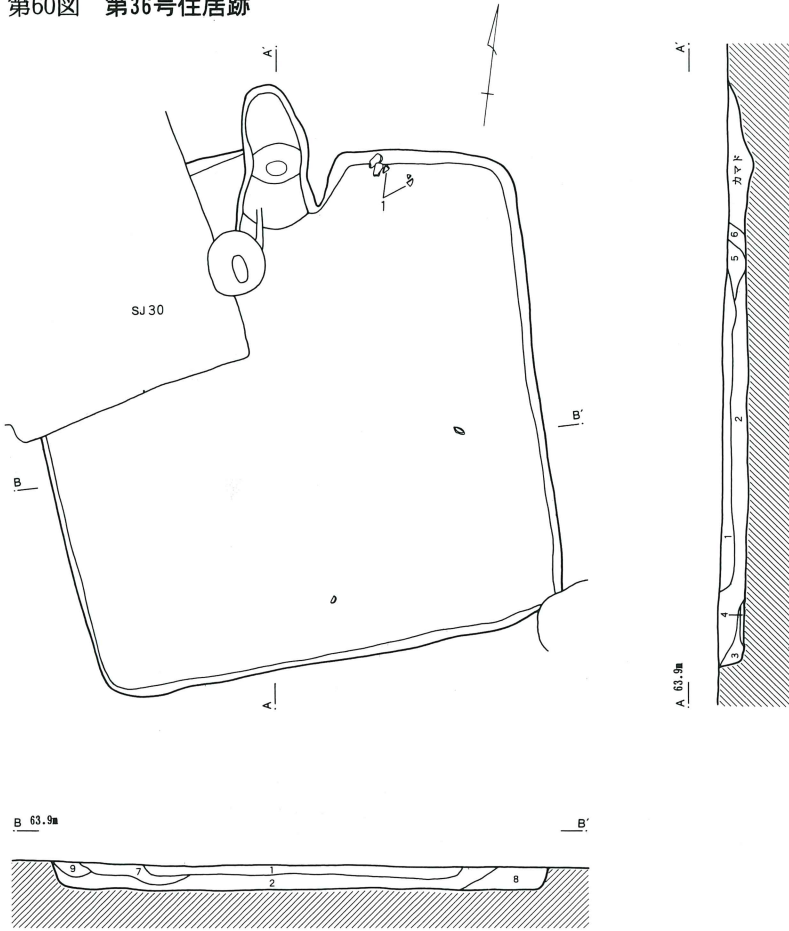
カマドは、南東壁のやや南西よりに設けられている。燃焼部は、72cm×60cmで僅かな窪み状を呈している。

第39号住居跡 (第62図)

Q-4グリッドに位置する。第27号住居跡を切っている。平面は、北西壁が3.43m確認できたのみで、深

遺物は、土師器坏・高杯・甕、土錘が出土した。

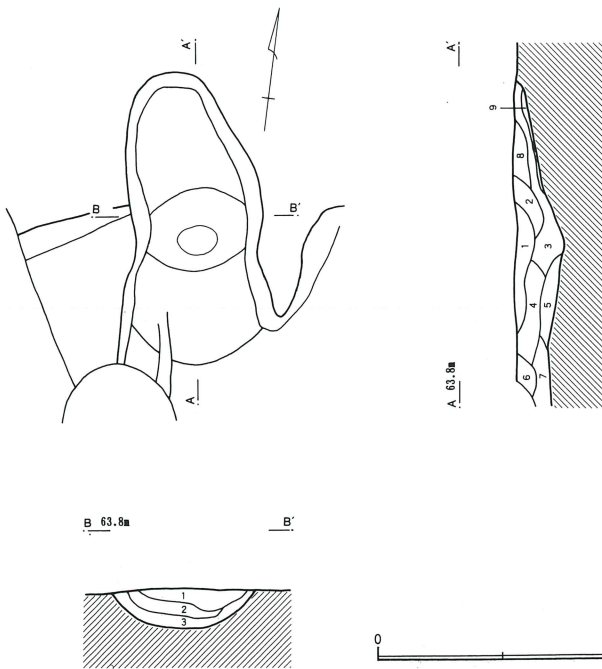
第60図 第36号住居跡



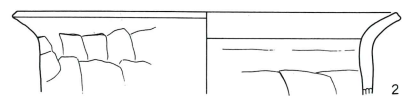
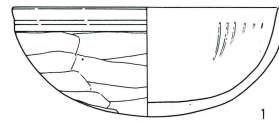
- 1 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 2 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土やや多
- 3 茶褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 4 暗黄褐色 (10YR7/8) 暗褐色土やや多
- 5 暗赤褐色焼土(5YR5/6) 暗褐色土・炭化物多
- 6 暗黄褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物少
- 7 褐色 (10YR6/8) 焼土・炭化物極く僅か、黄褐色土多
- 8 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土多
- 9 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少

0 2 m
1:60

カマド

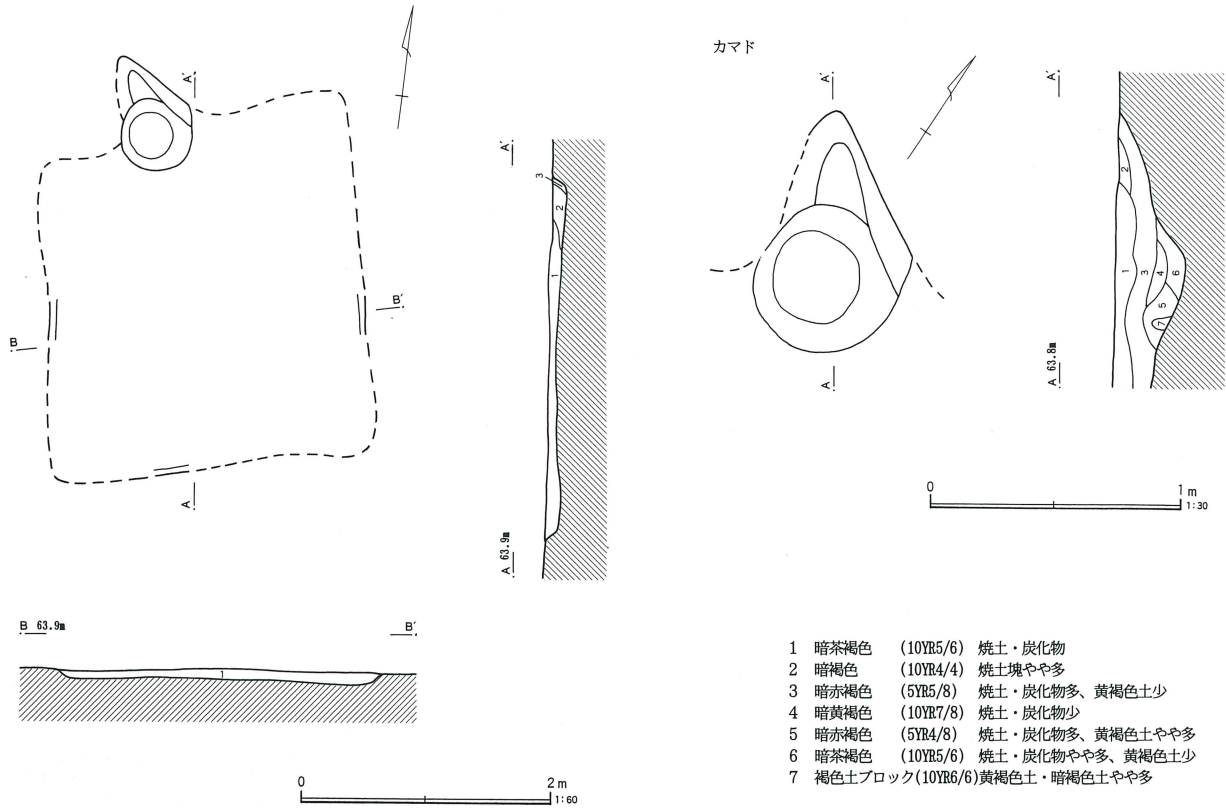


- 1 茶褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物・灰褐色土やや多
- 2 橙褐色 (5YR6/8) 焼土層、炭化物・暗褐色土やや多
- 3 暗茶褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物を多、暗橙褐色土
- 4 茶褐色 (10YR5/8) 焼土・炭化物やや多、灰褐色土少
- 5 暗褐色 (10YR5/4) 褐色土・灰褐色土少
- 6 茶褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物やや多、灰褐色土少
- 7 茶褐色 (10YR5/8) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 8 茶褐色 (10YR5/8) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多
- 9 暗黄褐色 (10YR7/8) 暗褐色土少



0 10 cm
1:4

第61図 第38号住居跡・カマド



- 1 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
 2 暗赤褐色焼土(5YR5/6) 暗褐色土・炭化物多
 3 暗黄褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物少

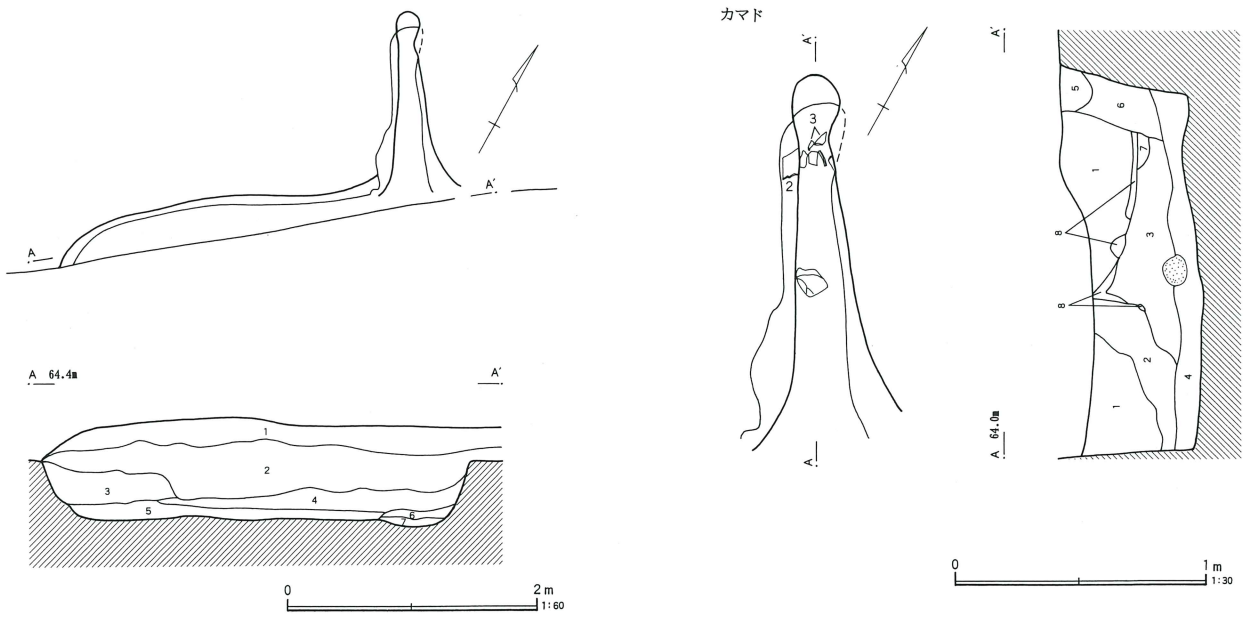
第39号住居跡出土遺物観察表 (第62図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	皿			5.8	B J L	良	灰	90	カマド	カマド 底部右回転糸切り
2	甕	(20.8)			E	普通	にぶい橙	15	No8	カマド
3	甕	(20.0)			A D G	普通	にぶい橙	10	No1・2	カマド

第40号住居跡出土土錘観察表

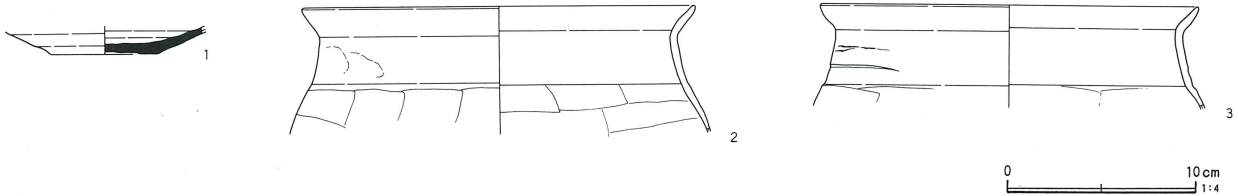
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	4.73	1.50	0.62	8.49	B a V	にぶい黄橙	100	
2	(5.35)	2.40	0.54	(19.35)	B a	にぶい橙	90	

第62図 第39号住居跡



- 1 耕作土
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少、炭化物・焼土少
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 地山土若干、炭化物・焼土少
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少、炭化物・焼土少
- 5 黒褐色 (10YR3/1) 地山土・炭化物・焼土少
- 6 黒褐色 (10YR3/2) 地山土やや多く、地山ブロック多、
焼土・炭化物少
- 7 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多

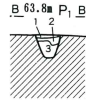
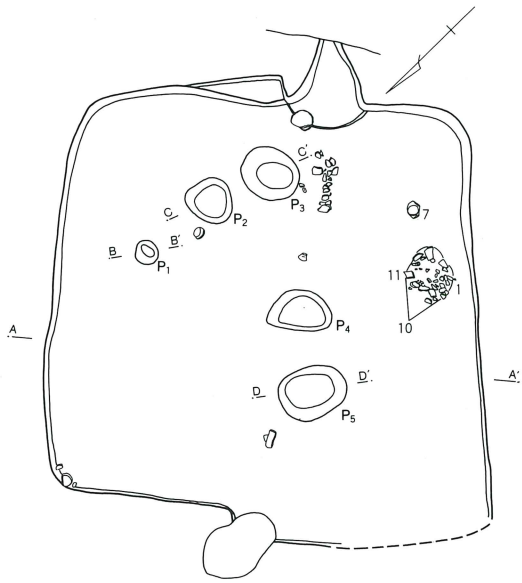
- 1 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土やや多く、地山ブロック多
焼土・炭化物少
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 地山土、焼土・炭化物少
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多
- 5 暗褐色 (10YR3/3) 炭・地山土少、焼土僅か
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 炭・焼土少、地山土均等に多
- 7 黒褐色 (10YR3/2) 地山土多
- 8 焼土



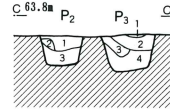
第40号住居跡出土遺物観察表 (第64図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.4)	4.7		B E G H	普通	にぶい赤褐	45	Na19	
2	坏	(13.0)		B H	普通	にぶい橙	25			
3	坏	(12.0)		B	普通	黒褐	20	P 3		
4	坏	(14.0)		E H J	普通	橙	15			
5	高坏				A B E J	普通	明赤褐	90	Na5	カマド 底部木葉痕
6	甕		8.8		A E J	普通	にぶい褐	60		
7	甕		7.7		A E F	不良	橙	90	Na15	
8	甕			(5.0)	B	不良	橙	25		
9	甕			2.4	J	不良	にぶい橙	60		
10	甗	(23.0)			B E J L	普通	にぶい黄橙	20	Na16 ~ 18・21	11 と同一個体
11	甗			9.4	B E J L	普通	にぶい黄橙	40	Na18	10 と同一個体

第63図 第40号住居跡・カマド

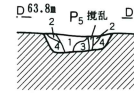


- P 1
 1 明黄褐色シルト(10YR6/6)
 2 褐色シルト (10YR4/6)
 3 黄褐色シルト (10YR5/6)

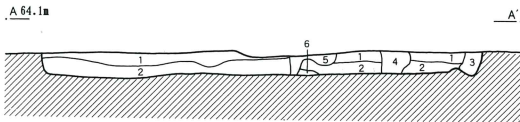


- P 2
 1 黄褐色シルト (10YR5/6)
 2 明黄褐色シルト(10YR6/8)
 3 黄褐色 (10YR5/8) 極締まり強い

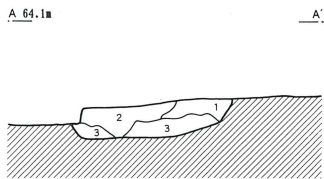
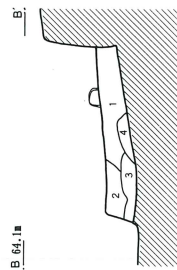
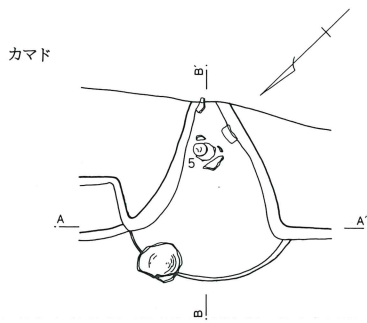
- P 3
 1 褐色 (10YR4/6) 焼土・灰白色シルト
 2 にぶい黄褐色(10YR5/4) 灰白色シルト、炭化粒子
 3 褐色 (10YR4/4)
 4 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物粒子



- P 5
 1 黒褐色 (10YR3/2) 焼土粒子
 2 暗褐色 (10YR3/3)
 3 明黄褐色 (10YR6/6)
 4 明黄褐色 (10YR6/8)



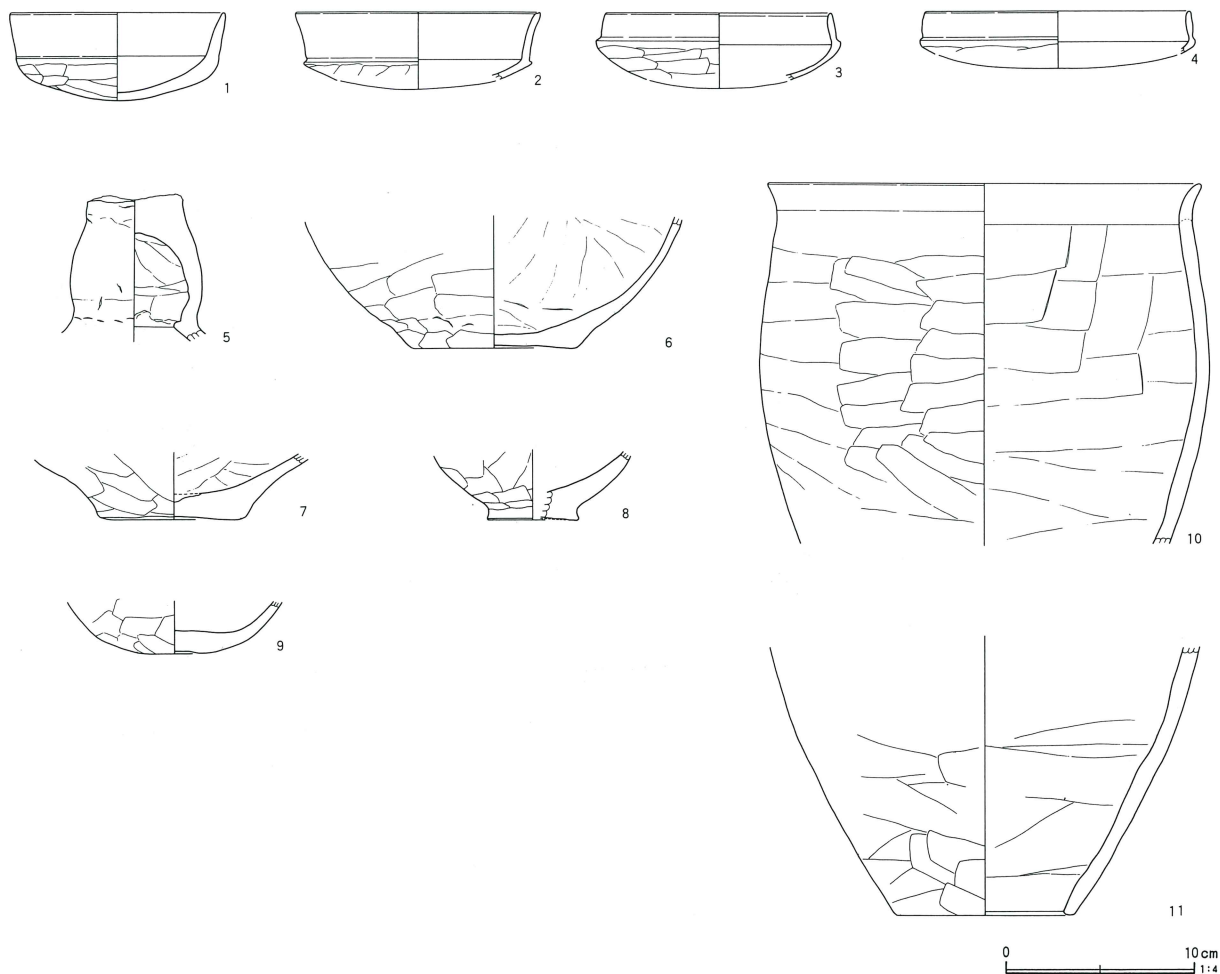
- 1 黄褐色シルト(10YR5/6) 灰白色シルト多
 2 褐色 (10YR4/4) 灰白色粒子若干
 3 褐色土 (10YR4/4)
 4 黒褐色 (10YR2/3)
 5 暗褐色 (10YR3/4) 灰白色シルト・焼土粒子多
 6 にぶい黄褐色(10YR6/4)



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・炭少、焼土ブロック多
 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山土・焼土少
 3 にぶい黄褐色(10YR4/3) 地山土主体
 4 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、炭・焼土僅か



第64図 第40号住居跡出土遺物



第41号住居跡 (第65図)

N-6グリッドに位置する。第48号・第52号住居跡・第4号性格不明遺構に切られている。カマドのみの検出である。主軸方位は、N-52°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていると考えられる。燃焼部は、123cm×43cmである。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

第42号住居跡 (第66・67図)

N-9グリッドを中心に位置する。第63号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長3.53m×3.23mのや

や台形気味で、深さ8cm程を測る。主軸方位は、N-120°-Wを指す。

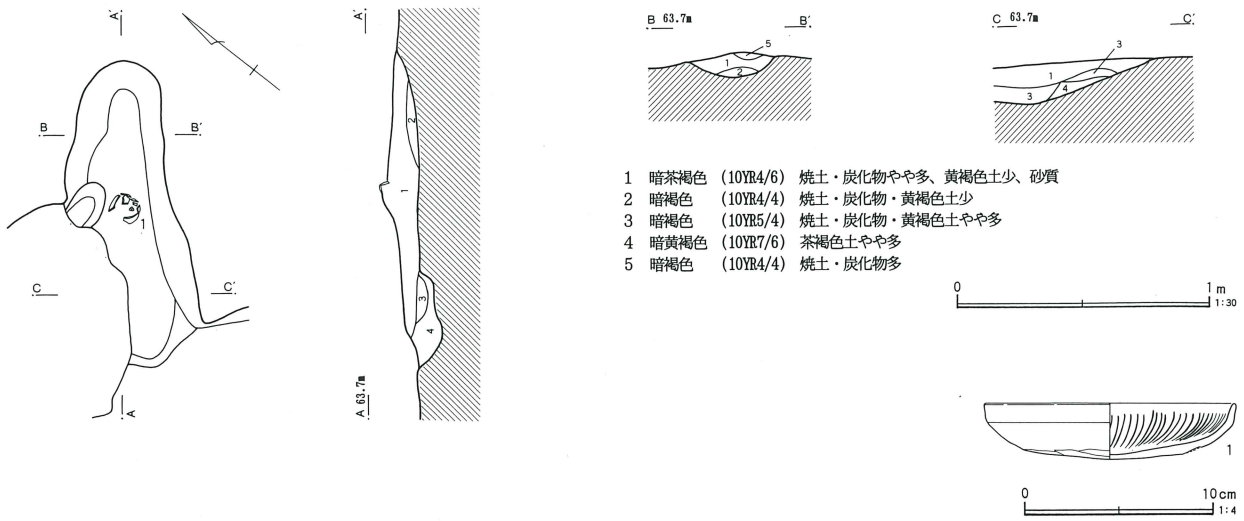
カマドは、南西壁に設けられている。燃焼部は、98cm×52cmで楕円形を呈し僅かな窪み状を呈している。支脚の石が遺存している。

遺物は、土師器坏・椀・台付甕・甕・甑、白玉が出土した。1の白玉は、径6.6~6.8mm、厚さ5.4mm、孔径1.7mm、重さ0.37gで床からの出土である。

第41号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.56)	1.29	(0.52)	(1.08)		にぶい黄橙		カマド

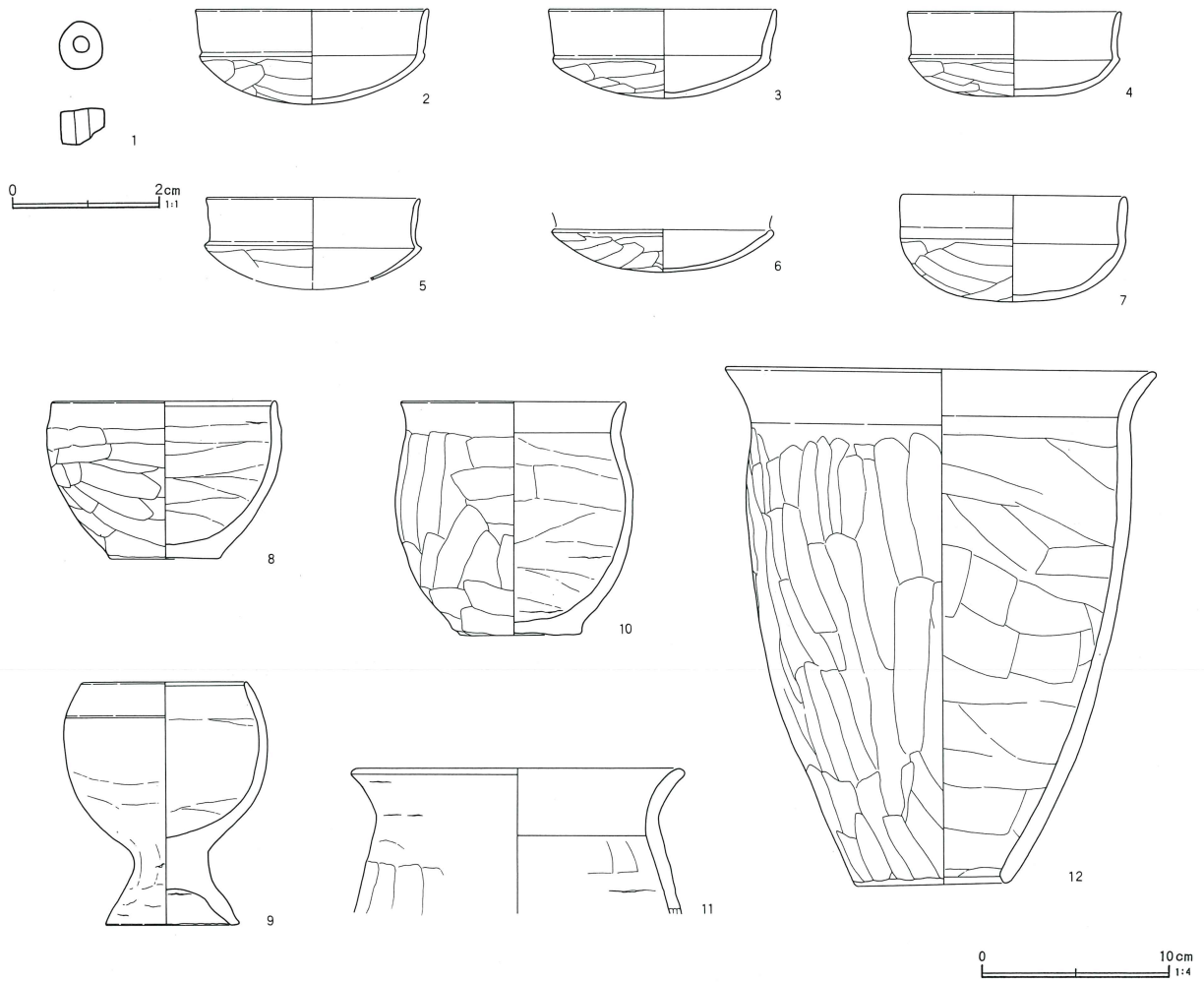
第65図 第41号住居跡カマド・出土遺物



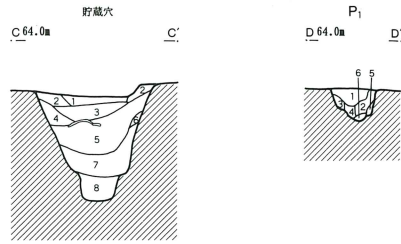
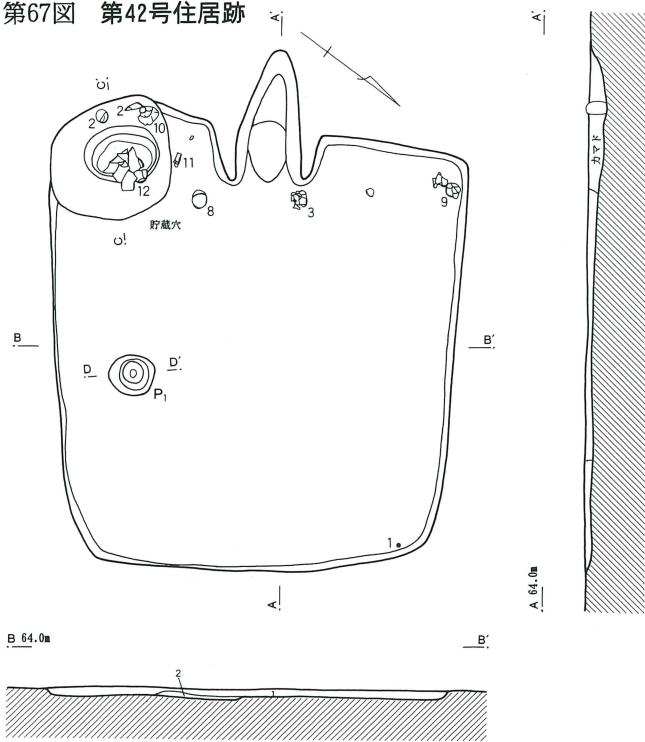
第41号住居跡出土遺物観察表 (第65図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.2	3.0		B E F L	普通	橙	80	No 1 カマド	内面暗文

第66図 第42号住居跡出土遺物



第67図 第42号住居跡



- 1 茶褐色 (10YR5/6) 黄褐色土・灰褐色土少
- 2 黄褐色 (10YR7/6) 茶褐色土少

P 1

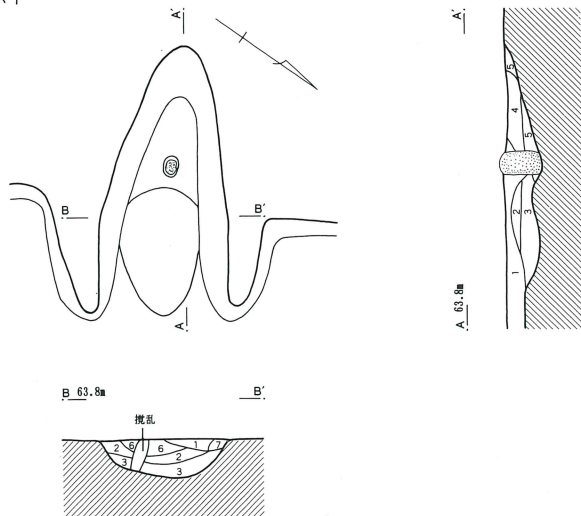
- 1 茶褐色 (10YR5/6) 黄褐色土多
- 2 茶褐色 (10YR6/8) 黄褐色土やや多
- 3 褐色 (10YR6/4) 暗褐色土僅か
- 4 暗茶褐色 (10YR4/4) 黄褐色土僅か
- 5 暗黄褐色 (10YR6/6) 茶褐色土少
- 6 褐色 (10YR6/4) 灰褐色土やや多

貯蔵穴

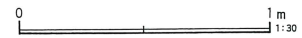
- 1 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 2 褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 3 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土・灰褐色土少
- 4 茶褐色 (10YR6/4) 黄褐色土・灰褐色土少
- 5 茶褐色 (10YR6/4) 黄褐色土・灰褐色土やや多
- 6 褐色 (10YR5/6) 暗褐色土少
- 7 暗茶褐色 (10YR5/4) 黄褐色土少
- 8 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少



カマド



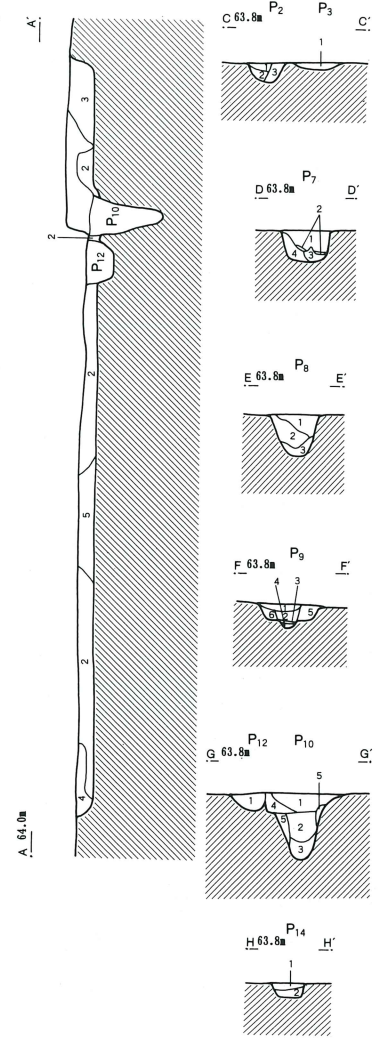
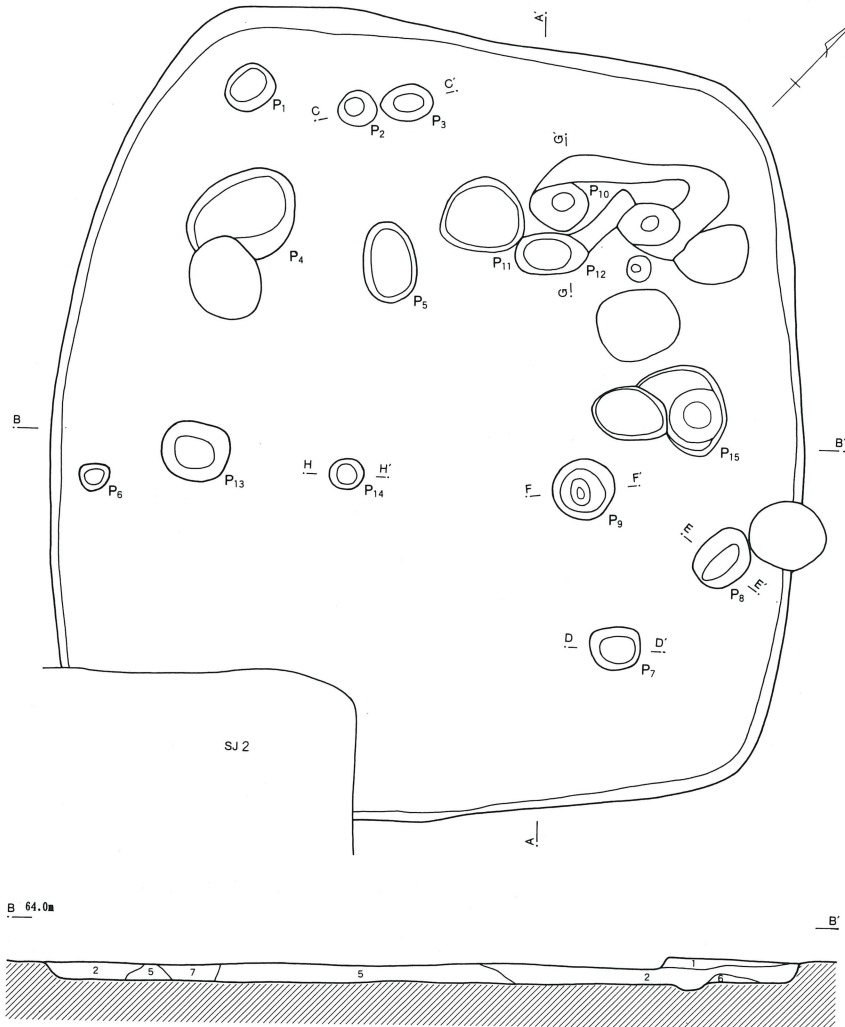
- 1 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 2 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土やや多
- 3 暗赤褐色 (2.5YR4/6) 焼土層、茶褐色土・炭化物やや多
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多
- 5 暗灰褐色 (10YR6/4) 暗褐色土少
- 6 赤褐色 (2.5YR6/8) 焼土・炭化物主体、灰褐色土少
- 7 橙褐色 (5YR7/8) 焼土ブロック、黄褐色土少



第42号住居跡出土遺物観察表 (第66図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
2	坏	12.6	5.1		B E F	不良	橙	95	Na2・3	貯蔵穴
3	坏	12.3	4.8		E K	不良	にぶい橙	80	Na7	床
4	坏	(11.6)	4.6		B E	不良	橙	35	A区	
5	坏	(11.6)			B E	普通	にぶい橙	25	A区	
6	坏				G	不良	橙	60	貯穴・A区	貯蔵穴
7	坏	(12.0)	5.8		J	不良	橙	40	A区	
8	椀	(12.0)	8.5	6.1	A J L	普通	褐	80	Na6・A区	床
9	高坏	8.9	13.1	7.2	B E	不良	にぶい橙	90	Na9	床
10	甕	12.1	12.5	6.7	J L	普通	にぶい赤褐	60	Na4	貯蔵穴
11	甕	(18.0)			A B J L	普通	橙	10	Na5	床 外面↑方向ヘラ削り
12	甌	23.0	27.8	8.1	J L	普通	にぶい黄橙	100	Na1	貯蔵穴 内面横ナデ、外面↓方向ヘラ削り、底部孔内面指横ナデ

第68図 第43号住居跡



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・焼土・炭少
- 2 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土若干、灰色粘土少、焼土・炭僅か
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土、炭僅か
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 地山土、焼土・炭僅か
- 5 におい黄褐色(10YR5/3) 地山土主体、炭僅か
- 6 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多
- 7 黒褐色 (10YR3/2) 地山土、焼土・炭少

- P 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、炭僅か
- P 4 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、焼土僅か
- P 5 褐灰色 (10YR4/1) 地山土・焼土・炭少
- P 6 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多
- P 13 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、焼土・炭僅か
- P 15 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、焼土・炭僅か

- P 2
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 褐灰色粘土・地山土少、焼土・炭僅か
- 2 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 褐灰色粘土部分的に多、炭僅か

- P 3
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土少、焼土・炭僅か

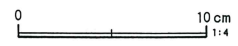
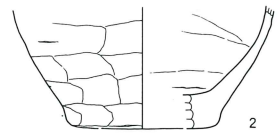
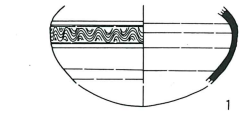
- P 7
- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・炭少、焼土僅か
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 炭化物
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多
- 4 におい黄褐色(10YR5/4) 地山土主体、炭僅か

- P 8
- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土多、焼土・炭僅か
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少、焼土・炭僅か
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少、炭僅か

- P 9
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、焼土僅か
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山土・炭少
- 3 褐灰色 (10YR6/1) 粘土層
- 4 暗褐色 (10YR3/3)
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少
- 6 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・焼土・炭少

- P 10・12
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 焼土・炭少、地山土含
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土(ブロック含)少、焼土・炭含
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多、炭僅か
- 4 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多
- 5 におい黄褐色(10YR5/3)

- P 14
- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少、焼土・炭僅か
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 褐灰色粘土多



第43号住居跡 (第68図)

P・Q-4グリッドに位置する。第2号住居跡に切られ、第44号住居跡を切り、第28号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長6.07m×6.27mの方形で、深

さ16cm程を測る。主軸方位は、N-50°-Eを指す。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器甕、土師器甕、土錘が出土した。

第43号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.68)	1.61	0.45	(8.72)	B	橙	50	C区
2	(5.08)	1.31	0.40	(7.87)	B a	灰白	90	C区

第43号住居跡出土遺物観察表 (第68図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕				B	良	灰	15	B区	
2	甕			7.6	A D J	普通	にぶい赤褐	70	D区	

第44号住居跡 (第69図)

Q-4グリッドを中心に位置する。第2号・第43号住居跡に切られ、第1号・第28号住居跡の下にあり、第26号住居跡の上に乗っている。平面は、不明で深さ17cm程を測る。主軸方位は、N-77°-Wを指す。

部25cmを測る。煙道部は113cm確認できた。

カマドは、西壁に設けられている。燃烧部は、53cm×38cmである。

遺物は、須恵器蓋、土師器坏・甕、ミニチュア土器、土錘、白玉、土玉、砥石、鉄製品が出土した。12の白玉は径5.2~5.5mm、厚さ4.3mm、孔径1.6mm、重さ0.23g。13の土玉は最大径8.6mm、高さ10.3mm、孔径2.8mm、重さ0.70g。白玉・土玉ともに覆土からの出土である。14の砥石は一面のみの使用で重さ135.88gで床からの出土である。15・16は鉄鏃で、14は先端と茎が欠損し11.15g、16は茎のみで15.88g。17・18は刀子で一部の遺存で17は9.59g、18は11.02gである。16・17は床から僅かに浮いた状態で、18は床面から出土した。

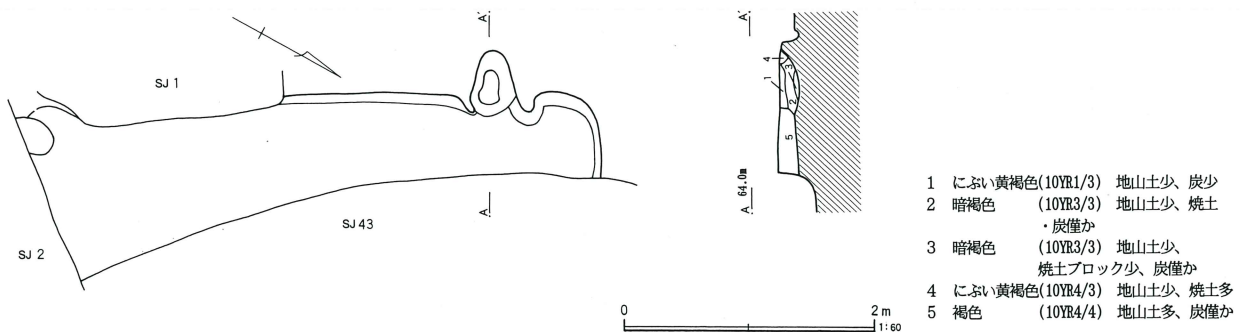
遺物は、土師器片が若干出土した。

第45号住居跡 (第70~73図)

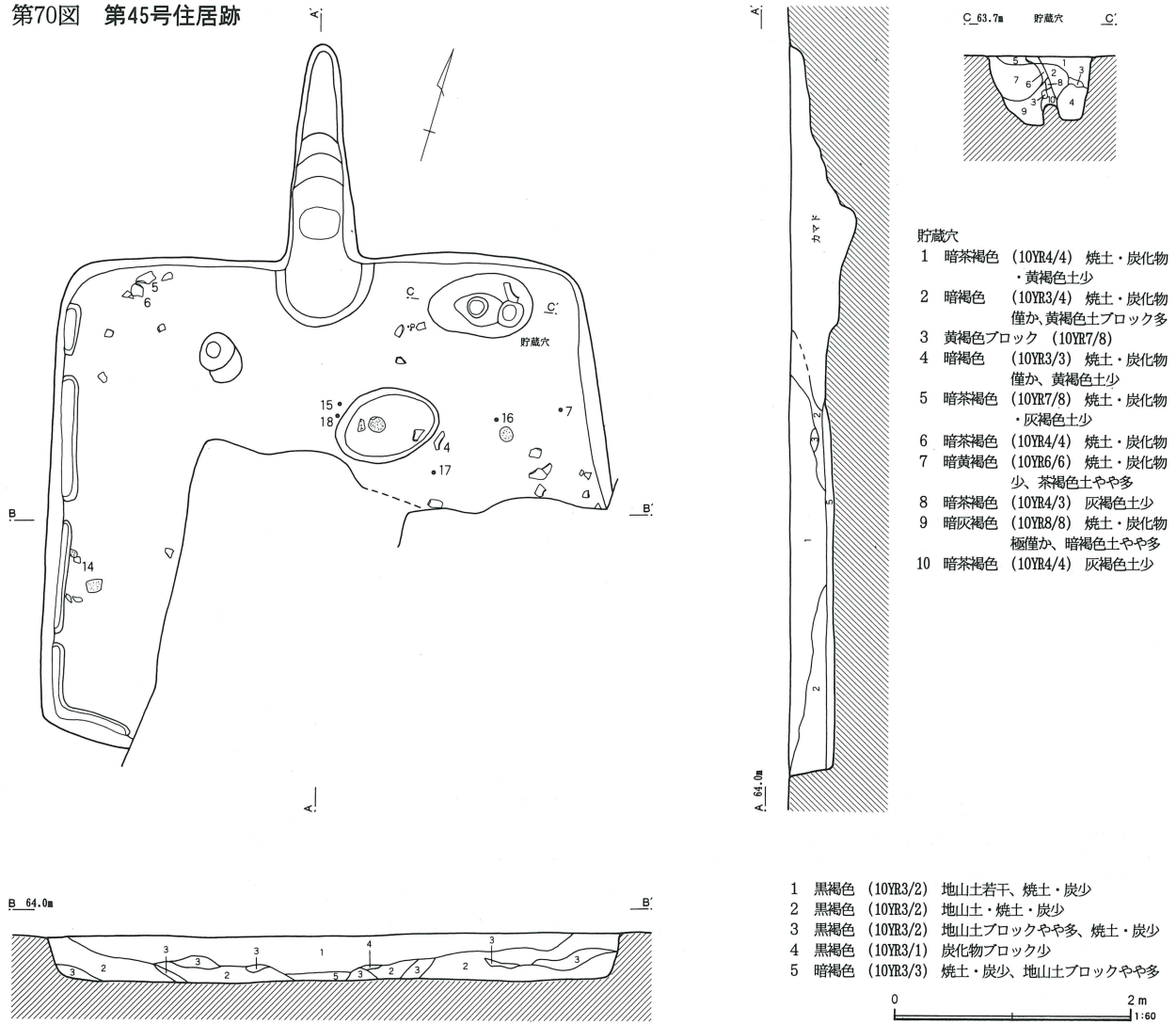
O-8・9グリッドに位置する。第78号・第79号住居跡に切られている。平面は、軸長4.16m×4.38mのやや台形気味で、深さ20cm程を測る。壁溝は、西壁と南壁に断続的に確認でき、幅7~13cm、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-15°-Wを指す。

カマドは、北壁中央に設けられている。燃烧部は、126cm×60cmで楕円形を呈し、床面から深さ5cm、一

第69図 第44号住居跡



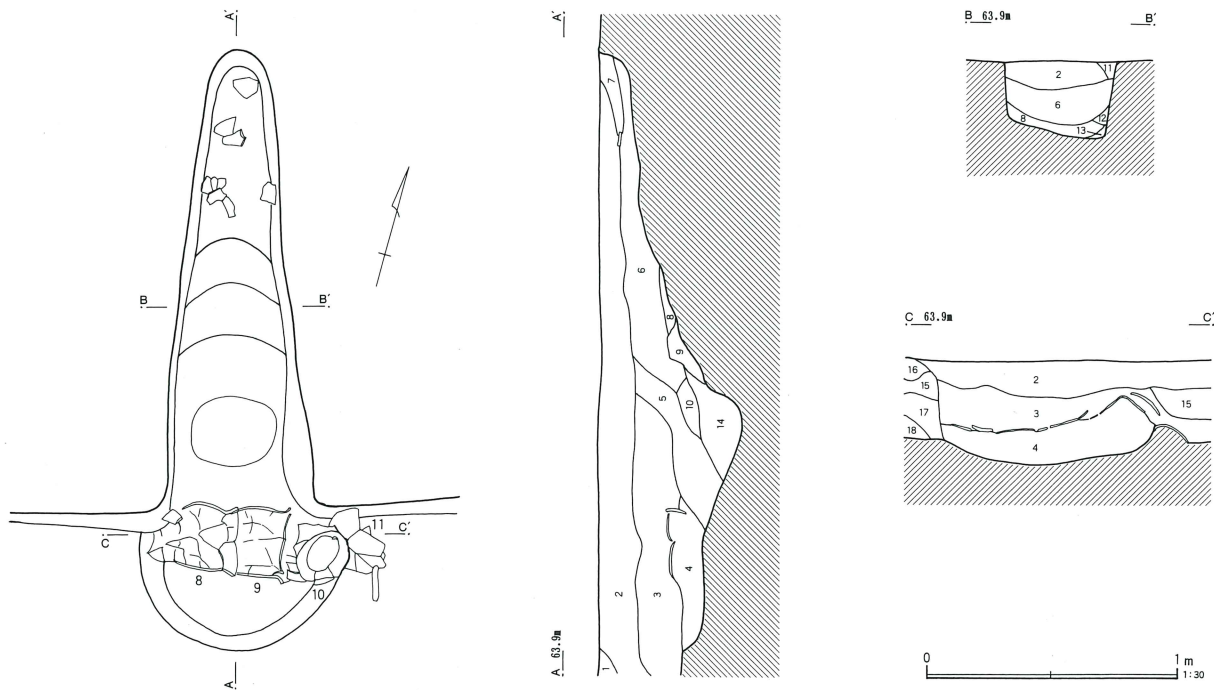
第70図 第45号住居跡



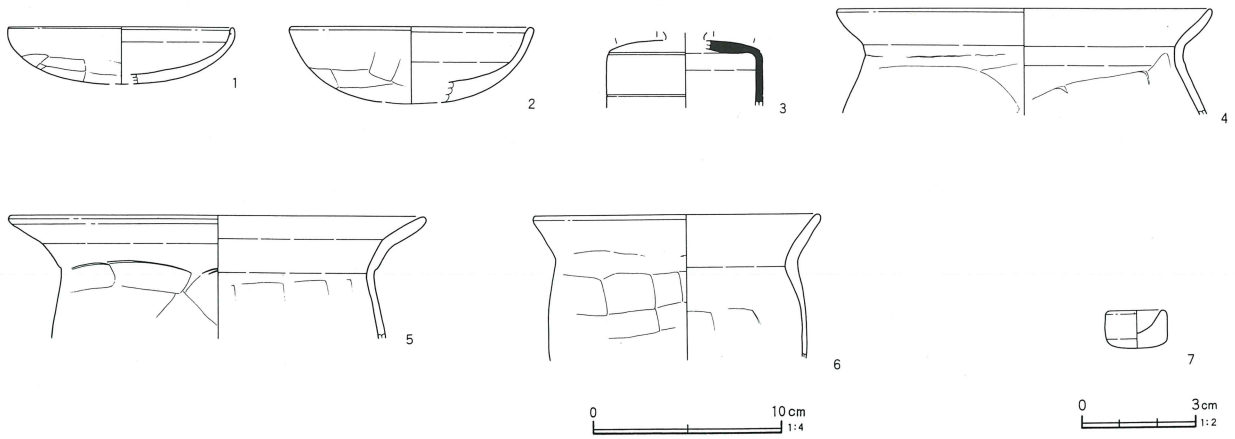
第45号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.86)	1.63	0.40	(6.54)	B	橙	40	A区
2	(3.29)	1.94	0.50	(10.06)	B a	にぶい黄橙	40	A区
3	(3.23)	1.74	0.55	(9.12)	B	黄灰	30	A区
4	(4.94)	1.54	0.60	(9.14)	B a	にぶい黄橙	90	A区
5	5.40	1.63	0.40	13.68	B b V	橙	100	A区
6	(6.11)	1.84	0.48	(16.70)	B a	にぶい橙	90	A区
7	(5.79)	1.82	0.40	(17.18)	B a	にぶい黄橙	80	A区
8	7.14	1.84	0.68	20.25	B a III	にぶい黄橙	100	A区
9	(8.12)	1.71	0.50	(17.90)	B a	にぶい黄橙	95	A区
10	8.42	1.83	0.55	22.16	B a II	浅黄橙	100	A区
11	(2.97)	1.68	0.45	(8.33)	B	にぶい橙	20	No.1
12	(6.00)	1.52	0.45	(12.44)	B a	褐灰	90	No.1
13	5.98	1.65	0.38	(15.25)	B a IV	にぶい橙	95	No.1
14	(1.80)	1.98	0.75	(3.87)	B a	明赤褐	20	B区
15	(2.68)	1.43	0.38	(5.36)	B a	橙	20	B区
16	3.83	1.04	0.38	(2.99)	B a VI	にぶい黄橙	95	B区
17	(4.83)	1.67	(0.40)	(6.12)	B	にぶい黄橙	40	B区
18	(4.13)	1.83	0.65	(12.20)	B a	にぶい橙	80	B区
19	(4.20)	2.04	0.70	(12.83)	B a	橙	70	B区
20	5.98	1.44	0.43	10.10	B a IV	橙	100	B区

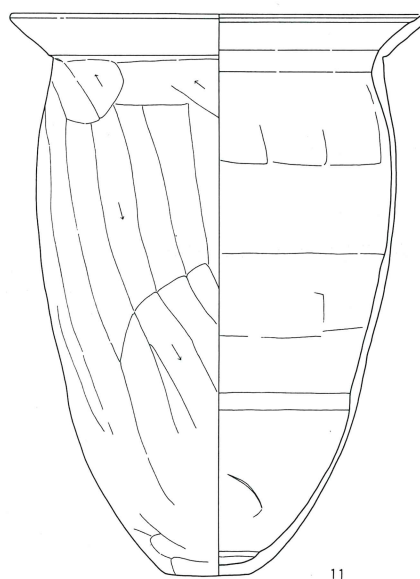
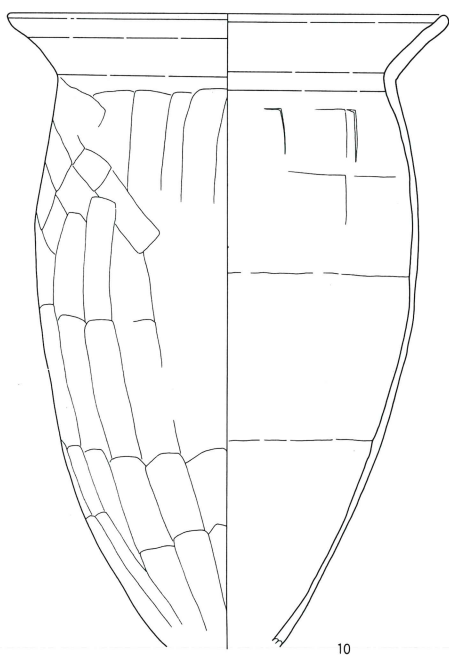
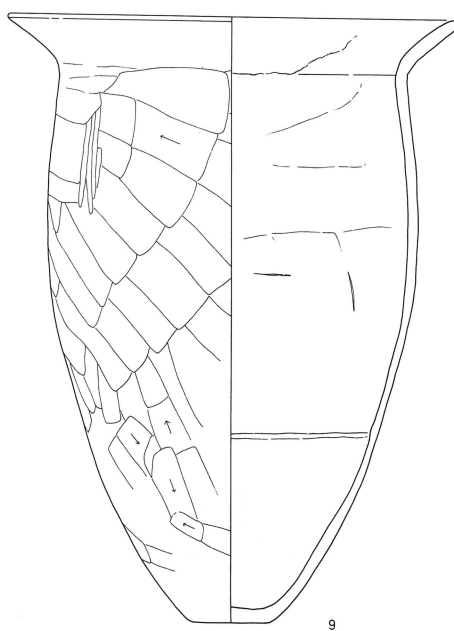
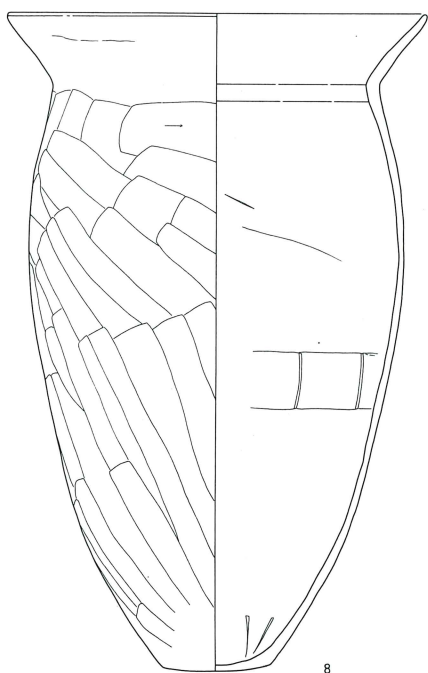
第71図 第45号住居跡カマド・出土遺物(1)



- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 暗褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土僅か | 10 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多 |
| 2 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少 | 11 赤褐色焼土(5YR6/8) 暗茶褐色土少 |
| 3 暗褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土僅か | 12 茶褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物極僅か、暗茶褐色土少 |
| 4 暗茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土やや多 | 13 暗黄褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物・暗褐色土少 |
| 5 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物多 | 14 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少 |
| 6 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物やや多 | 15 暗茶褐色 (10YR5/3) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多 |
| 7 暗赤褐色 (10YR5/8) 焼土層、暗褐色土やや多 | 16 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物・灰褐色土少 |
| 8 暗赤褐色 (5YR5/8) 焼土・炭化物多、暗褐色土やや多 | 17 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物・灰褐色土少 |
| 9 暗黄褐色 (10YR6/8) 茶褐色土少 | 18 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物極僅か、黄褐色土・灰褐色土やや多 |



第72图 第45号住居跡出土遺物(2)



0 10cm
1:4

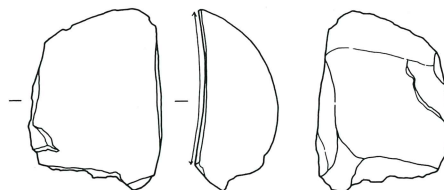


12



13

0 2cm
1:1

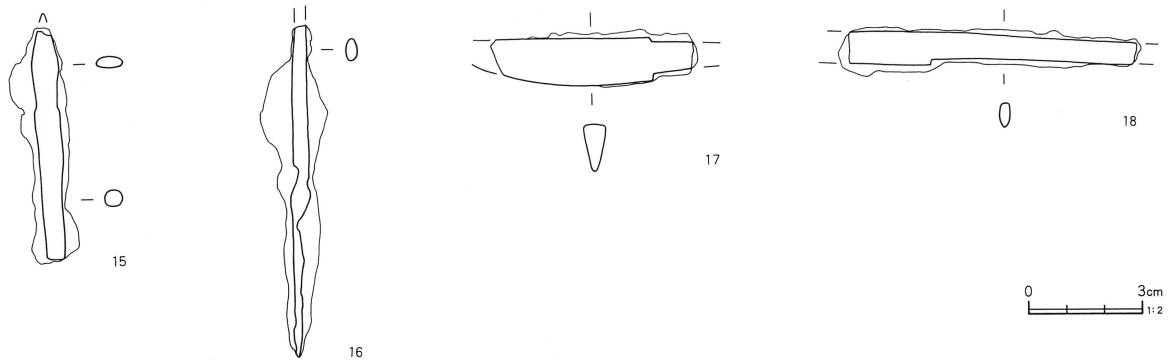


14



0 5cm
1:3

第73図 第45号住居跡出土遺物（3）



第45号住居跡出土遺物観察表（第71・72図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.8)	3.0		DG	良	にぶい橙	30	D区	
2	坏	(13.0)	4.0		B D G J	普通	浅黄橙	20	B区	
3	蓋				B	良	灰	20	カマド・B区	天井部右回転ヘラ削り
4	甕	(20.0)			B E J	普通	にぶい褐	40	Na16・B区	床 口縁部内面横ナデ 頸部下内面ヘラ横ナデ
5	甕	(22.3)			B D F G J	普通	橙	25	Na57・58	床
6	甕	(15.0)			D G J	普通	橙	25	Na58	床
7	ミニチュア土器	2.8	2.0	3.1	B J K	普通	にぶい褐	70	Na11	底部ヘラナデ
8	甕	(22.0)	35.0	(5.6)	E G	普通	橙	95	Na65	カマド 内面木口状工具横ナデ
9	甕	23.5	32.1	4.0	B D	普通	橙	95	Na66	カマド
10	甕	23.0			J	普通	橙	80	Na67	カマド 内面横ナデ
11	甕	21.9	29.8	4.5	B J	普通	橙	70	Na68	カマド 内面横ナデ 外面頸部↑方向ヘラ削り 以下↓方向ヘラ削り

第45号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
21	4.95	1.99	0.65	18.89	B a V	にぶい黄橙	100	B区
22	5.76	1.82	0.55	18.39	B a IV	にぶい橙	100	B区
23	5.65	2.06	0.60	(14.49)	B a IV	にぶい橙	95	B区
24	6.10	2.12	0.75	(23.01)	B a IV	橙	95	B区
25	(2.76)	1.66	0.45	(5.45)	B a	にぶい黄橙	30	A区
26	(3.97)	1.70		(6.32)	B	にぶい橙	40	カマド
27	(4.48)	1.40	0.55	(6.74)	B	明赤褐	70	カマド

第46号住居跡（第74図）

P-6グリッドに位置する。第12号・第19号住居跡に切られている。壁溝で検出できたもので、平面は、軸長2.40m以上×1.70m以上である。壁溝は、幅32～35cm、深さ3～5cm程を測る。主軸方位は、N-132°-Eを指す。

カマドは、南東壁に設けられている。燃焼部は、63cm×50cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈している。

遺物は、カマドより土師器坏が出土した。

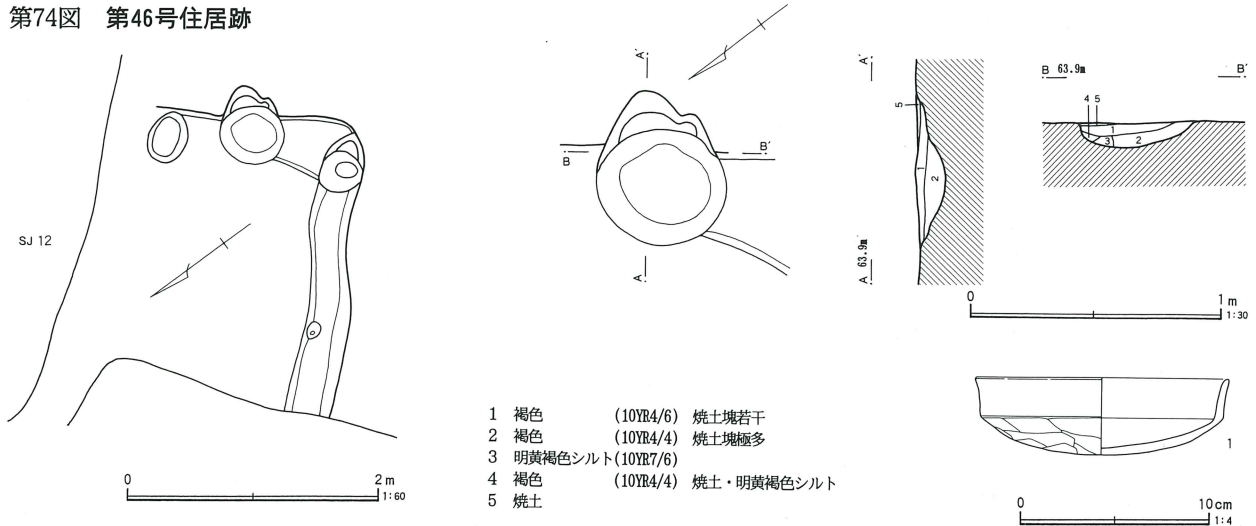
第47号住居跡（第75図）

O-6グリッドに位置する。第7号住居跡の下からカマドのみが検出された。主軸方位は、N-142°-Wを指す。

カマドは、南西壁に設けられていると考えられる。燃焼部は、81cm×51cmで楕円形の土坑状を呈し、床面から深さ15cmを測る。煙道部は39cm確認できた。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

第74図 第46号住居跡

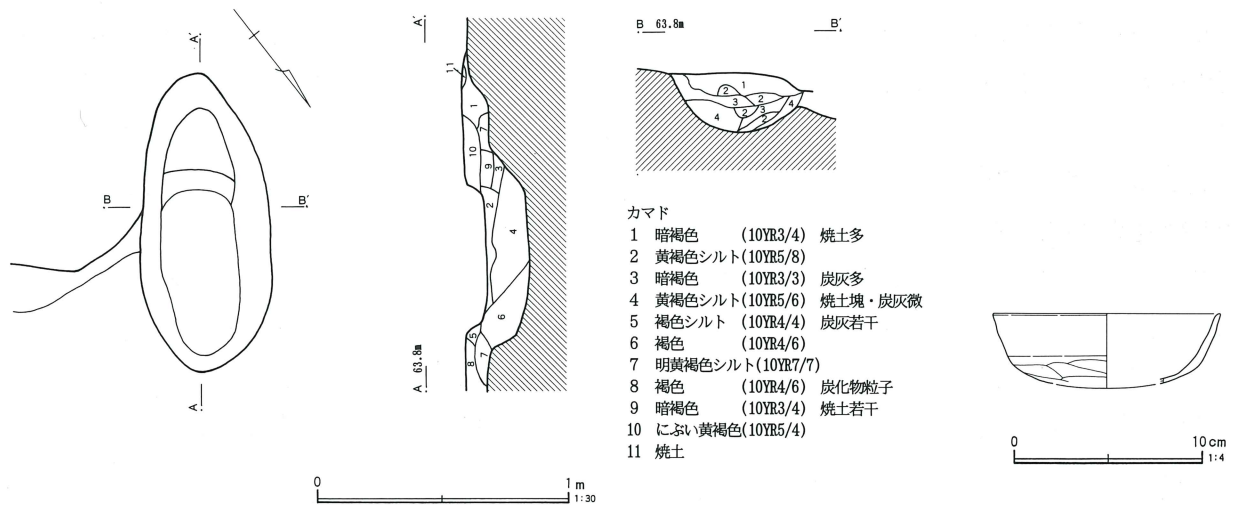


- 1 褐色 (10YR4/6) 焼土塊若干
- 2 褐色 (10YR4/4) 焼土塊極多
- 3 明黄褐色シルト(10YR7/6)
- 4 褐色 (10YR4/4) 焼土・明黄褐色シルト
- 5 焼土

第46号住居跡出土遺物観察表 (第74図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(13.4)	4.1		BDEJ	不良	橙	60	カマド	カマド

第75図 第47号住居跡カマド



- カマド
- 1 暗褐色 (10YR3/4) 焼土多
 - 2 黄褐色シルト(10YR5/8)
 - 3 暗褐色 (10YR3/3) 炭灰多
 - 4 黄褐色シルト(10YR5/6) 焼土塊・炭灰微
 - 5 褐色シルト (10YR4/4) 炭灰若干
 - 6 褐色 (10YR4/6)
 - 7 明黄褐色シルト(10YR7/7)
 - 8 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒子
 - 9 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干
 - 10 におい黄褐色(10YR5/4)
 - 11 焼土

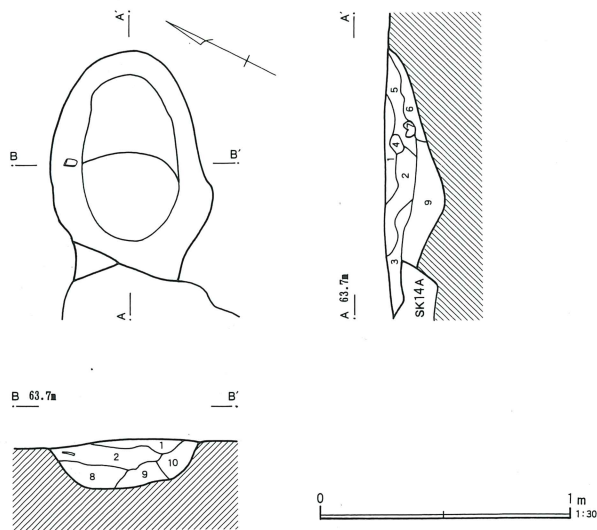
第47号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.45)	1.15	0.43	(2.17)	B	浅黄橙	30	

第47号住居跡出土遺物観察表 (第75図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			BDJ	普通	におい赤褐	15		

第76図 第48号住居跡カマド



- 1 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物やや多
- 2 茶褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物多
- 3 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多
- 4 暗茶褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物少、暗褐色土やや多
- 5 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 6 褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物極僅か、黄褐色土やや多
- 7 褐色 (10YR5/8) 灰褐色土少、やや砂質
- 8 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・黄褐色土少
- 9 暗黄褐色 (10YR6/6) 茶褐色土やや多
- 10 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物極僅か

第48号住居跡 (第76図)

N-6グリッドに位置する。第14A号土坑の上に乗っているが、カマドのみの検出である。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていると考えられる。燃烧部は108cm×60cmで楕円形を呈し、深さ24cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第49号住居跡 (第77図)

P-6グリッドに位置する。第12号住居跡の下にある。平面は、軸長2.33m×3.38mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-53°-Wを指す。

カマドは、北西壁でやや南西に寄って設けられている。燃烧部は、73cm×70cmで円形を呈し、床面から深さ26cmを測る。

遺物は、土師器坏、ミニチュア土器、土錘が出土し

た。

第50号住居跡 (第78図)

N-8グリッドに位置する。第30号住居跡に切られ、第36号・第51号住居跡の下にある。平面は、軸長2.41m×2.97mの方形で、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-28°-Wを指す。

カマドは、北壁中央に設けられている。燃烧部は、143cm×54cmの楕円形で、床面から深さ18cmを測る。支脚の石が遺存していた。

遺物は、土師器坏・甕、土錘、砥石が出土した。砥石は5面使用されており、床面からの出土である。

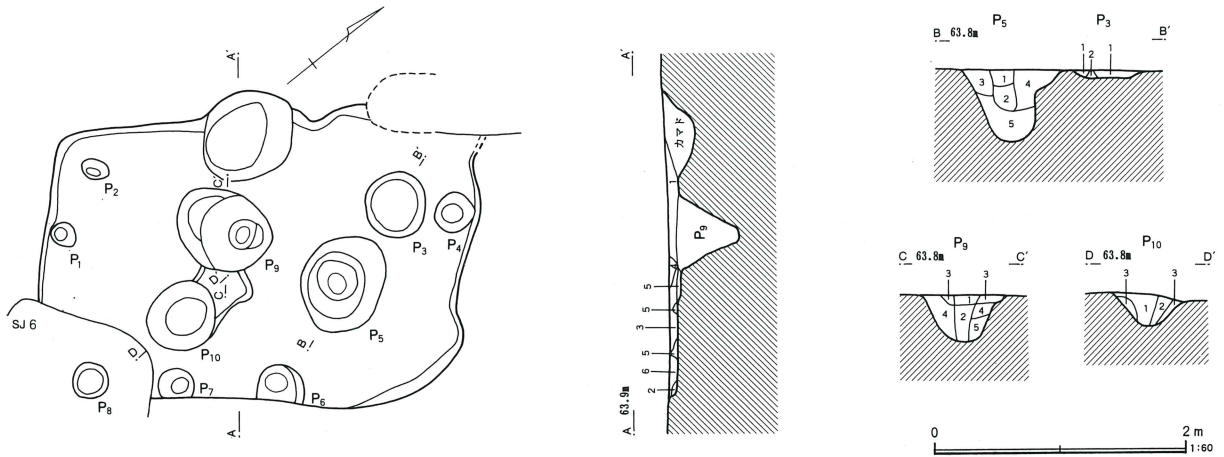
第49号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	5.7	1.79	0.53	15.85	B a IV	褐灰	100	P 9

第50号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(5.96)	1.60	0.48	13.83	B b IV	黒褐	100	A区
2	6.00	1.70	0.45	(16.31)	B	浅黄橙	90	D区
3	(8.63)	1.77	0.55	(20.93)	B a I	灰黄褐	95	B区

第77図 第49号住居跡

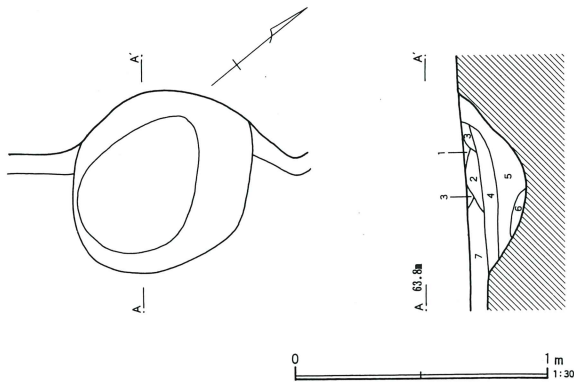


- 1 にぶい黄褐色(10YR5/4)
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 黄褐色土、締まり強い
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 焼土多
- 4 褐色 (10YR4/6) 灰白色シルト・焼土若干
- 5 明黄褐色シルト(10YR6/6)
- 6 暗褐色 (10YR3/4) 炭化材粒子・焼土粒子微

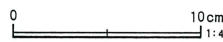
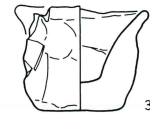
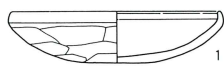
- P 3
- 1 にぶい黄褐色(10YR5/4)
 - 2 明黄褐色シルト(10YR7/6)
- P 5
- 1 褐色 (10YR4/4) にぶい黄褐色土極多
 - 2 褐色 (10YR4/4) 焼土若干
 - 3 にぶい黄褐色(10YR5/4)
 - 4 褐色 (10YR4/4) 焼土若干・炭化物多
 - 5 にぶい黄褐色(10YR5/3)

- P 9
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、焼土・炭少
 - 2 褐色 (10YR4/4) 地山土多、焼土・炭少
 - 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、焼土・炭僅か
 - 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多、灰白色シルト少
 - 5 にぶい黄褐色(10YR4/3) 地山土極多
- P 1 0
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、焼土・炭僅か
 - 2 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多
 - 3 にぶい黄褐色(10YR4/3) 地山土主体

カマド



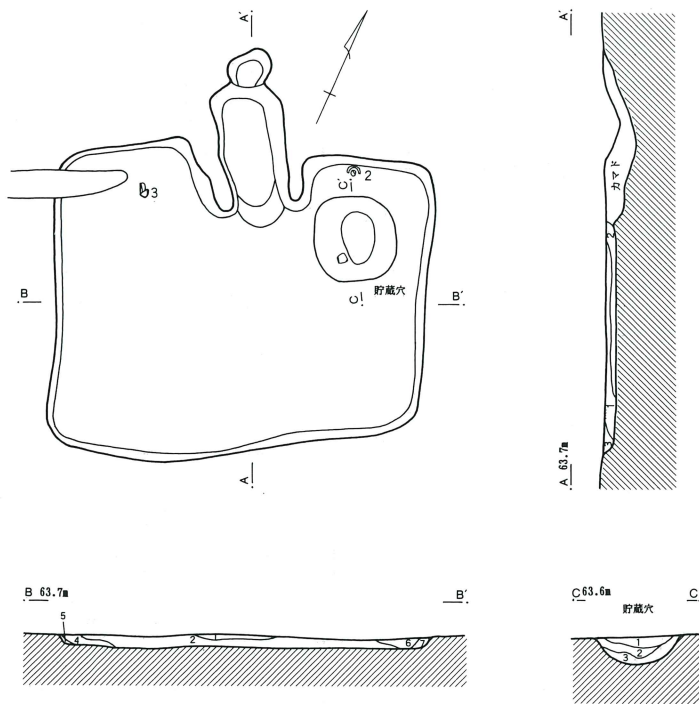
- 1 焼土
- 2 黒褐色 (10YR2/3) 炭化物粒子・焼土若干
- 3 黒褐色シルト
- 4 褐色 (10YR4/4) 炭化材粒子若干含
- 5 褐色 (7.5YR4/4) 炭化物粒子・焼土粒子若干含
- 6 黄褐色 (10YR5/6)
- 7 にぶい黄褐色(10YR5/4)



第49号住居跡出土遺物観察表 (第77図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	2.7		ABDGJ	良	にぶい橙	20	カマド	
2	坏	(12.0)	3.1		A D J	普通	橙	15	カマド	カマド
3	ミニチュア土器	(3.4)	2.8	2.2	B	良	にぶい褐	90	No6	

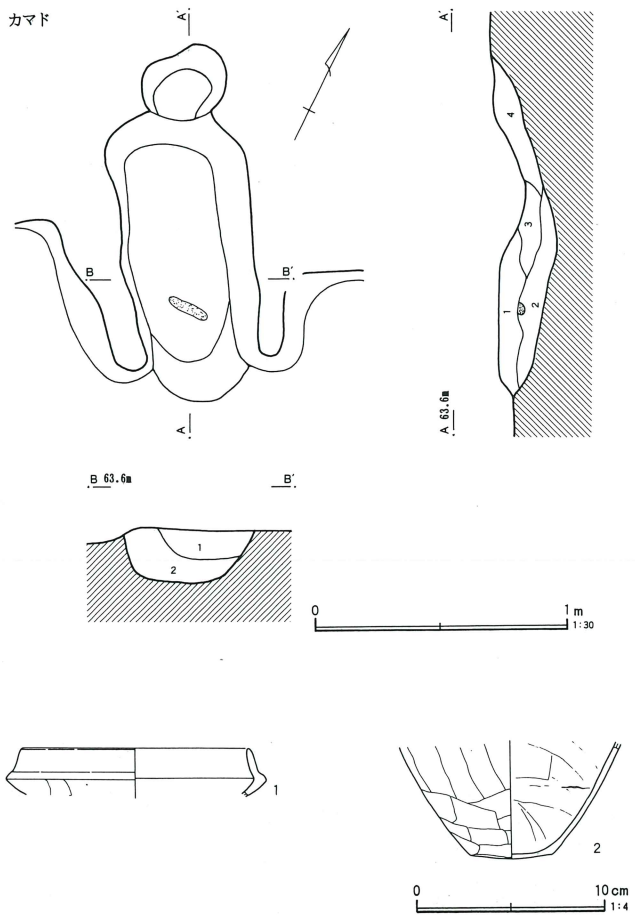
第78図 第50号住居跡



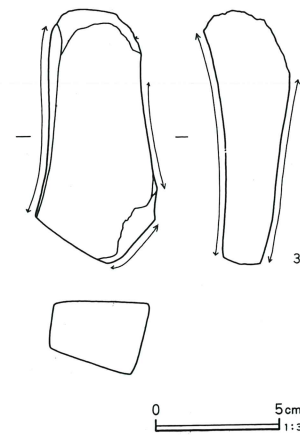
- 1 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 2 暗黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物やや多、暗褐色土少
- 3 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物、黄褐色土少
- 4 茶褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 5 茶褐色 (10YR4/6) 黄褐色土やや多
- 6 暗茶褐色 (10YR4/4) 黄褐色土少
- 7 黄褐色 (10YR7/6) 褐色土少

貯蔵穴

- 1 灰褐色 (10YR6/2) 黄褐色土・暗茶褐色土多量、
焼土・炭化物少
- 2 暗赤褐色 (2.5YR5/8) 焼土・炭化物層、
暗茶褐色土多量、黄褐色土少
- 3 暗黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物少、暗茶褐色土やや多



- 1 暗黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物やや多、暗褐色土少
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土、焼土・炭僅か
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多、焼土・炭僅か
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック少、
焼土ブロック・炭やや多



第50号住居跡出土遺物観察表 (第78図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			BEIJ	不良	明赤褐	10	D区	
2	甕			4.3	BDEH	普通	にぶい黄褐	80	No3・B区	床

第51号住居跡 (第79図)

N-8グリッドに位置する。第34号・第36号住居跡に切られ、第50号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長1.95m以上×3.87mで、深さ6cm程を測る。主軸方位は、N-63°-Eを指す。

カマドは、北東壁のやや南東寄りに設けられている。燃烧部は、55cm×56cmで方形を呈し、床面から深さ15cmを測る。煙道部は燃烧部と段差をもって高くなり55cm確認できた。

遺物は、土師器片が出土した。

第52号住居跡 (第80図)

N-6グリッドに位置する。第14号土坑に切られ、第4号性格不明遺構の上に乗っている。平面は、軸長3.29m×2.34mで、深さ8cm程を測る。主軸方位は、N-37°-Eを指す。

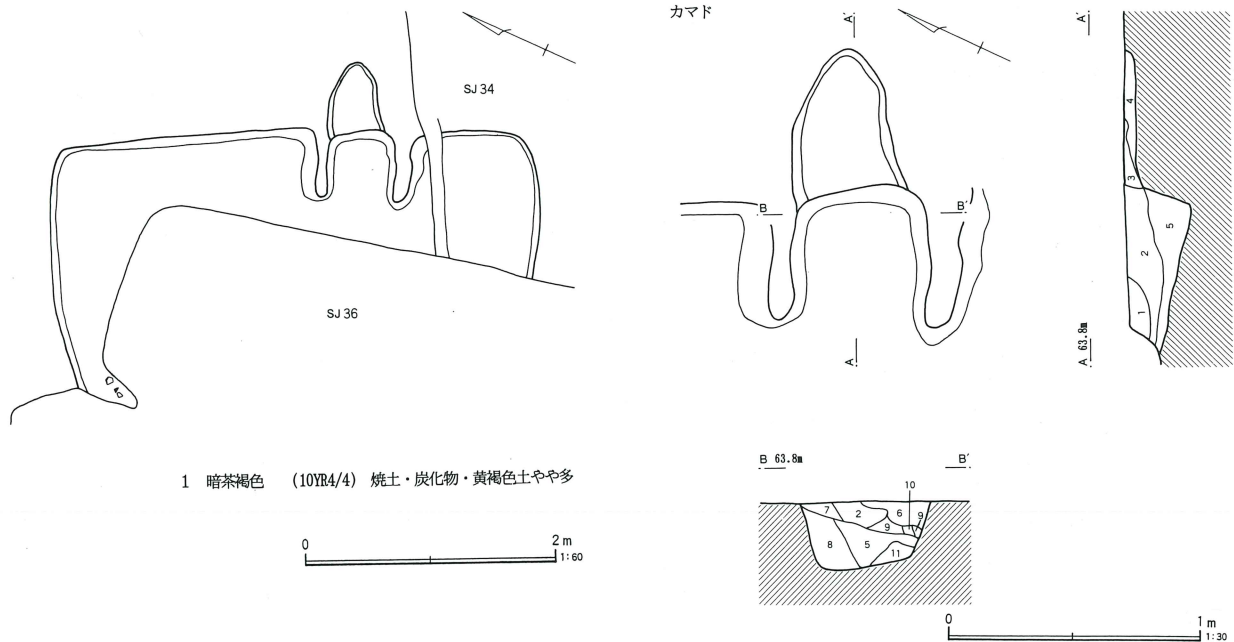
カマドは、東壁に設けられている。燃烧部は、43cm×27cmの楕円形で僅かな窪み状を呈している。

遺物は、須恵器坏、土師器甕、土錘が出土した。

第52号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.69)	1.27	0.48	(6.12)	B	にぶい黄橙	50	D区

第79図 第51号住居跡・カマド

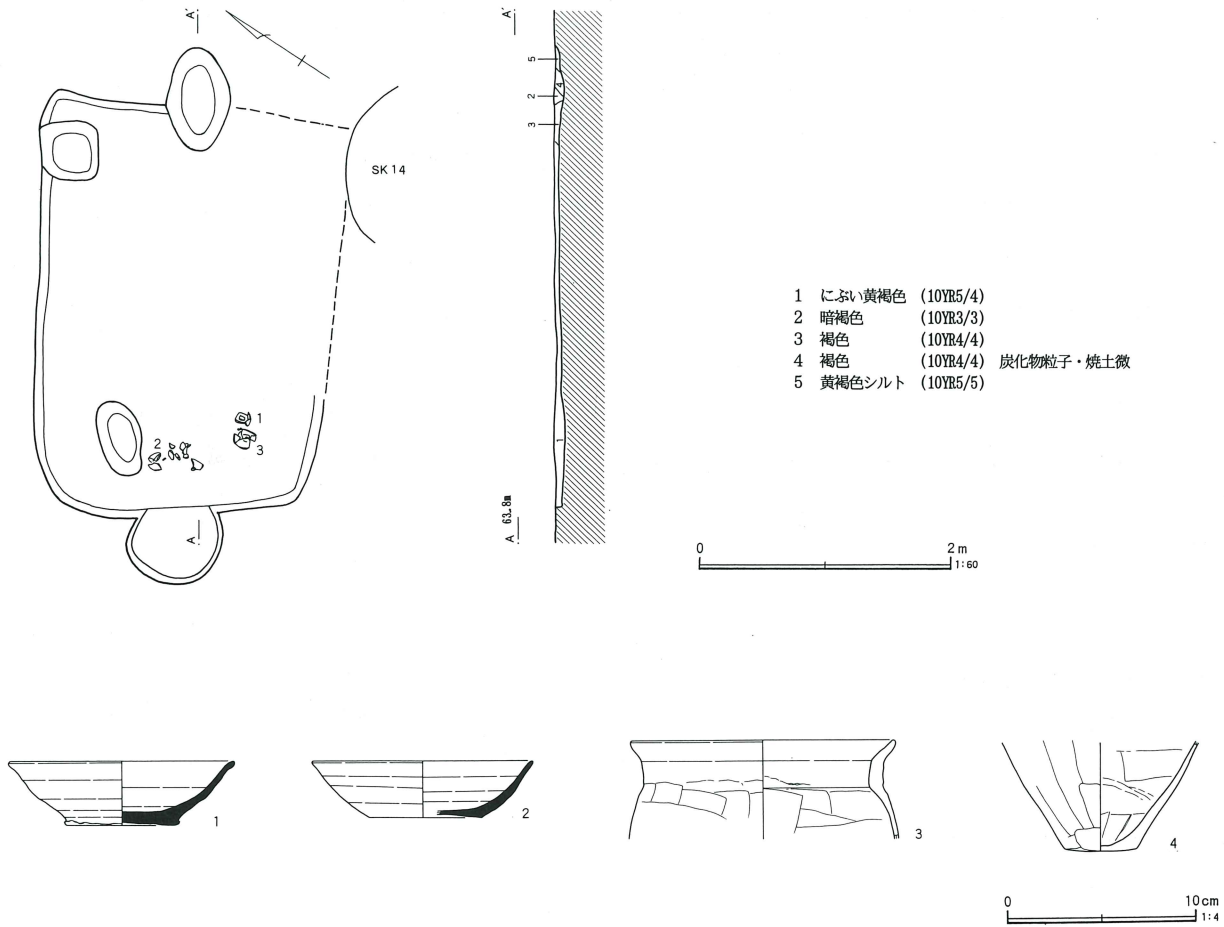


1 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多

- 1 褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多
- 2 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多
- 3 暗赤褐色 (5YR6/8) 焼土層、茶褐色土・黄褐色土少
- 4 黄褐色 (10YR7/6) 焼土・炭化物少、茶褐色土やや多
- 5 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・灰褐色土少

- 6 暗灰褐色 (10YR6/4) 焼土・炭化物少、暗茶褐色土やや多
- 7 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 8 暗茶褐色 (10YR5/3) 焼土・炭化物・灰褐色土・黄褐色土少
- 9 暗灰褐色 (10YR7/4) 焼土・炭化物少、茶褐色土やや多
- 10 黄褐色 (10YR7/6) 茶褐色土やや多
- 11 暗黄褐色 (10YR6/6) 茶褐色土少

第80図 第52号住居跡



- 1 にぶい黄褐色 (10YR5/4)
- 2 暗褐色 (10YR3/3)
- 3 褐色 (10YR4/4)
- 4 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒子・焼土微
- 5 黄褐色シルト (10YR5/5)

第52号住居跡出土遺物観察表 (第80図)

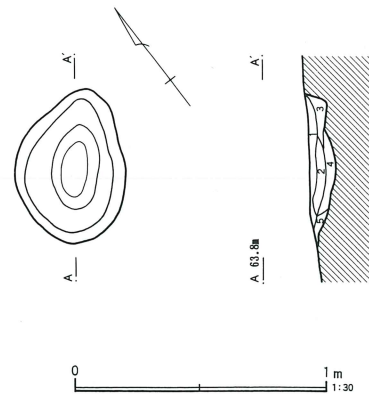
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)	3.4	6.0	J	普通	灰	60	No1・D区	床+8cm 底部右回転糸切り
2	坏	11.7	3.0	6.0	BHJL	良	灰	75	No4・SJ22-A	床+5cm 底部右回転糸切り
3	甕	(14.0)			ABEFJ	普通	にぶい褐	15	No2	床+5cm
4	甕			(3.8)	BDEGJ	普通	にぶい褐	30	D区	

第53号住居跡 (第81図)

P-6グリッドに位置する。第19号住居跡の下にある。カマドのみの検出である。主軸方位は、N-43°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていたと考えられる。燃焼部は、53cm×44cmの楕円形で、深さ10cm程の窪み状を呈している。

第81図 第53号住居跡カマド



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭灰
- 2 にぶい黄褐色(10YR5/4) 明黄褐色土多
- 3 暗褐色 (10YR3/4)
- 4 褐色 (10YR4/6)
- 5 黄褐色 (10YR5/6)

第54号住居跡 (第82・83図)

〇-8グリッドに位置する。第25号住居跡に切られ、第55号住居跡を切っている。平面は、軸長4.77m×3.93mの方形で、深さ43cm程を測る。主軸方位は、N-77°-Eを指す。

カマドは、東壁の南隅寄りに設けられている。燃焼

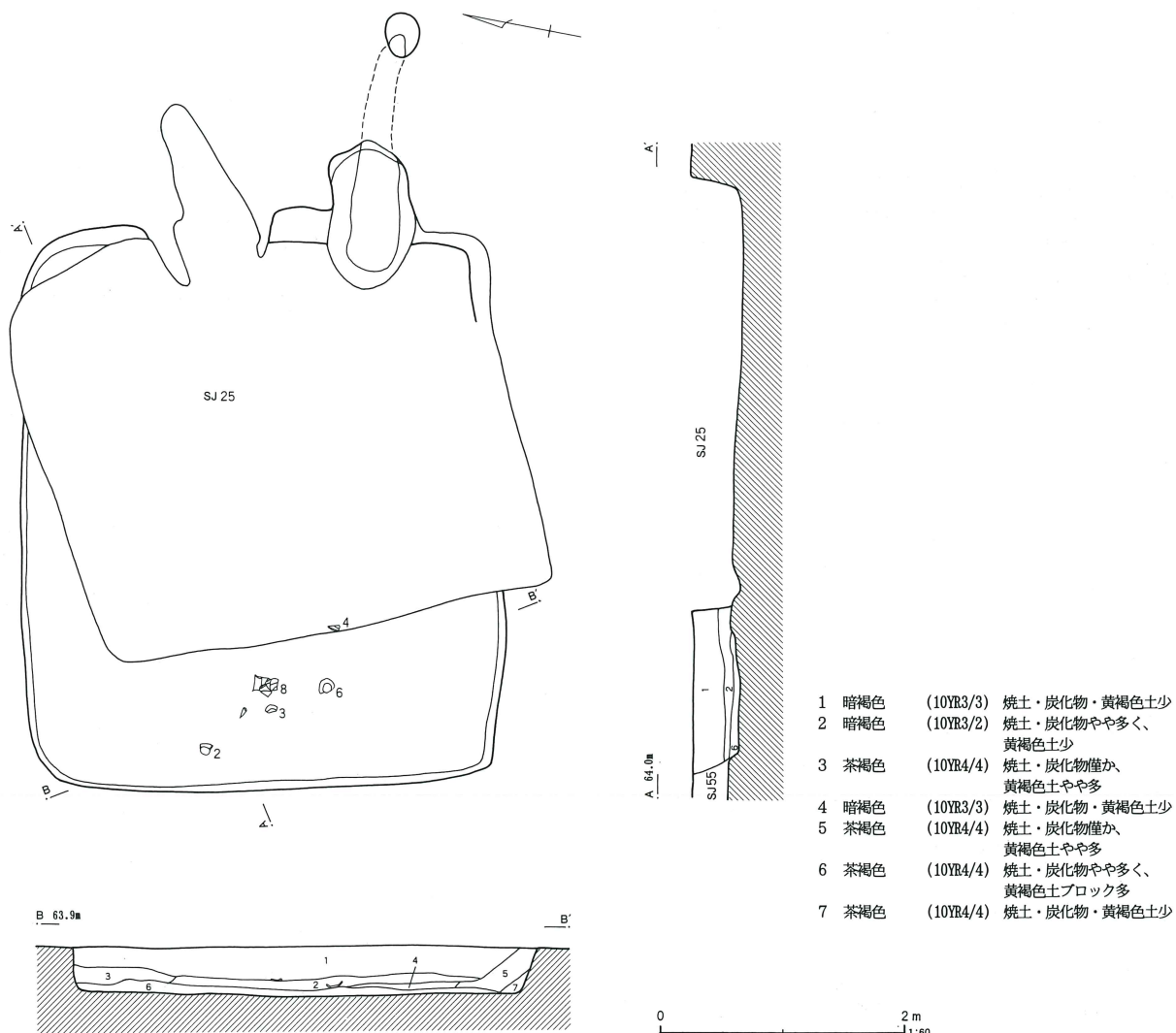
部の一部と煙道部は天井が遺存しており、煙道部は燃焼部から緩やかに立ち上がる。燃焼部は183cm×73cm、床面からの深さ29cmを測る。煙出しは、32cm×26cmで楕円形を呈している。

遺物は、須恵器坏・椀・蓋、土師器坏・甕、土錘が出土した。

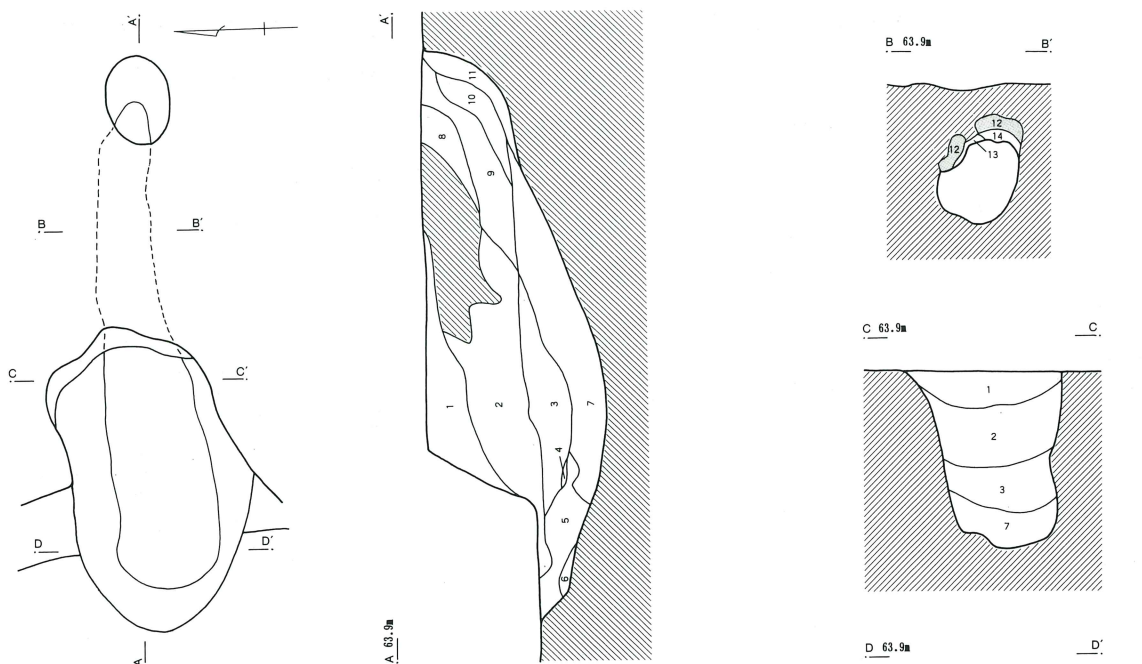
第54号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.70)	1.53	0.60	(6.73)	B	淡黄	40	C区
2	(4.88)	1.39	0.45	(8.57)	A a	にぶい橙	90	
3	(7.11)	1.97	0.50	22.60	B a	褐灰	95	
4	6.99	1.94	0.52	25.43	B a III	にぶい黄橙	100	

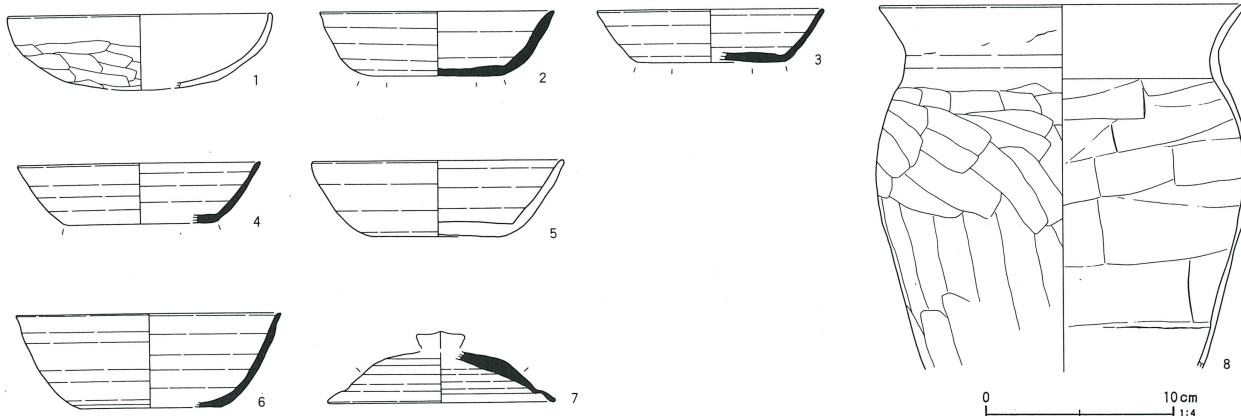
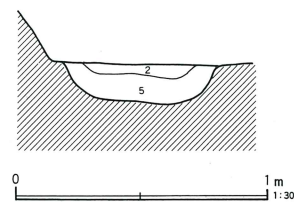
第82図 第54号住居跡



第83図 第54号住居跡カマド・出土遺物



- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1 茶褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 8 茶褐色 (10YR5/3) 焼土・炭化物・黄褐色土少 |
| 2 暗茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多 | 9 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物少・黄褐色土やや多 |
| 3 暗橙褐色 (5YR6/8) 黄褐色土ブロック・炭化物やや多 | 10 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少 |
| 4 褐色 (10YR7/6) 焼土・炭化物少 | 11 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多 |
| 5 暗褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物・黄褐色土多 | 12 被熱赤色土 |
| 6 暗黄褐色 (10YR7/4) 焼土・炭化物少 | 13 暗赤色土 |
| 7 暗茶褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多 | 14 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土粒・黄褐色土粒多 |



第54号住居跡出土遺物観察表 (第83図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(14.0)			G	良	にぶい橙	20	C区	
2	坏	12.4	3.5	7.6	BL	良	灰	70	Na1・C区	底部周辺右回転ヘラ削り
3	坏	(12.0)	2.8	(7.9)	BIL	良	灰	45	Na4	底部周辺右回転ヘラ削り
4	坏	(12.8)	3.2	(8.1)	BIJ	良	灰	40	Na6・C区	床 底部回転ヘラ削り
5	坏	13.4	4.0	7.1	DEGH	不良	にぶい褐	80	Na5・C区	床+7cm 酸化焰焼成
6	椀	(14.0)	5.0	(7.4)	BIL	良	灰	20	C区	体部外面下端・底部回転ヘラ削り
7	蓋	(12.0)			BJ	良	灰	40	C区	
8	甕	(19.4)			BDEJ	普通	にぶい橙	30	Na3・C区	床

第55号住居跡 (第84図)

〇-8グリッドに位置する。第18号・第25号・第54号住居跡に切られている。平面は、軸長5.35m×5.85mの方形で、深さ30cm程を測る。主軸方位は、N-56°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられている。第25号・第54号住居跡に切られ全容は明らかでない。

遺物は、土師器坏・鉢、土錘が出土した。

第56号住居跡 (第85・86図)

〇-5・6グリッドに位置する。第8号住居跡の下にあり、第57号住居跡を切っている。平面は、軸長5.03m×4.13mの方形で、深さ10cm程を測る。壁溝は南壁・北壁の一部と西壁が確認でき、幅28~58cm、深さ5~9cmである。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃烧部は100cm×61cmの楕円形で、床面から深さ13cmの窪み状を呈している。

遺物は、須恵器坏、土師器甕、土錘、鉄製品が出土

した。鉄製品は刀子で刃部の先端が欠損しており、重さは15.93gで覆土からの出土である。

第57号住居跡 (第87図)

〇-6グリッドに位置する。第22号住居跡の下にあり、大半を第56号住居跡に切られている。2辺の一部が確認され、壁溝は幅35~75cm、深さ5~10cmを測る。平面は、不明である。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器片、土師器坏片が出土した。

第58号住居跡 (第88図)

L-9グリッド中心に位置する。平面は、軸長2.60m×2.87mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-16°-Wを指す。

カマドは、北壁の西寄りに設けられている。燃烧部は116cm×57cmで、床面から深さ10cm程の窪み状を呈している。

遺物は、カマドから土師器盤が出土した。

第55号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.60)	1.30	0.53	(3.71)		灰白		C区
2	(2.87)	1.55	0.55	(5.59)	A	橙	20	D区
3	(2.38)	1.65	0.55	(5.45)	B a	にぶい黄橙	20	C区
4	(4.16)	1.62	0.48	(9.72)	B a	にぶい橙	70	D区
5	(4.33)	1.83	0.50	(14.32)	B	褐灰	60	D区
6	(5.57)	1.82	0.55	(12.52)	B a	橙	70	
7	(5.30)	1.81	0.50	(14.86)	B a	淡黄	60	C区
8	(5.68)	1.72	0.50	(14.93)	B	にぶい黄橙	80	A区
9	5.89	1.77	0.58	14.91	B a IV	淡黄	100	D区

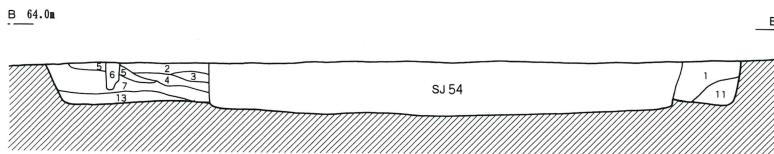
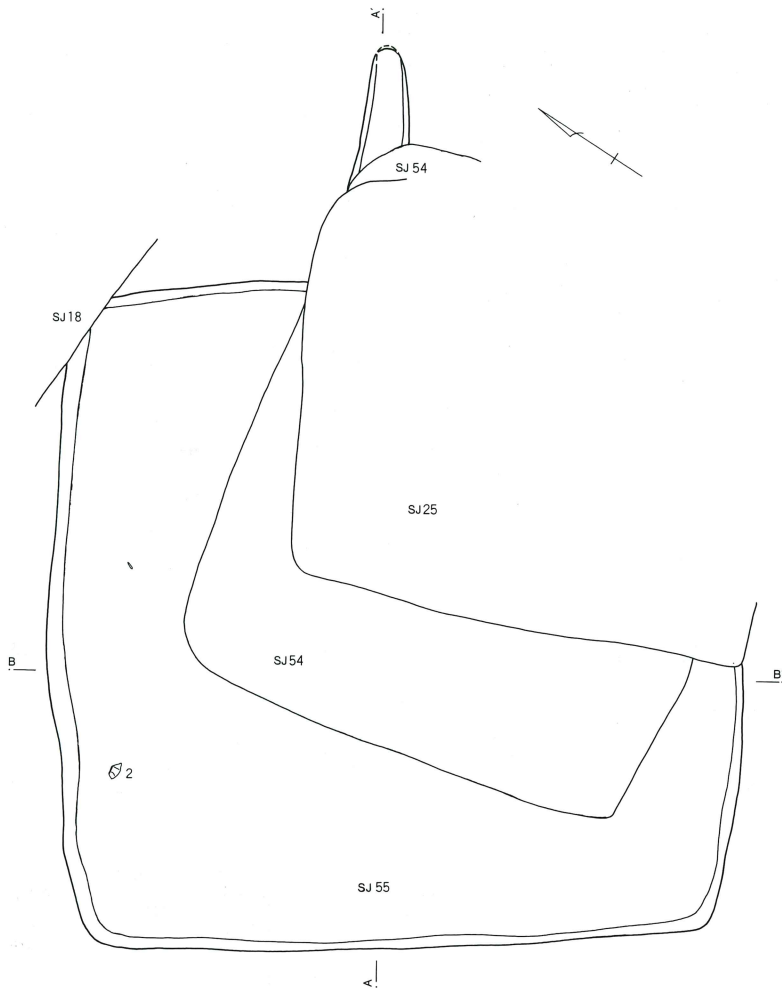
第54・55号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.25)	(1.60)	0.48	(5.45)	B a	にぶい橙	25	C区
2	(2.50)	1.71	0.60	(5.39)		黒褐	20	C区
3	(3.12)	2.72	0.75	(14.38)		橙		C区
4	(3.40)	1.71	0.55	(10.60)	A	橙		
5	(3.95)	1.98	0.58	(12.14)	B a	淡黄	40	
6	(4.34)	1.71	0.48	(11.99)	B a	褐灰	60	C区
7	4.30	1.67	0.62	10.95	B bVI	橙	100	A区
8	(5.35)	1.52	0.45	(11.26)	B b	橙	95	C区
9	(5.36)	1.96	0.55	(20.45)	A	橙		C区

第55号住居跡出土遺物観察表 (第84図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			J	良	赤褐	10	D区	内外面赤彩
2	碗	(13.0)			B E	普通	にぶい橙	15	No1・D区	床+5cm

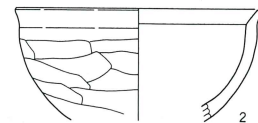
第84図 第55号住居跡・出土遺物



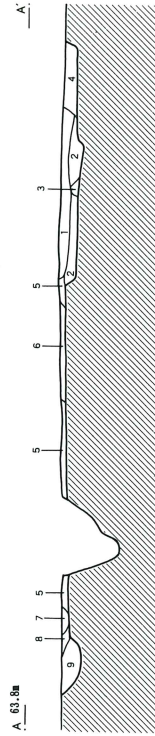
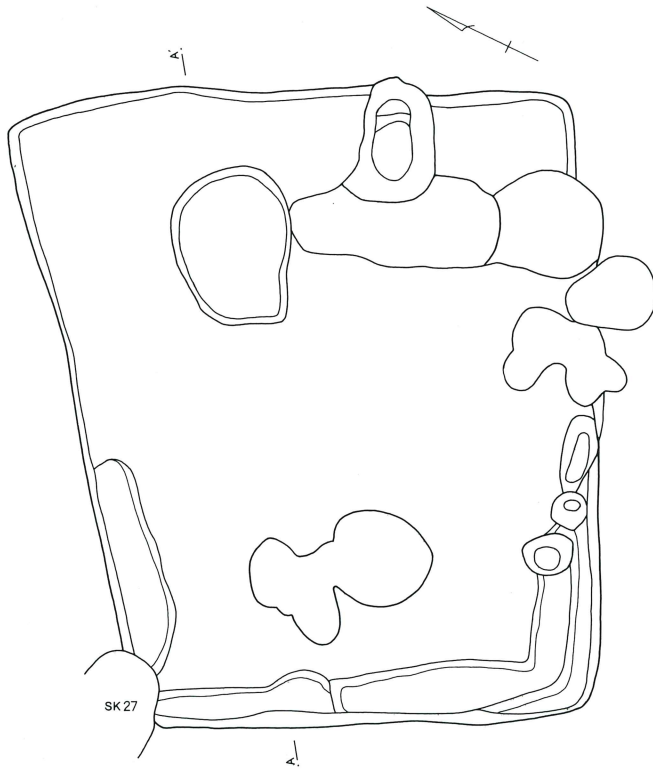
- 1 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 2 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 暗茶褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土僅か
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土僅か
- 5 茶褐色 (10YR5/4) 黄褐色土やや多
- 6 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土僅か
- 7 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物やや多く、黄褐色土少
- 8 黒褐色 (10YR3/1) 焼土・炭化物多量、黄褐色土少
- 9 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物極僅か、黄褐色土やや多
- 10 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 11 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 12 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物少量、黄褐色土ブロック多
- 13 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物僅か、黄褐色土ブロック多

カマド

- a 暗褐色 (10YR3/3) 地山土・焼土(ブロック含)少、炭僅か
- b 暗褐色 (10YR3/4) 地山土(ブロック含)含み、炭・焼土僅か
- c 暗褐色 (10YR3/4) 地山土(ブロック含)多、炭・焼土僅か
- d 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・炭・焼土少

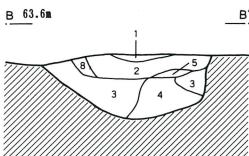
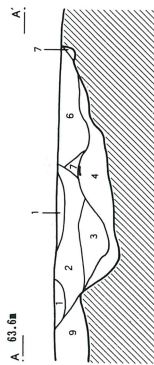
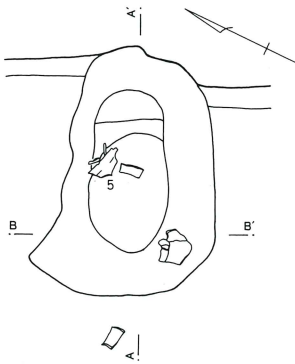


第85図 第56号住居跡・カマド



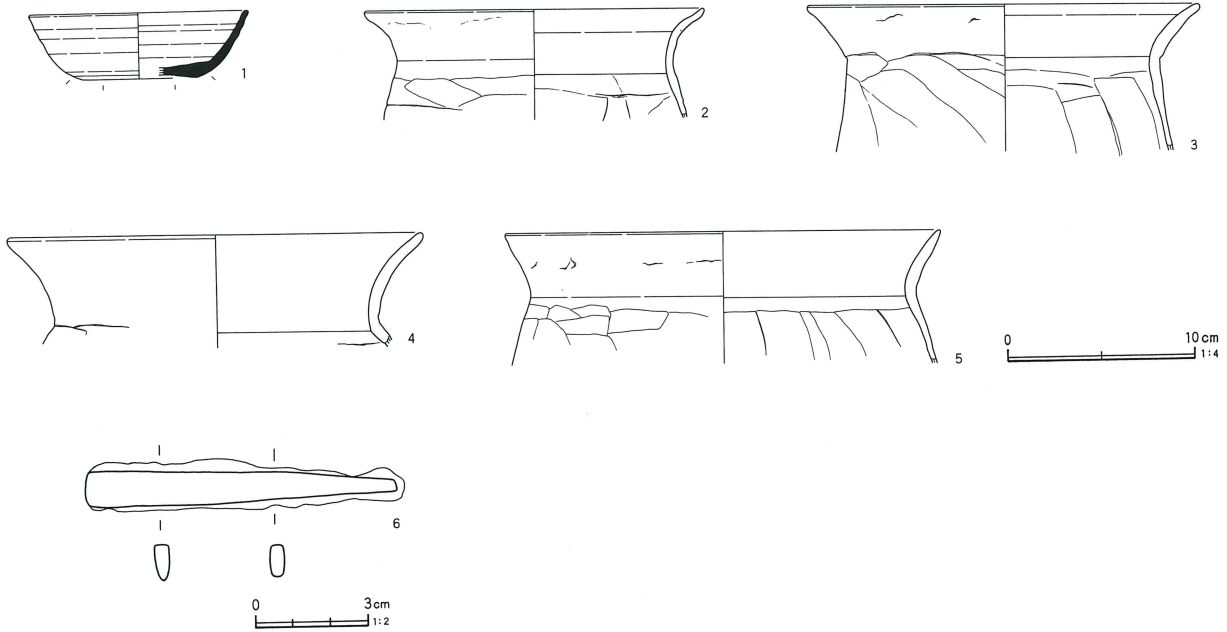
- 1 暗褐色 (10YR3/4) 焼土含
- 2 暗褐色シルト (10YR3/4) 浅黄橙色シルト含
- 3 浅黄橙色シルト(10YR4/4)
- 4 褐色 (10YR4/4)
- 5 明黄褐色シルト(10YR7/6)
- 6 明黄褐色土 (10YR7/6)
- 7 褐色 (7.5YR7/3)
- 8 黄橙シルト (10YR7/8)
- 9 にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)

カマド



- 1 褐色 (10YR4/6) 浅黄橙色シルト
- 2 暗褐色 (10YR3/4) 炭灰・焼土多含
- 3 黒色シルト (10YR2/1)
- 4 にぶい黄褐色シルト(10YR5/4)
- 5 褐色 (10YR4/4)
- 6 にぶい黄褐色(10YR4/3) 焼土若干
- 7 明黄褐色シルト(10YR7/6)
- 8 暗褐色 (10YR3/4)
- 9 褐色 (10YR4/4) 焼土多

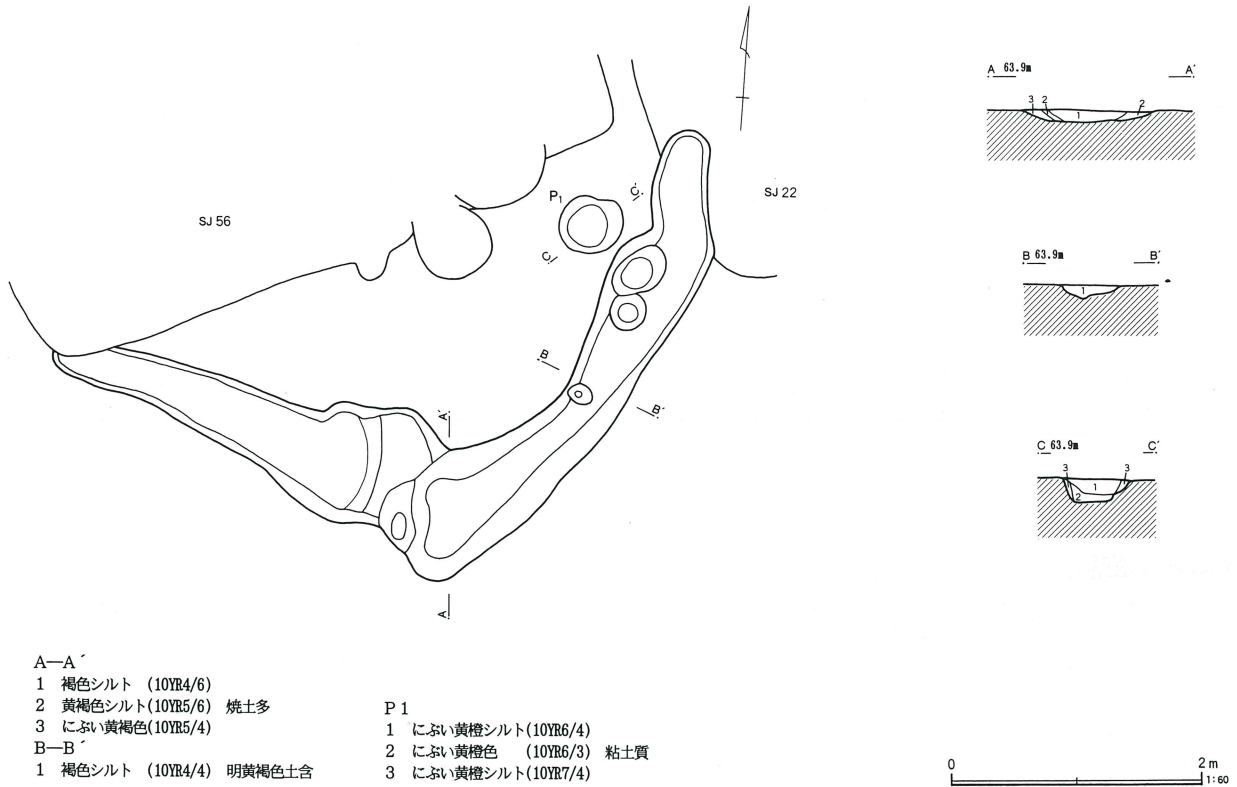
第86図 第56号住居跡出土遺物



第56号住居跡出土遺物観察表 (第86図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	3.5	(6.0)	I	良	灰	15	D区	体部外面下端・底部周辺左回転ヘラ削り
2	甕	(18.0)			DEGH	普通	橙	10	B区・D区	
3	甕	(20.8)			BJ	不良	橙	10	A区	
4	甕	(22.0)			BDG	普通	橙	10	SK1	
5	甕	(23.0)			EG	普通	にぶい橙	10	No1	カマド

第87図 第57号住居跡



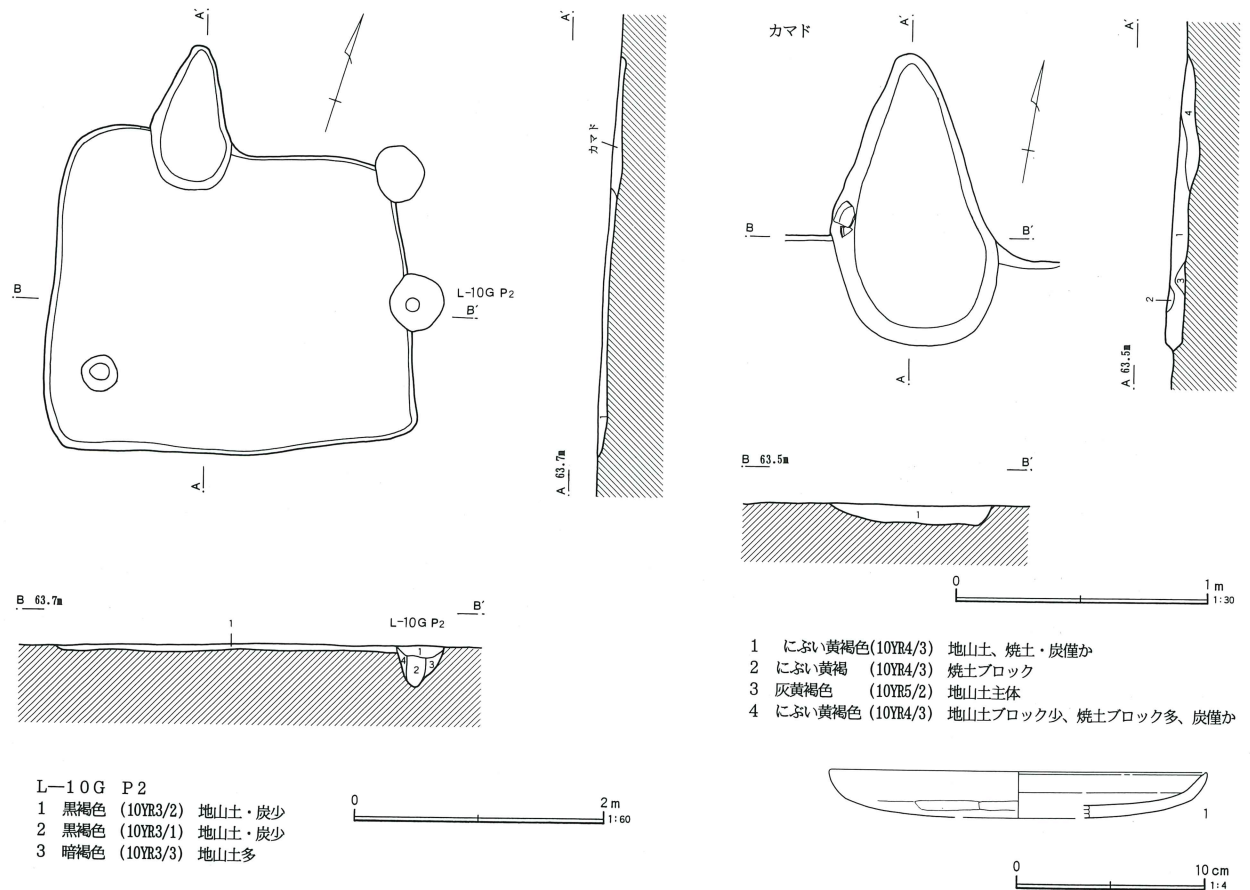
- A-A'
- 1 褐色シルト (10YR4/6)
 - 2 黄褐色シルト(10YR5/6) 焼土多
 - 3 にぶい黄褐色(10YR5/4)
- B-B'
- 1 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色土含

- P 1
- 1 にぶい黄橙シルト(10YR6/4)
 - 2 にぶい黄橙色 (10YR6/3) 粘土質
 - 3 にぶい黄橙シルト(10YR7/4)

第56号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.54)	1.53	0.50	(3.90)		淡黄		C区
2	3.98	2.24	0.40	17.41	C a VI	にぶい黄橙	100	D区
3	(4.66)	1.40	0.50	(7.72)	B	にぶい橙	60	A区
4	6.47	2.21	0.65	22.32	B a IV	にぶい橙	100	A区

第88図 第58号住居跡



第58号住居跡出土遺物観察表 (第88図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	盤	(19.9)	2.9	(18.4)	DFG	普通	にぶい黄褐	25	Na1	カマド

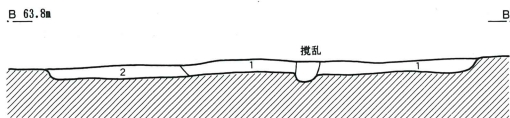
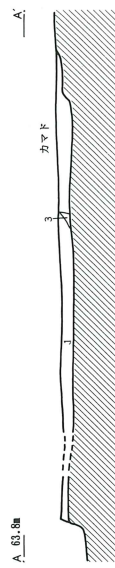
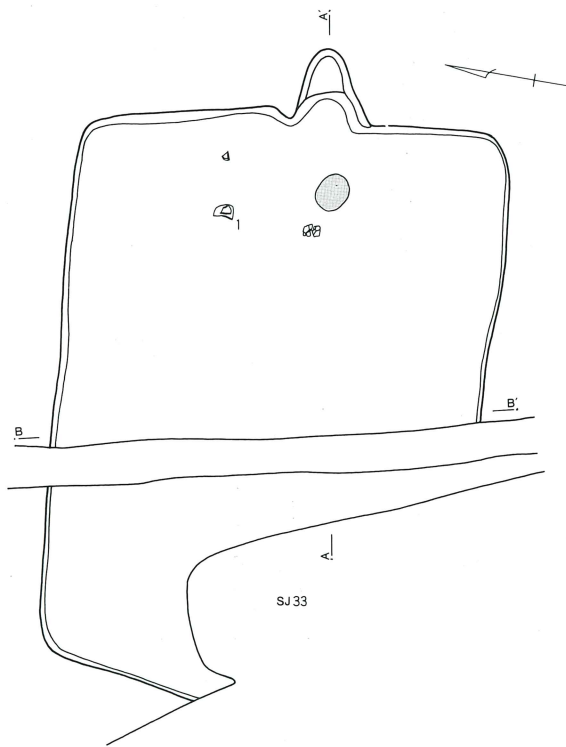
第59号住居跡 (第89図)

M-9グリッドに位置する。第60号住居跡の北に隣接して位置する。第33号住居跡に切られている。平面は、軸長4.84m×3.45mの長方形で、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-85°-Eを指す。

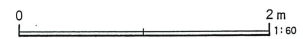
カマドは、東壁に設けられている。燃烧部は90cm×47cmで床面と同じ高さで、煙道部は燃烧部と段差を有し34cm確認できた。

遺物は、土師器甕、ミニチュア土器が出土した。

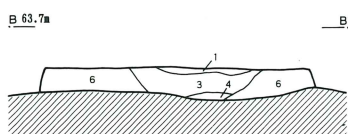
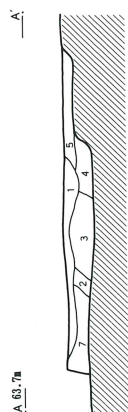
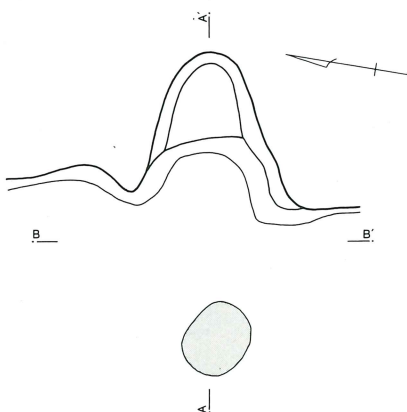
第89図 第59号住居跡



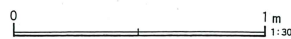
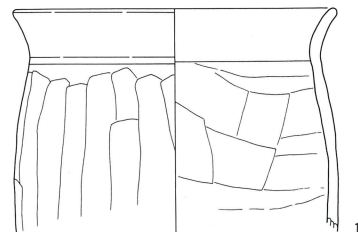
- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック・焼土・炭少
- 2 におい黄褐色(10YR5/3) 地山土主体
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土ブロック・焼土ブロック・炭少



カマド



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土僅か、焼土・炭多
- 2 暗赤褐色 (5YR3/4) 焼土主体、地山土・炭少
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土 (ブロック含) 含み、焼土・炭少
- 4 におい黄褐色(10YR4/3) 地山土主体
- 5 におい黄褐色(10YR4/3) 地山土・焼土・炭少
- 6 におい黄褐色(10YR4/3) 地山土多、焼土・炭僅か
- 7 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック・焼土・炭少



第59号住居跡出土遺物観察表 (第89図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(17.2)			B D J L	普通	灰褐	30	Na2・カマド	床
2	ミニチュア土器	(3.0)	2.4	3.6	B	不良	橙	60	A区	

第60号住居跡 (第90・91図)

M-9グリッドに第60号住居跡の南に隣接して位置する。第33号住居跡に切られている。平面は、軸長5.65m×4.80mの方形で、深さ10cm程を測る。壁溝は南西隅のみ検出し、幅7~10cm、深さ3~5cmである。主軸方位は、N-74°-Eを指す。

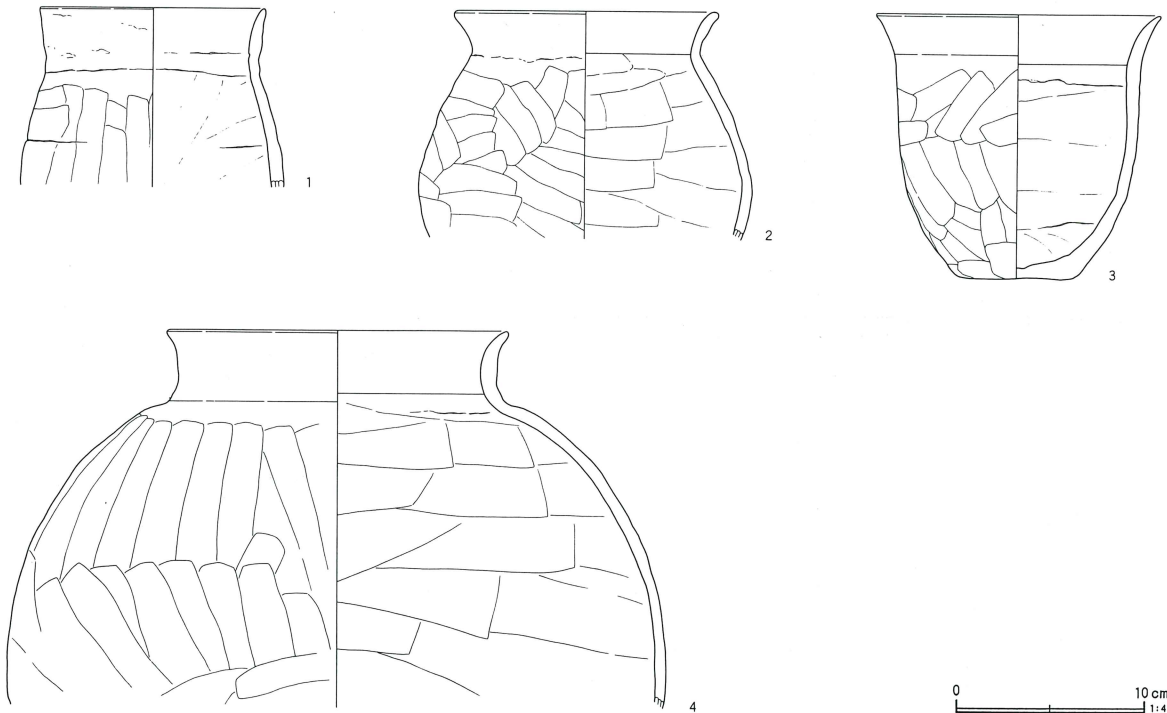
カマドは、東壁のやや北寄りに設けられている。燃焼部は65cm×43cmの楕円形で床面から深さ10cmを測る。煙道部は燃焼部との間に段差を有し、33cm程確認できた。

遺物は、土師器甕・壺・鉢、土錘が出土した。

第60号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.49)	(1.36)		(1.54)		橙		C区
2	(3.91)	1.78	0.56	(9.01)	B a	明赤褐	70	C区
3	3.92	1.67	0.52	(8.76)	B a VI	にぶい黄橙	90	B区
4	6.10	1.71	0.56	(13.97)	B a IV	褐灰	95	D区

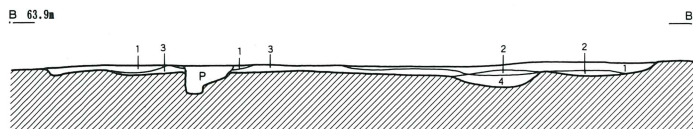
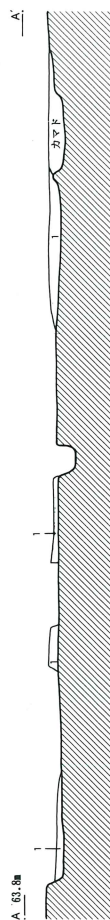
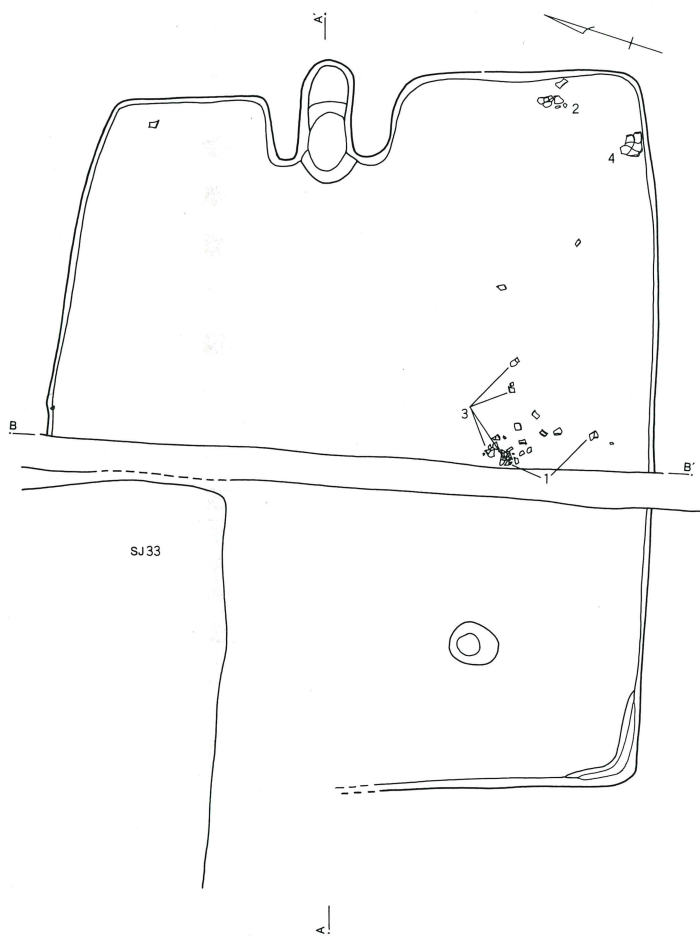
第90図 第60号住居跡出土遺物



第60号住居跡出土遺物観察表 (第90図)

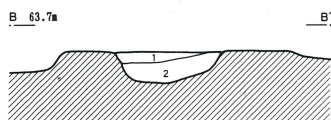
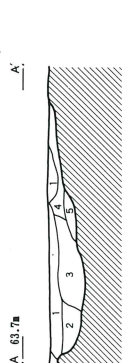
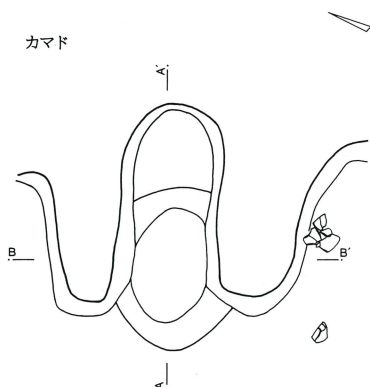
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(12.0)			A B J L	普通	にぶい黄橙	10	Na11・Na19	床 外面↑方向、一部←方向ヘラ削り
2	甕	(14.0)			J L	普通	にぶい赤褐	30	Na4・SJ63	床
3	甕	(15.0)	14.0	6.0	B D E G J	普通	橙	40	Na7・8・9・11	床 外面中上位↑方向
4	壺	(18.2)			B E F H J L	普通	橙	20	Na5・B区	床 外面↑方向ヘラ削り

第91図 第60号住居跡・カマド



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土・焼土・炭少、灰白色シルト少
- 2 灰白色 (10YR7/1) 灰白色シルトを主体
- 3 灰黄褐色 (10YR5/2) 灰白色シルト多
- 4 灰白色 (10YR7/1) 灰白色シルトと黒褐色土の混泥土

0 2 m
1:60



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土・炭少、焼土ブロックやや多
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・炭・焼土ブロック少
- 3 明赤褐色 (5YR5/6) 焼土を主体、地山土少
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山土含
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 地山土少、炭僅か

0 1 m
1:30

第61号住居跡 (第92図)

J-9グリッドに位置し、他の住居跡より一段低い荒川に近接したところにある。平面は、軸長2.91m×3.07mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-110°-Wを指す。

カマドは、西壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部103cm×46cmで、床面から深さ10cm程の浅い窪み状を呈する。支脚の石が遺存していた。

遺物は、土師器坏・甕が出土した。

第62号住居跡 (第93図)

M-9グリッドに位置する。第33号住居跡に西壁一部分が切られ、第59号・第60号住居跡の下にある。平面は、軸長4.67m×4.20~5.35mの台形で、深さ11cm程を測る。主軸方位は、N-119°-Wを指す。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器瓶、土師器坏・鉢・甕が出土した。

第64号住居跡 (第94・95図)

L-10・11グリッドを中心に位置する。第82号住居跡を切り、第75号住居跡の上に乗る。平面は、軸長3.43m×3.28mの方形で、深さ15cm程を測る。壁溝は南壁・西壁・北壁で確認でき、幅10~15cm、深さ2~5cmである。主軸方位は、N-70°-Eを指す。

カマドは、東壁の南よりに設けられている。燃焼部151cm×56cmを測り、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、須恵器坏・高台付碗、土師器甕、土錘、鉄製品が出土した。4の鉄製品は刀子で刃部先端が欠損しているが、重さは8.80gで、床面から出土した。

第61号住居跡出土遺物観察表 (第92図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	10.4	4.9		ABFJL	普通	褐	95	No4	口縁部内外面横ナデ、内面ヘラナデ
2	坏	12.9	4.8		ABFJL	普通	にぶい褐	95	No1	口縁部内外面横ナデ、体部内面中位まで横ナデ
3	坏	(13.0)			BJL	普通	褐	25	カマド	カマド 口縁外面横ナデ
4	甕	(19.0)			BJ	普通	にぶい橙	10	No3・カマド	カマド 体部外面↑方向ヘラ削り

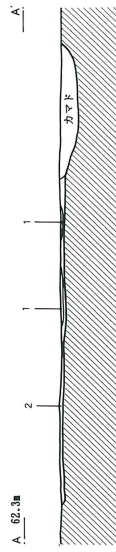
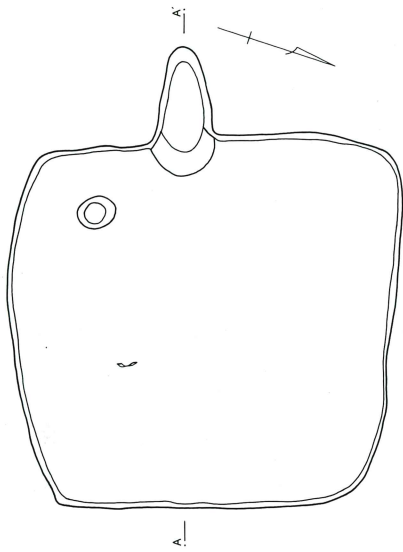
第62号住居跡出土遺物観察表 (第93図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)	3.7		B	不良	橙	40	No2	SK2
2	瓶	(8.2)			AB	良	灰白	20		
3	鉢	(13.0)			JL	不良	浅黄	10		
4	甕	(22.0)			BJL	普通	灰黄褐	10	SK2	SK2 外面↑方向ヘラ削り
5	甕	(18.0)			BDHJL	普通	にぶい橙	10	No1	SK2 外面↑方向ヘラ削り、内面ナデ

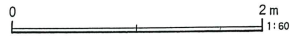
第64号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.43)	1.03	0.42	(3.45)	Ba	浅黄橙	60	D区
2	(3.47)	1.00	0.38	(3.00)	Ba	橙	80	C区
3	(3.51)	1.17	0.43	(3.41)	B	橙	40	D区
4	(2.57)	1.75	0.49	(5.92)	Ea	橙		D区
5	(2.84)	1.54	0.65	(4.59)	Ba	にぶい黄橙		C区
6	(3.44)	1.73	(0.49)	(3.75)	Ba	灰黄褐		C区
7	(3.55)	1.48	0.48	(5.76)	B	淡黄		カマド

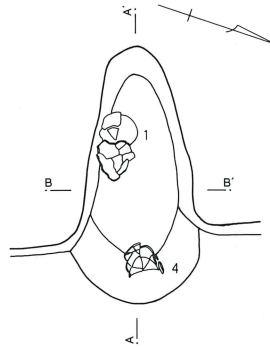
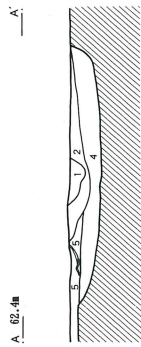
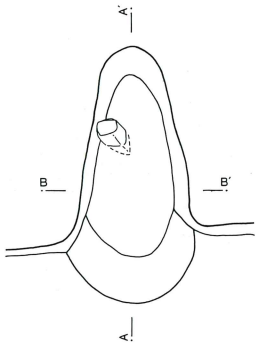
第92図 第61号住居跡



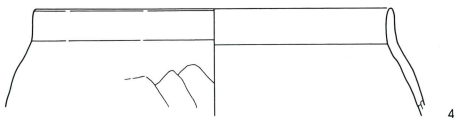
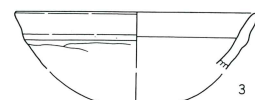
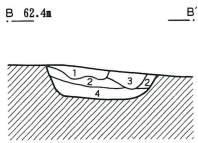
- 1 褐灰色 (10YR4/1) 地山砂少、炭化物多、焼土僅か
- 2 にふい黄褐色(10YR5/3) 地山砂多、炭僅か



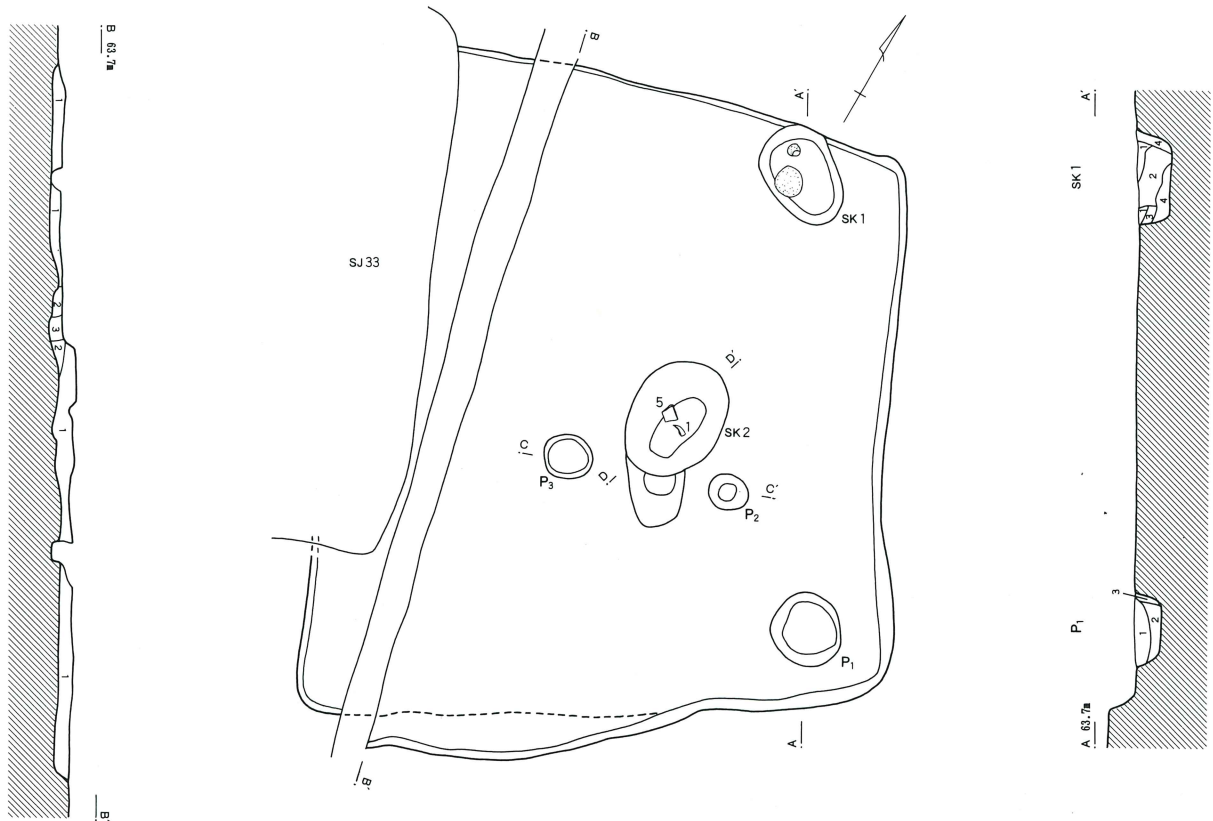
カマド



- 1 にふい赤褐色(5YR4/4) 焼土ブロック多、地山砂少
- 2 にふい黄褐色(10YR5/3) 地山砂多、炭・焼土僅か
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山砂少、炭僅か
- 4 にふい黄褐色(10YR5/3) 地山砂主体、炭・焼土僅か
- 5 にふい黄褐色(10YR5/3) 地山砂多、炭僅か



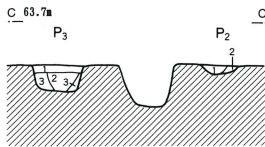
第93図 第62号住居跡・出土遺物



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土ブロック多、焼土・炭僅か
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック多、炭少
- 3 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少

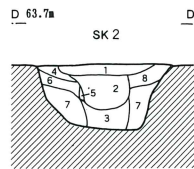
- P 1
- 1 褐色シルト (10YR4/6) 炭化物微、明黄褐色土若干
 - 2 褐色シルト (10YR4/6) 明黄褐色土多含
 - 3 明黄褐色シルト(10YR7/6)

- SK 1
- 1 黄褐色シルト(10YR5/6)
 - 2 褐色シルト (10YR4/4) 焼土・炭灰極多
 - 3 褐色 (10YR4/6)
 - 4 褐色 (10YR4/4) 砂質

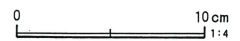
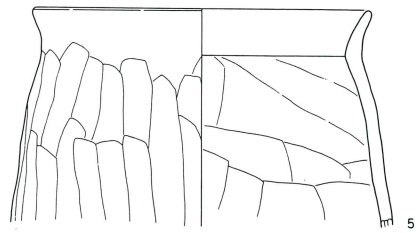
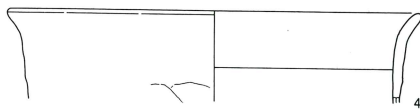
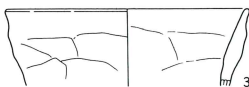
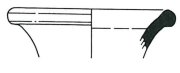
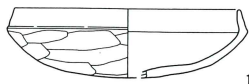


- P 2
- 1 褐色シルト (10YR4/4) 炭化物粒子含
 - 2 黄褐色シルト(10YR5/6)

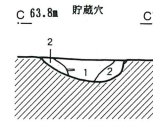
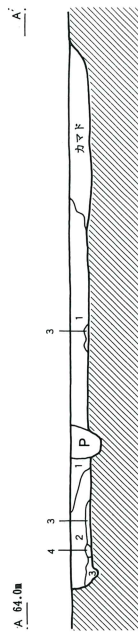
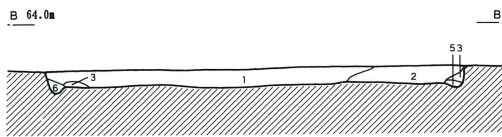
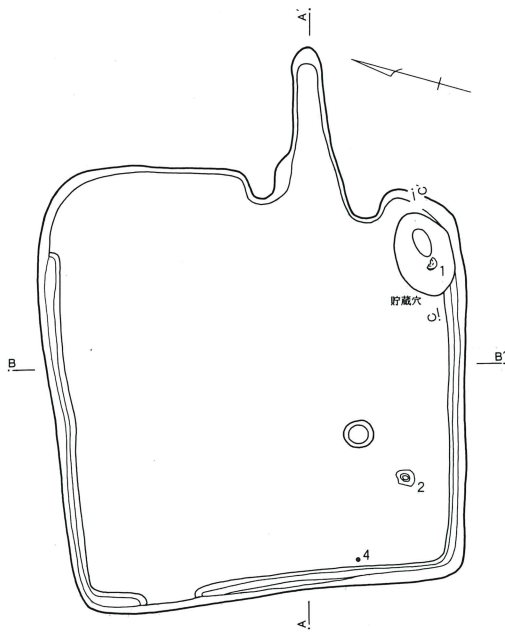
- P 3
- 1 黄褐色シルト(10YR5/6)
 - 2 褐色シルト (10YR4/6)
 - 3 褐色シルト (10YR4/4)



- SK 2
- 1 黄褐色シルト(10YR5/6)
 - 2 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト若干含
 - 3 暗褐色シルト(10YR3/4)
 - 4 褐色シルト (10YR4/6) 明黄褐色シルト粒子極多く含
 - 5 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト粒子多く含
 - 6 褐色シルト (10YR4/4) 炭灰若干含
 - 7 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト極多く、炭灰若干含
 - 8 黄褐色シルト(10YR5/6) 炭灰若干



第94図 第64号住居跡・カマド



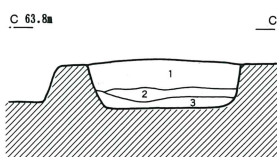
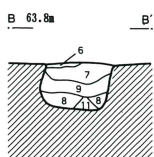
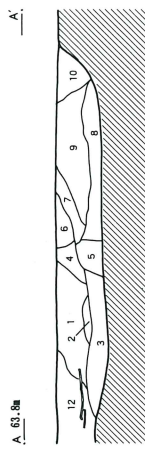
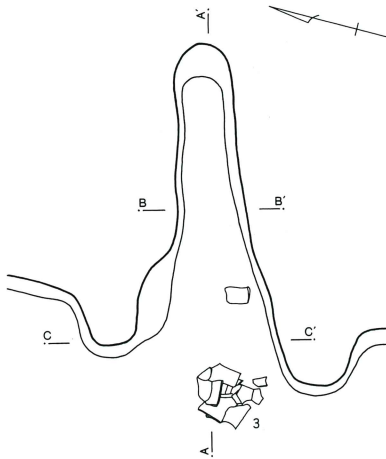
貯蔵穴

- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土・焼土・炭少
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 地山ブロック多、焼土・炭少

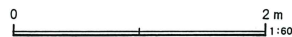
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、焼土・炭少
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 地山土、焼土・炭多
- 3 にぶい黄褐色(10YR5/4) 地山土主体、暗褐色土混入炭僅か
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山土少、炭僅か
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 地山土僅か
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多、炭僅か



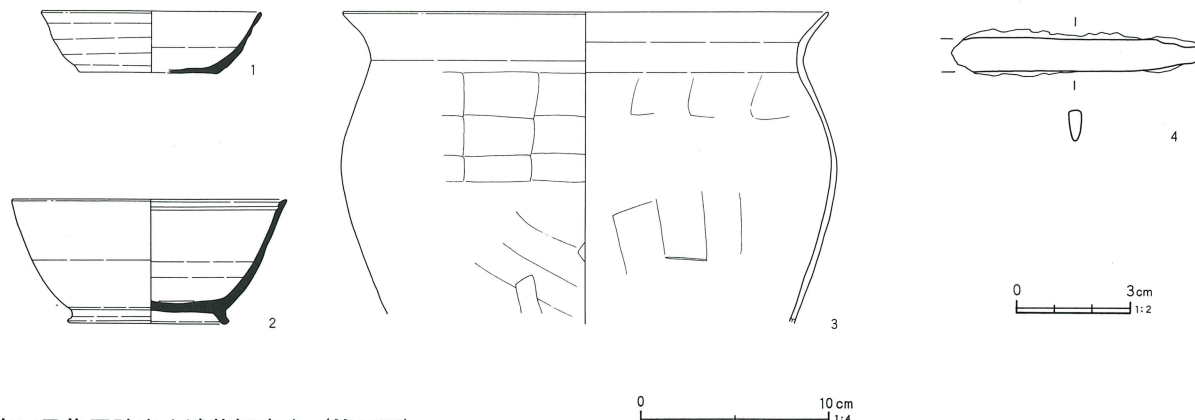
カマド



- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 焼土多
- 2 明赤褐色 (5YR5/6) 焼土・焼土ブロック主体
灰黄褐色土・地山・炭少
- 3 黒褐色 (10YR2/2) 灰・炭多、地山僅か、焼土少
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山土・焼土・炭少
- 5 黒褐色 (10YR2/2) 炭・焼土多、地山土僅か
- 6 明赤褐色 (5YR5/6) 焼土・焼土ブロック極多、暗褐色土少
- 7 黒褐色 (10YR2/2) 炭多、地山土僅か
- 8 黒褐色 (10YR2/3) 炭多、地山土少、焼土僅か
- 9 褐色 (10YR4/4) 炭・焼土少、地山土
- 10 褐色 (10YR4/4) 焼土僅か、地山土・地山ブロック多
- 11 にぶい黄褐色(10YR5/4) 地山土・地山ブロック
- 12 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土多、焼土・炭少



第95図 第64号住居跡出土遺物



第64号住居跡出土遺物観察表 (第95図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.8	3.3	7.2	D H J	普通	灰	70	No1	貯蔵穴 底部右回転糸切り
2	高台付碗	(14.6)	6.6	8.2	L	普通	灰	50	No2	床 底部右回転糸切り後、高台貼付 一部酸化焰焼成
3	甕	(25.8)			G J	普通	灰黄褐	30	No4	外面上位←方向、下位↓方向ヘラ削り

第65号住居跡 (第96・97図)

M-10・11グリッドに位置する。第83号住居跡を切り、第85号住居跡の上に乗る。平面は、軸長3.12m×4.63mの長方形で、深さ32cm程を測る。壁溝は、東壁・北壁と西壁の一部で確認でき、幅7~14cm、深

さ3~7cmである。主軸方位は、N-13°-Wを指す。

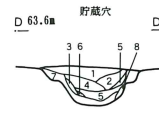
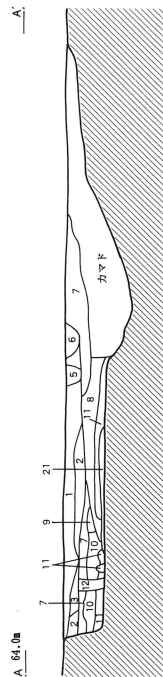
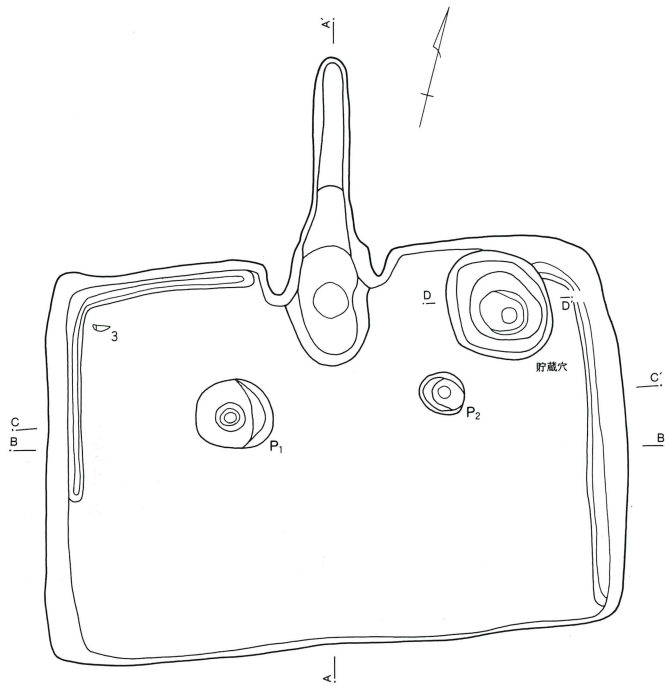
カマドは、北壁中央に設けられている。燃焼部145cm×70cmで、床面から深さ20cmを測る。煙道部は103cm確認できた。

柱穴は2本の支柱穴が検出された。径63cm×54cm、

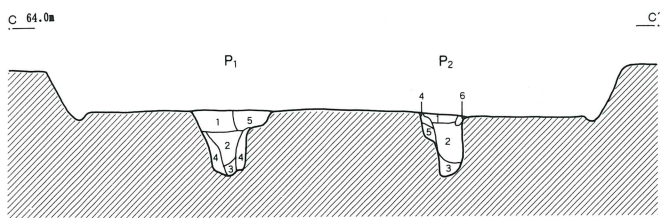
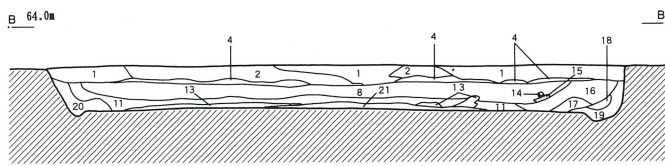
第65号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.61)	1.36	0.55	(2.34)	B a	明赤褐		C区
2	(1.77)	1.33	0.60	(2.25)	B a	にぶい黄橙		D区
3	(2.25)	1.52	0.53	(2.59)	B	黒褐		C区
4	(2.33)	1.50	0.50	(3.89)	B a	褐灰	20	D区
5	(3.21)	1.35	(0.32)	(3.97)	A	橙		C区
6	(2.98)	1.77	0.40	(7.98)	B a	にぶい黄橙	20	A区
7	(3.34)	1.50	0.42	(6.92)	B a	にぶい黄橙	40	D区
8	(3.41)	1.71	0.56	(7.70)	B a	橙	30	A区
9	(3.63)	1.56	0.42	(7.25)	B a	橙	40	D区
10	(3.41)	1.67	0.48	(5.49)	B	褐灰		C区
11	(3.83)	1.71	0.38	(9.98)	B a	橙	40	A区
12	(3.98)	1.82	0.58	(11.89)	B a	橙	30	C区
13	(4.50)	1.21	0.55	(4.37)	B a	褐灰	70	A区
14	(4.71)	1.81	0.50	(11.41)	B	浅黄橙	80	D区
15	4.50	1.64	0.50	13.59	A b V	浅黄橙	100	C区
16	5.48	1.57	0.48	13.13	B a V	にぶい黄橙	100	D区
17	5.70	1.65	0.45	14.08	B a IV	にぶい黄橙	100	B区
18	(5.25)	1.66	0.50	(12.48)	B a	にぶい橙	70	A区
19	6.05	1.98	0.58	21.92	B a IV	浅黄橙	100	C区
20	5.46	2.24	0.50	21.09	B a V	浅黄橙	100	A区
21	6.32	1.96	0.55	19.81	B a IV	にぶい黄橙	100	貯蔵穴
22	6.53	1.54	0.46	13.08	B a III	橙	100	D区
23	6.91	1.54	0.48	13.46	B a III	橙	100	C区
24	7.23	1.80	0.39	19.23	B a III	橙	100	B区

第96図 第65号住居跡



- 貯蔵穴
- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭灰若干
 - 2 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質
 - 3 炭灰層
 - 4 焼土・炭灰混合土
 - 5 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質、焼土・炭化物微
 - 6 焼土
 - 7 褐色 (10YR4/4) シルト質、焼土・炭化物多
 - 8 にぶい黄褐色(10YR5/4) 砂質



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山土均等、焼土・炭化物少
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山土・焼土粒・焼土ブロック少、炭化物多
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 地山土、焼土・炭化物少
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山土多、焼土・炭化物少
- 5 黒褐色 (10YR3/1) 地山土・炭少
- 6 黒褐色 (10YR3/1) 地山土ブロック多、焼土・炭化物少
- 7 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土多
- 8 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土多
- 9 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物微、灰褐色土多
- 10 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少
- 11 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土多
- 12 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物・黄褐色土微
- 13 黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物微、暗褐色土少
- 14 暗黄褐色 (10YR6/6) ロームブロック、焼土少
- 15 暗赤褐色焼土(5YR3/4) 黄褐色土少
- 16 褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物・暗褐色土少、黄褐色土多
- 17 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 18 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物微、黄褐色土少
- 19 黄褐色 (10YR6/6) 灰褐色土・茶褐色土多
- 20 暗黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物少、暗褐色土やや多
- 21 黄褐色 (10YR6/6) 焼土粒・炭化物、締まりあり、粘性なし

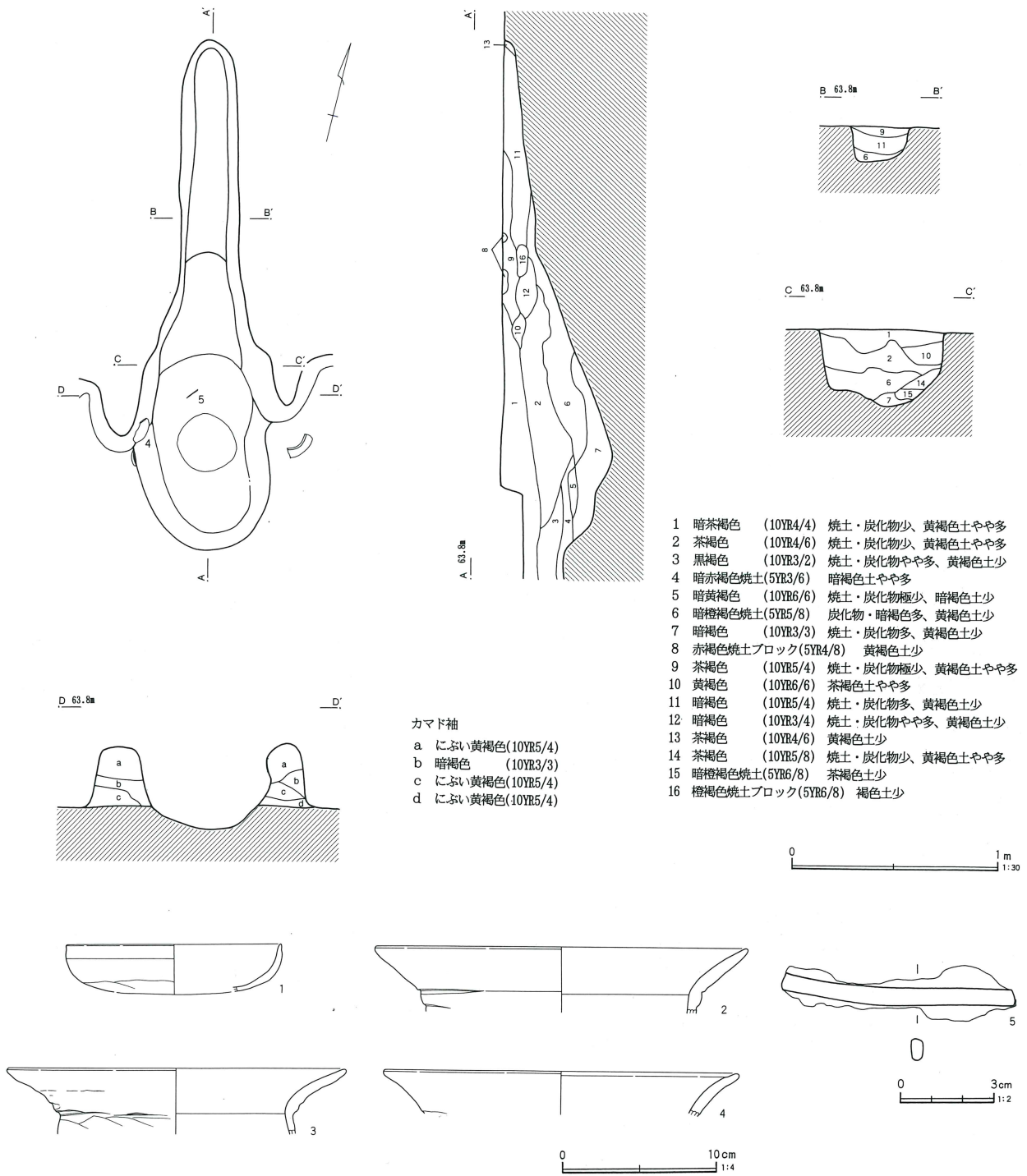
- P 1
- 1 暗褐色 (10YR3/4) 黄褐色土・炭化物粒少
 - 2 褐色 (10YR4/4) シルト質
 - 3 褐色 (10YR4/4) 灰褐色粘土
 - 4 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質
 - 5 褐色 (10YR4/4) 黄褐色土
- P 2
- 1 暗褐色 (10YR3/4) シルト質、焼土・黄褐色シルト少
 - 2 暗褐色 (10YR3/3)
 - 3 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質
 - 4 にぶい黄褐色(10YR4/4)
 - 5 暗褐色 (10YR3/3) 黄褐色土
 - 6 明黄褐色 (10YR6/6)



第65号住居跡出土遺物観察表 (第97図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(14.0)			ABDJ	不良	にぶい褐	15	D区	
2	甕	(24.0)			DHJ	普通	にぶい赤褐	10	カマド	カマド
3	甕	(22.0)			BDG	普通	にぶい橙	10	No1	床
4	甕	(23.0)			BGJ	不良	にぶい褐	25	No3	カマド

第97図 第65号住居跡カマド・出土遺物



径37cm×33cmの円形で、深さ50cm程を測る。

貯蔵穴は北東隅にあり、82cm×84cmの方形気味で、深さ32cmである。

遺物は、土師器坏・甕、土錘、鉄製品が出土した。

5の鉄製品は、断面楕円形の棒状のもので両端が欠損しているが、重さは15.82gで、カマドから出土した。

第66号住居跡 (第98図)

〇-6・7グリッドに位置する。第6号性格不明遺構に切られ、第15号住居跡の下にある。平面は、軸長3.62m×5.50mの長方形で、深さ13cm程を測る。壁溝は、南東壁と南西壁の一部で確認され、幅8～24cm、深さ4～10cmである。主軸方位は、N-39°-Wを指す。

カマドは、北西壁の北東寄りに設けられている。燃焼部は109cm×53cm、床面から深さ15cmを測る。

柱穴は主柱穴3本が確認された。径30～40cmの円形で、深さ15～20cmと浅い。しかし、ピット2は径25cm、深さ5cmである。他に土坑1基を検出した。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

第66号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.76)	1.38	0.60	(4.34)	B a	浅黄橙	20	A区
2	3.98	1.92	0.43	14.40	B a VI	淡黄	100	A区
3	(7.26)	1.84	0.48	(18.54)	B a III	淡黄	95	A区

第66号住居跡出土遺物観察表 (第98図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.4)			E	不良	橙	10	B区	
2	坏	(13.0)			D	普通	灰黄褐	10	A区	

第67号住居跡 (第99図)

〇-7グリッドを中心に位置する。第15号・第68号住居跡・第1号性格不明遺構に切られている。第4号性格不明遺構との重複関係は確認できなかった。壁溝からの検出で、全体の規模・形状については、明らかにし得ない。壁溝は北壁・東壁の一部についての確認であるが、幅11～15cm、深さ4～6cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕が出土した。

第68号住居跡 (第99図)

〇-6グリッドに位置する。第15号住居跡に切られ、第67号住居跡を切っている。第4号性格不明遺構との重複関係は確認できなかった。重複が激しく全体の規模・形状や施設は明らかとし得ない。

遺物は、土師器坏・甕、須恵器椀、土錘が出土した。

第67号住居跡出土遺物観察表 (第99図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.0	4.2		A B D E	普通	にぶい橙	95	Na1	床 口縁部内外面に油煙
2	坏	12.0	4.2		B D E	普通	にぶい褐	90	Na2・A区	床
3	坏	12.0	4.0		D E J	普通	橙	95	Na4	床
4	坏	12.1	3.5		E J	不良	橙	85	Na3	床
5	坏	(14.8)			B G	普通	にぶい橙	15	A区	
6	甕	(15.6)			D J	普通	にぶい橙	15	A区	
7	壺			10.4	D J L	普通	にぶい褐	80	Na8・A区	床

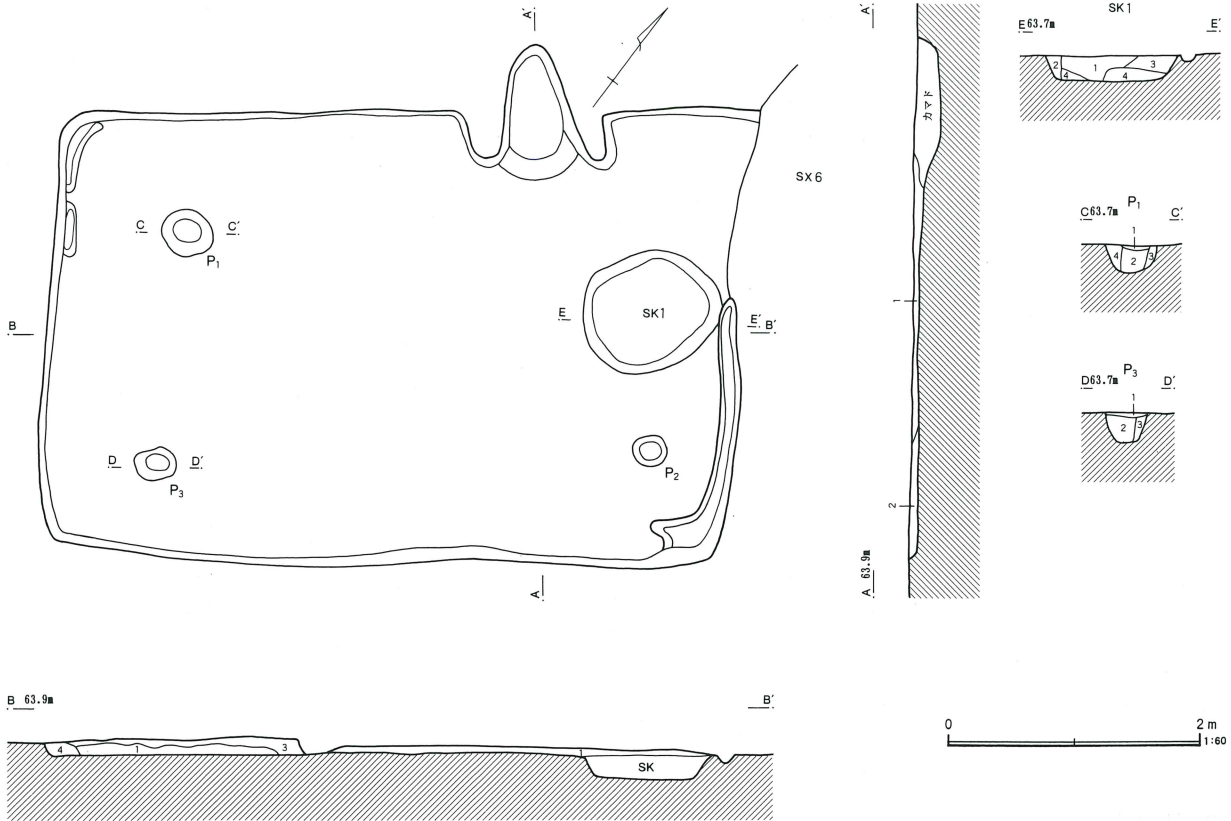
第68号住居跡出土遺物観察表 (第99図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	3.4		D	普通	灰黄褐	25	A区	
2	坏	(12.4)			B D E	良	にぶい褐	20	A区	
3	椀	(14.0)			J	良	灰	10	B区	
4	甕	(20.0)			E H J L	普通	明赤褐	10	Na2	床 外面↓←方向ヘラ削り

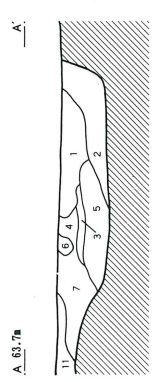
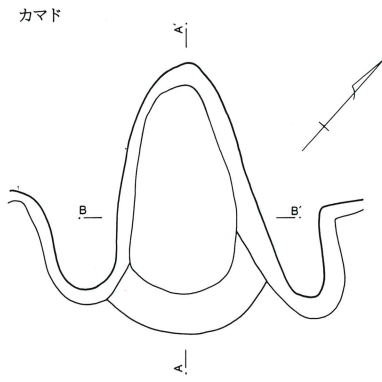
第68号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	3.69	1.93	0.40	11.6	C a VI	淡黄	100	B区

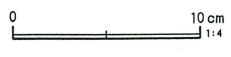
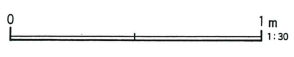
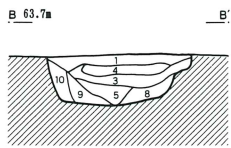
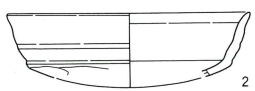
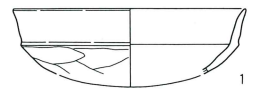
第98図 第66号住居跡



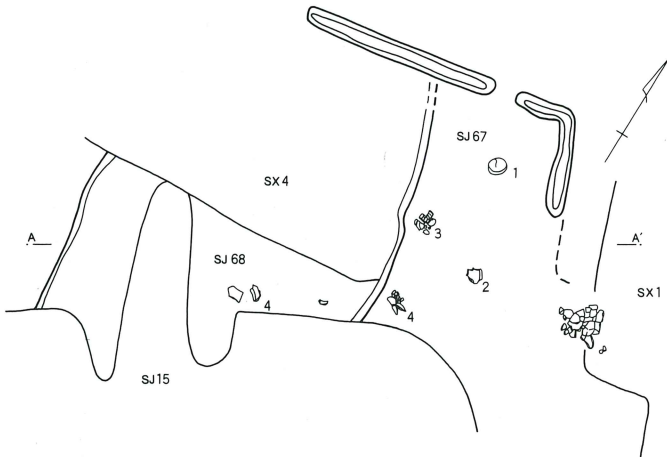
- | | | | | | |
|--------------------------|----------------------|----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色シルト少 | P 1 | 1 明黄褐色 (10YR6/6) | P 2 | 1 明黄褐色 (10YR6/6) | S K |
| 2 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物粒少 | 2 褐色 (10YR4/6) | 2 褐色 (10YR4/6) | 1 明黄褐色 (10YR6/6) | 2 黄褐色 (10YR5/6) | 1 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒 |
| 3 暗褐色 (10YR3/4) 白色微粒多 | 3 黄褐色 (10YR6/6) | 3 黄褐色 (10YR6/6) | 2 黄褐色 (10YR5/6) | 3 黄褐色 (10YR5/6) シルト質 | 2 黄褐色 (10YR5/6) |
| 4 褐色 (10YR4/4) | 4 黄褐色 (10YR6/6) シルト質 | 4 黄褐色 (10YR6/6) シルト質 | 3 明黄褐色 (10YR6/6) | 4 明黄褐色 (10YR6/6) シルト質 | 3 黄褐色 (10YR5/6) シルト質 |
| | | | | | 4 明黄褐色 (10YR6/6) シルト質 |
| | | | | | |
| | | | | | |



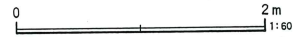
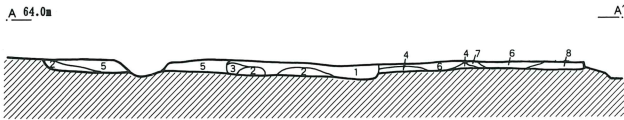
- | |
|---------------------------|
| 1 褐色 (10YR4/6) 明褐色シルト |
| 2 暗褐色 (10YR3/4) |
| 3 焼土層 |
| 4 暗褐色 (10YR3/4) 焼土少 |
| 5 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭灰少 |
| 6 明黄褐色 (10YR7/6) シルト質 |
| 7 暗褐色 (10YR4/6) 白色微粒多 |
| 8 褐色 (10YR4/4) シルト質、焼土少 |
| 9 におい黄褐色(10Y5/4) シルト質、炭灰多 |
| 10 におい黄褐色(10Y5/4) シルト質 |
| 11 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色シルト少 |



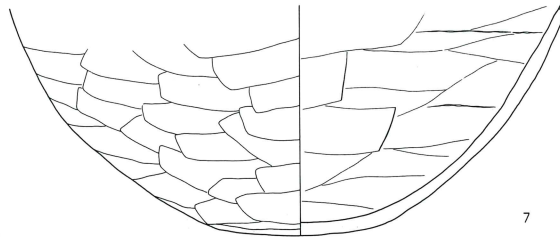
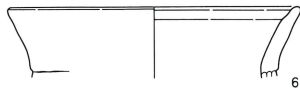
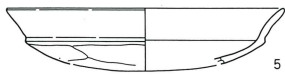
第99図 第67・68号住居跡・出土遺物



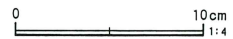
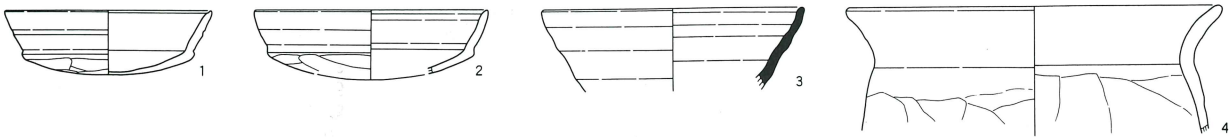
- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土粒・炭化物粒微
- 2 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色シルト多
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 焼土粒・炭化物粒微
- 4 浅黄色 (2.5Y7/4) シルト質
- 5 褐色 (10YR4/4) 白色微粒・焼土粒少、締まり極強い
- 6 明黄褐色 (10YR6/6) 白色微粒少、シルト質
- 7 焼土
- 8 明黄褐色 (10YR6/6) 炭化物粒、シルト質



SJ 67



SJ 68



第69号住居跡 (第100～103図)

M・N-11グリッドを中心に位置する。第85号住居跡を切り、第88号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長6.58m×7.03mのやや歪んだ方形で、深さ45cm程を測る。主軸方位は、N-18°-Wを指す。

カマドは、北壁の東に偏して設けられている。燃焼部は117cm×76cmの楕円形で、床面から僅かな窪み状を呈する。煙道部は天井が残っておりトンネル状に遺存している。燃焼部との間に段差を有し110cm確認できた。

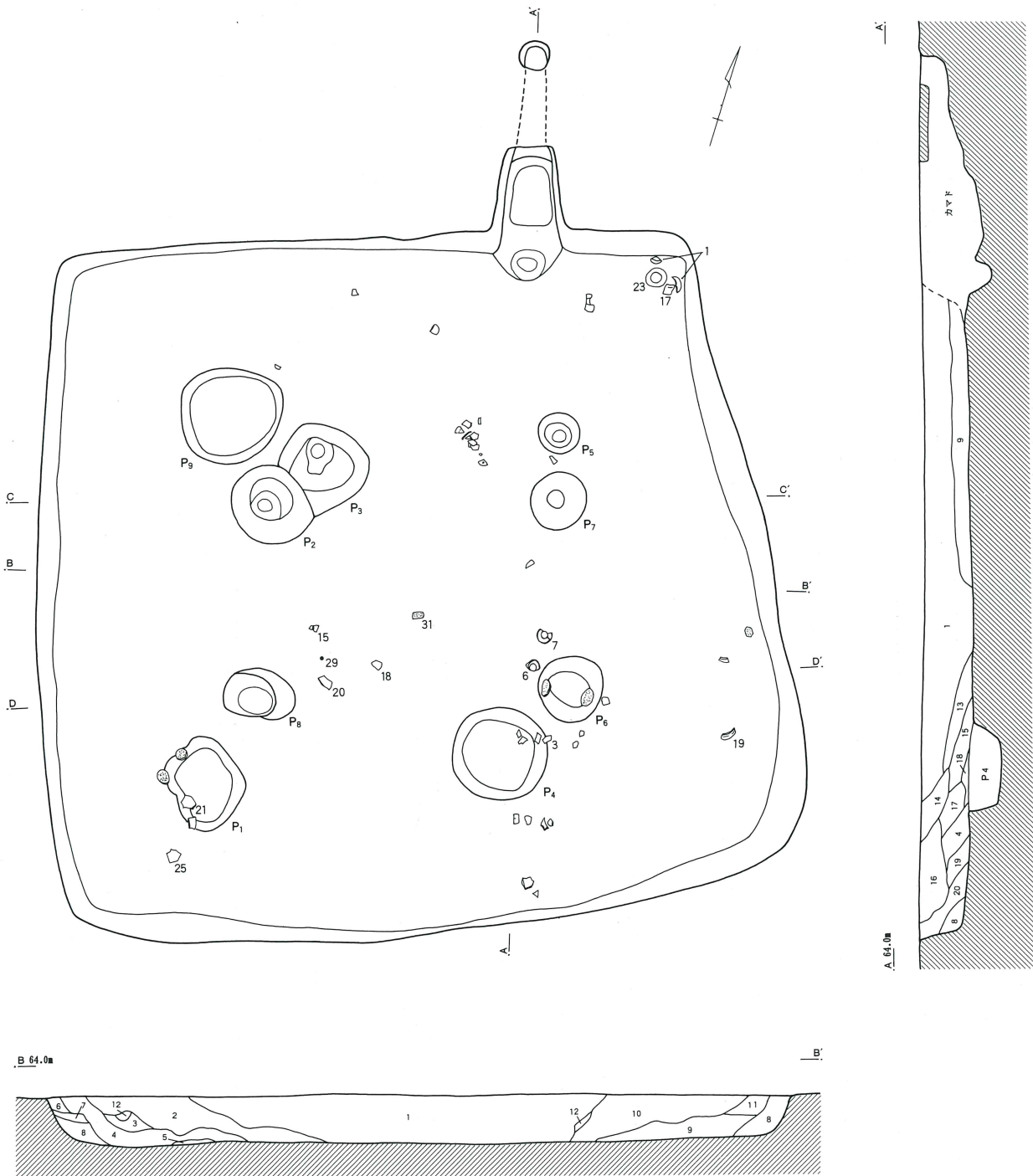
柱穴は支柱穴が4本検出された。径70～80cm、径50～60cmの円形で、深さ65cm程を測る。

遺物は、土師器坏・台付甕・甕、須恵器坏・蓋、土玉、砥石と多数の土錘が出土した。29の土玉は、径7.4～8.0mm、厚さ5.2mm、孔径2.3mm、重さ0.32gで床面近くから出土した。30は未製品で孔が穿たれていない。径9.8～12.0mm、高さ9.6mm、重さ1.03gで覆土からの出土である。31の砥石は2面のみ使用されたもので縦7.32～7.73cm、横5.72cm、厚さ1.38～1.40cmである。土錘は観察表の他に破片が87点出土した。

第69号住居跡出土土錘観察表 (1)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.18)	1.61	0.50	(5.26)	B b	黄灰	20	C区
2	(2.64)	1.80	0.45	(7.08)	B b	黄灰	20	D区
3	(3.74)	1.46	0.50	(6.70)	B b	褐灰	40	B区
4	(4.06)	1.61	0.55	(9.80)	B b	褐灰	60	A区
5	(3.93)	1.73	0.56	(6.52)	B b	褐灰	20	C区
6	(4.87)	1.85	0.53	(8.06)	B b	褐灰	50	A区
7	(5.47)	1.37	0.45	(9.58)	B	にぶい黄橙		A区
8	(5.18)	1.87	0.50	(16.12)	B b	黄灰	60	A区
9	6.43	1.90	0.58	20.51	B b IV	灰黄	100	B区
10	(2.40)	1.46	0.51	(5.51)		にぶい褐		D区
11	(2.92)	1.28	0.40	(4.49)	B a	褐灰	30	A区
12	(3.06)	1.29	0.40	(4.61)	B a	灰黄褐	40	A区
13	(3.11)	1.47	0.48	(5.40)	B	にぶい黄橙	20	B区
14	(3.97)	1.49	0.50	(7.24)	B	にぶい橙		B区
15	3.87	2.02	0.45	15.31	C a VI	褐灰	100	A区
16	(3.68)	1.93	0.40	(13.04)	B a	明赤褐	70	A区
17	(3.93)	1.84	0.50	(11.51)	B a	橙	60	P 6
18	(4.28)	1.69	0.45	(11.39)	B	黄灰	40	A区
19	4.35	1.71	0.62	11.60	B a VI	褐灰	100	A区
20	(4.25)	0.98	0.36	(4.09)	B a	橙	80	A区
21	(4.50)	1.09	0.40	(4.66)	B a	浅黄橙	90	A区
22	(4.37)	1.90	0.49	(7.18)	B	にぶい橙	30	B区
23	(4.43)	1.38	0.56	(6.73)	B a	褐灰	90	A区
24	4.59	1.61	0.46	10.98	B a V	黄灰	100	C区
25	(4.26)	1.77	0.62	(11.72)	B a	浅黄橙	60	A区
26	(4.48)	1.75	0.50	(11.85)	B a	にぶい橙	70	A区
27	4.54	1.55	0.60	10.26	B a V	にぶい黄橙	100	C区
28	(4.71)	1.75	0.50	(11.23)	B	灰褐	80	A区
29	4.66	1.46	0.60	8.56	B a V	にぶい橙	100	A区
30	(4.69)	1.69	0.50	(10.18)	B a	灰褐	70	D区
31	(4.60)	1.94	0.85	(15.36)	B	浅黄橙	60	B区
32	(4.56)	1.84	0.55	(14.65)	B a	橙	70	C区
33	(4.86)	1.78	0.60	(14.05)	B a	浅黄橙	60	A区
34	(4.84)	1.51	0.52	(8.96)	B b	褐灰	70	A区
35	(4.70)	1.62	0.50	(12.24)	B b	灰黄	60	C区
36	(4.91)	1.71	0.65	(12.30)	B	浅黄	80	A区
37	(4.73)	1.73	0.50	(12.76)	B	にぶい黄橙	70	A区
38	(4.85)	1.58	0.45	(11.30)	B a	浅黄橙	80	A区
39	(4.91)	1.50	0.40	(9.50)	B a	にぶい橙	70	D区
40	(4.97)	1.45	0.50	(10.92)	B a	浅黄橙	90	D区
41	(5.05)	1.40	0.50	(7.63)	B b	にぶい黄橙	90	A区
42	(5.13)	1.48	0.50	(9.78)	B a	にぶい黄橙	80	カマド
43	(5.15)	1.46	0.50	(9.89)	B a	にぶい黄橙	80	A区
44	(5.12)	2.01	0.48	(20.97)	B a	にぶい黄橙	90	D区
45	5.04	1.93	0.58	15.89	B a V	褐灰	100	D区
46	(5.33)	2.10	0.51	(16.77)	B a	褐灰	70	D区
47	(5.03)	1.77	0.40	(12.35)	B a	淡黄	70	B区

第100図 第69号住居跡



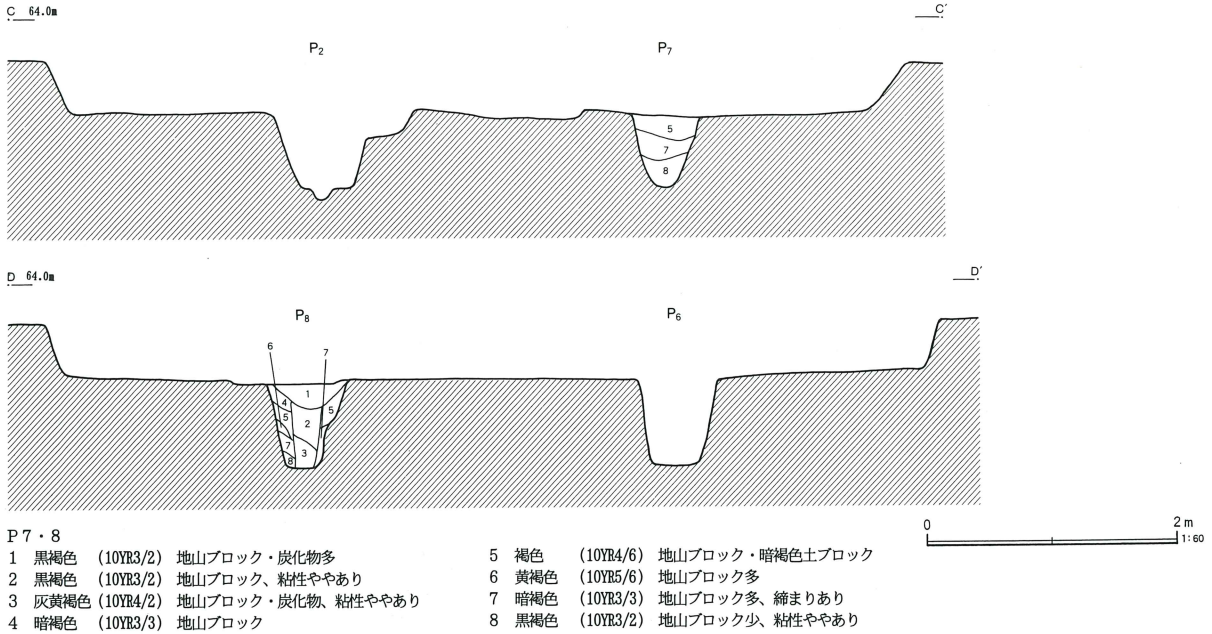
- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1 黒褐色 (10YR3/1) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 11 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土多 |
| 2 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 12 暗黄褐色 (10YR6/6) 黄褐色土ブロック、暗褐色土多 |
| 3 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物微 | 13 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少 |
| 4 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少 | 14 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物微、黄褐色土やや多 |
| 5 黄褐色 (10YR7/6) 暗褐色土やや多 | 15 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少 |
| 6 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 16 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多 |
| 7 暗褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 17 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物多、黄褐色土やや多 |
| 8 暗黄褐色 (10YR6/6) 暗褐色土やや多 | 18 黒褐色 (10YR3/1) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土・灰褐色土少 |
| 9 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少 | 19 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少 |
| 10 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少 | 20 黒褐色 (10YR3/1) 焼土・炭化物・黄褐色土少 |

0 2m
1:60

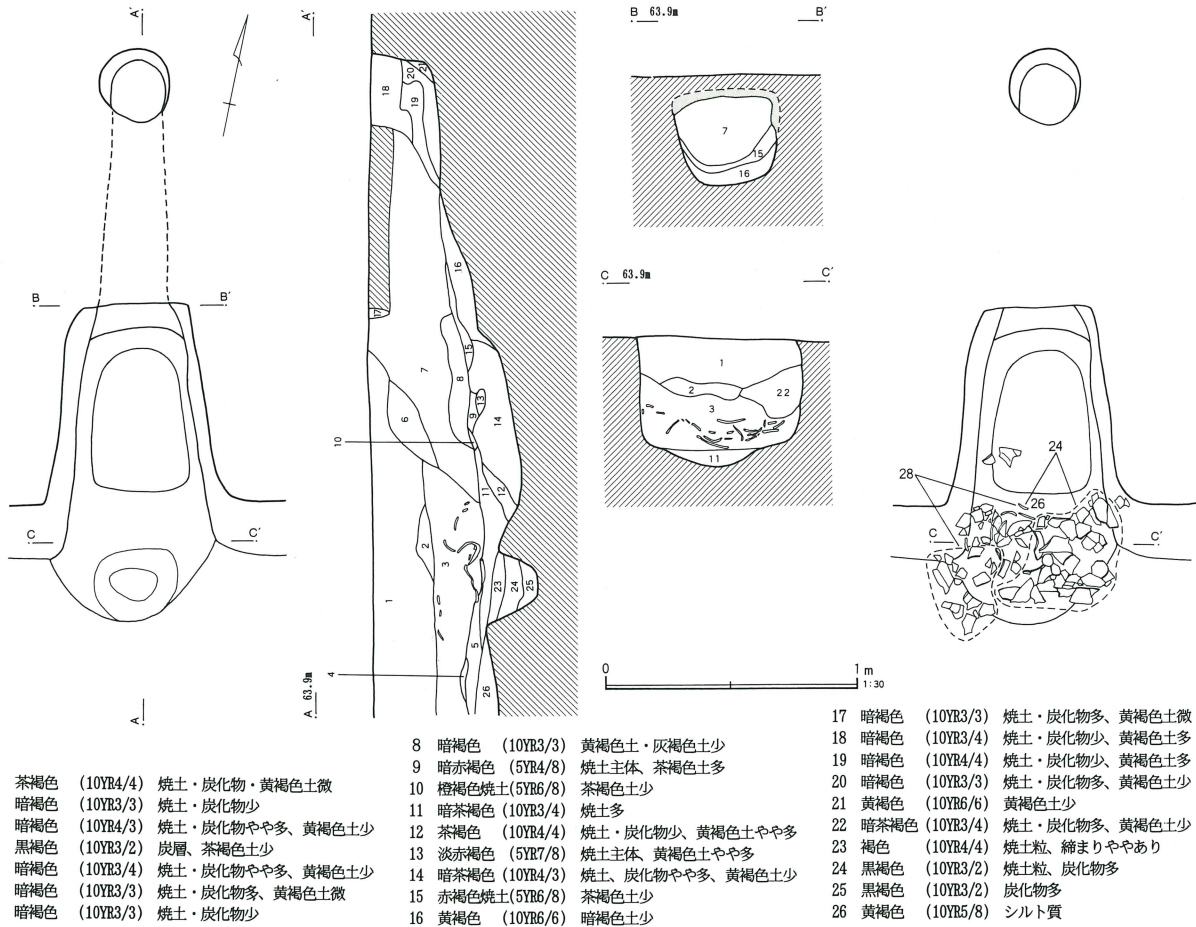
第69号住居跡出土土錘観察表 (2)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
48	(5.14)	2.14	0.70	(20.09)	B a	にぶい黄橙	90	D区
49	(5.07)	2.26	0.65	(21.87)	B a	浅黄橙	50	D区
50	5.29	1.72	0.40	13.74	B a V	黄灰	100	A区
51	5.27	1.54	0.40	12.16	B a V	灰黄褐	100	A区
52	(5.03)	1.61	0.56	(9.28)	B a	褐灰	60	A区
53	5.13	1.50	0.55	(10.30)	B a V	浅黄橙	95	A区
54	(5.17)	1.77	0.58	(13.34)	B a	にぶい黄橙	60	C区
55	(5.32)	1.66	0.50	(13.56)	B a	にぶい黄橙	80	D区
56	(5.27)	1.43	0.36	(11.36)	B a	にぶい黄橙	90	D区
57	(5.34)	1.49	0.39	(10.46)	B a	にぶい橙	70	A区
58	5.33	1.63	0.58	13.32	B a V	浅黄橙	100	D区
59	(5.51)	1.37	0.35	(10.55)	B a	にぶい橙	70	D区
60	(5.91)	1.48	0.49	(11.21)	B a	にぶい黄橙	90	A区
61	(5.53)	1.74	0.48	(13.05)	B a	橙	90	A区
62	(5.51)	1.83	0.53	(15.88)	B a	橙	90	D区
63	(5.48)	1.97	0.46	(17.84)	B a	褐灰	90	C区
64	5.36	1.70	0.50	14.30	B a V	褐灰	100	A区
65	(5.51)	1.85	0.52	(14.46)	B a	浅黄橙	90	B区
66	(5.42)	1.89	0.54	(16.01)	B a	淡黄	80	D区
67	(5.78)	2.00	0.52	(18.32)	B a	にぶい黄橙	90	A区
68	(5.55)	1.98	0.55	(17.87)	B a	にぶい黄橙	95	C区
69	(5.65)	1.86	0.58	(14.34)	B a	にぶい黄橙	95	C区
70	(5.59)	1.80	0.46	(15.38)	B a	浅黄橙	70	D区
71	5.48	1.85	0.68	16.49	B a V	浅黄橙	100	B区
72	(5.85)	1.39	0.50	(10.47)	B a	褐灰	95	C区
73	(5.88)	1.70	0.51	(15.31)	B a	橙	70	D区
74	(5.90)	1.73	0.54	(15.45)	B a	橙	90	B区
75	(5.91)	1.72	0.48	(14.42)	B a	にぶい橙	60	C区
76	(5.86)	2.29	0.50	(24.86)	B b	にぶい橙	80	C区
77	(6.09)	1.81	0.48	(13.45)	B a	淡黄	95	C区
78	6.31	1.78	0.43	19.77	B a IV	浅黄橙	100	B区
79	(6.02)	2.16	0.62	(24.50)	B a	にぶい黄橙	60	D区
80	(6.22)	1.72	0.45	(16.39)	B a	にぶい黄橙	70	D区
81	6.53	1.64	0.55	15.51	B a III	にぶい橙	100	C区
82	(6.49)	1.64	0.52	(15.28)	B a	灰黄	95	B区
83	(6.63)	1.70	0.52	(14.52)	B a	灰黄褐	95	D区
84	6.42	1.38	0.50	10.36	B b IV	褐灰	100	D区
85	6.34	1.82	0.48	(17.95)	B a IV	橙	95	D区
86	(6.32)	1.76	0.42	(16.22)	B a	にぶい橙	80	A区
87	6.23	1.93	0.48	22.22	B a IV	橙	100	B区
88	(6.50)	2.02	0.50	(18.67)	B a	淡黄	95	A区
89	(6.51)	1.97	0.52	(20.20)	B b	淡黄	90	B区
90	(6.77)	1.80	0.74	(20.22)	B a	にぶい褐	80	B区
91	6.80	1.61	0.53	(14.65)	B a III	褐灰	95	A区
92	(6.80)	1.77	0.55	(16.97)	B a	灰黄褐	90	C区
93	(6.24)	2.31	0.69	(33.50)	B a	褐灰	80	D区
94	6.68	1.72	0.52	15.84	B a III	黒褐	100	D区
95	6.99	1.68	0.35	(17.61)	B a III	にぶい橙	95	D区
96	(6.97)	1.91	0.55	(21.58)	B	淡黄	90	D区
97	(7.20)	1.86	0.45	(22.11)	B	浅黄橙	90	D区
98	(7.14)	1.68	0.38	(18.15)	B a	にぶい橙	90	A区
99	7.08	2.13	0.50	27.60	B a III	浅黄橙	100	D区
100	7.47	2.25	0.50	26.98	B a III	褐灰	100	C区
101	7.51	1.47	0.38	13.39	B a II	にぶい橙	95	B区
102	7.51	1.71	0.43	17.66	B a II	にぶい橙	100	C区
103	(7.68)	1.47	0.38	(14.27)	B a	灰褐	95	D区
104	8.22	1.84	0.35	23.38	B a II	浅黄橙	100	D区
105	18.06	1.88	0.38	(22.78)	B a II	にぶい黄橙	95	D区

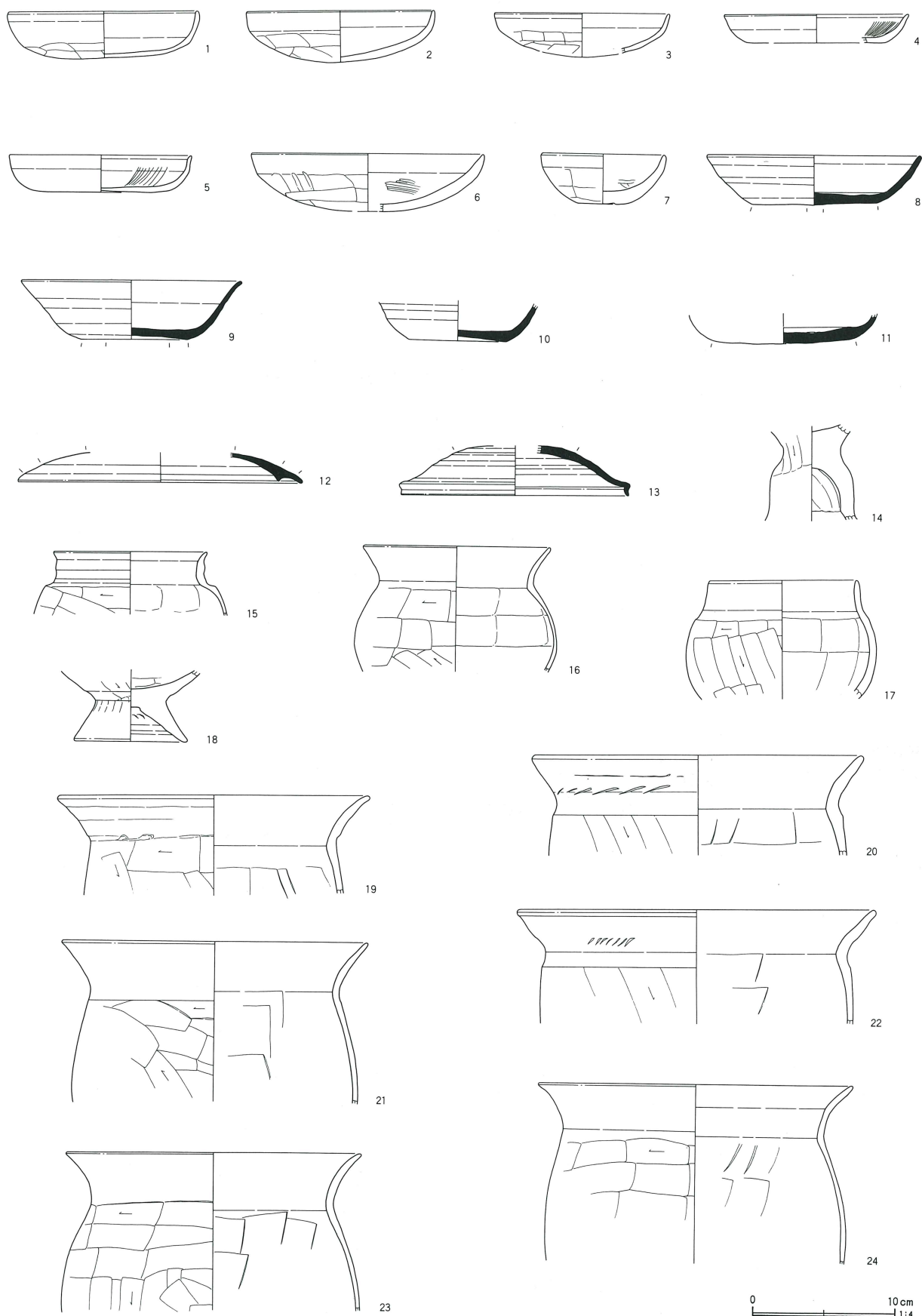
第101図 第69号住居跡・カマド



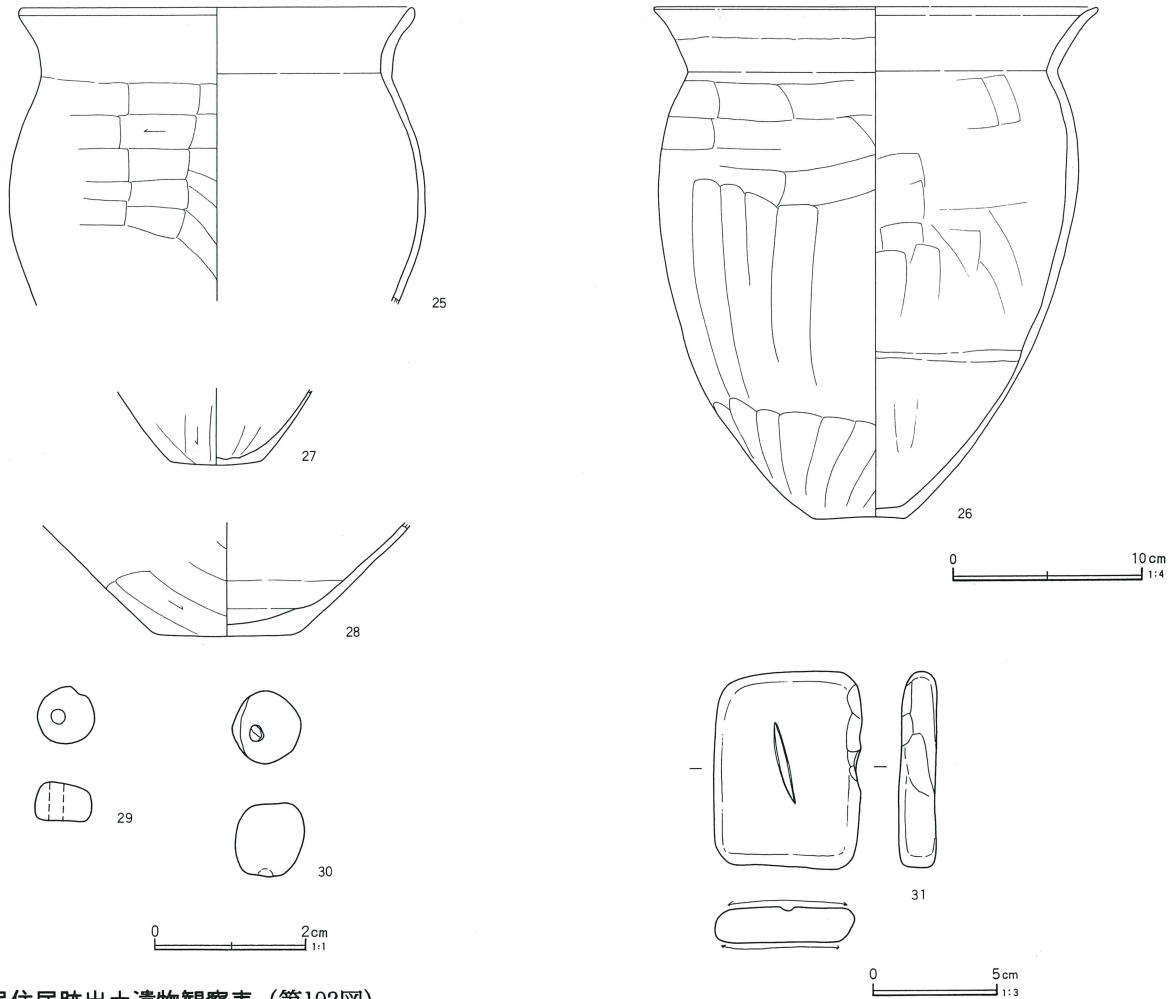
カマド



第102图 第69号住居跡出土遺物 (1)



第103図 第69号住居跡出土遺物 (2)



第69号住居跡出土遺物観察表 (第102図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.2	3.4		DF	普通	橙	100	Na1・2	
2	坏	(13.1)	3.6		ADF	不良	にぶい黄橙	80	D区	
3	坏	(12.2)			G	良	にぶい黄橙	20	Na34	P 4 床 + 5 cm
4	坏	(13.0)	2.0	(9.6)	G	普通	橙	15	A区	暗文土器
5	坏	(13.8)	2.6	9.7	BEG	普通	橙	35	B区	
6	坏	(16.3)	4.1		B	良	橙	20	D区	床 + 10 cm 内面一部へら磨き
7	ミニチュア碗	(8.5)	3.5	3.6	BD	普通	橙	75	D区	底部一方向へらナデ
8	坏	(14.8)	3.5	8.8	IL	良	灰	85	Na16	底部右回転へら削り
9	坏	15.4	4.2	7.5	BJL	良	灰	90	Na15	床 + 5 cm 底部左回転周辺へら削り 糸切り離しは右回転
10	坏			6.9	CL	不良	灰黄	100	A区	底部右回転糸切り
11	瓶			(10.0)	GL	良	灰白	45	D区	底部手持ちへら削り
12	蓋	(19.8)			B	良	灰	10	A区	天井部回転へら削り
13	蓋	(16.0)			L	良	灰	45	A区・B区	天井部右回転へら削り
14	高坏				BL	普通	橙	90	Na23	床 + 10 cm
15	甕	(10.6)			BJ	普通	にぶい黄橙	30	C区	内面横ナデ
16	甕	(13.0)			DG	普通	明褐	20	Na4	床 + 10 cm 内面横ナデ
17	壺	(10.4)			J	普通	橙	20	Na22	内面工具横ナデ
18	台付甕			(7.8)	BDG	普通	橙	50	D区	
19	甕	(21.6)			BEGH	普通	橙	40	Na20	内面木口状工具ナデ
20	甕	(23.0)			GH	良	橙	30	Na26	床 + 3 cm 内面木口状工具ナデ
21	甕	(21.4)			DE	普通	橙	25	Na28	P 1 内面木口状工具ナデ
22	甕	(25.0)			DEG	良	橙	20	C区・D区	内面木口状工具横ナデ

第69号住居跡出土遺物観察表 (第102・103図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
23	甕	20.8			D G	普通	橙	80	No3	床
24	甕	22.0			D G	普通	橙	95	No43・49・50 ・51・53	カマド 内面木口状工具ナデ
25	甕	(20.8)			D E G	普通	にぶい橙	20	No30・P 8	P 8 内面横ナデ
26	甕	(23.4)	27.0	4.8	D	普通	にぶい褐	40	No9・10・44 ・45・47・53	カマド 内面ナデ
27	甕			4.9	D E	普通	にぶい黄橙	80	No53	カマド
28	甕			7.3	D G L	良	にぶい黄橙	60	D区	

第70号住居跡 (第104図)

M-10グリッドに位置する。第7号性格不明遺構・第71号住居跡に切られ、第81号・第83号住居跡を切っている。平面は、軸長4.16m×3.70m以上で方形とみられ、深さ16cm程を測る。主軸方位は、N-72.5°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は長さ230cmを測り、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、土師器片、土錘が出土した。

第71号住居跡 (第105・106図)

L-10グリッドに位置する。第7号性格不明遺構の下にある。平面は、軸長3.58m×2.52mの長方形で、深さ30cm程を測る。壁溝は、南壁と西壁の一部で検出でき、幅10~17cm、深さ5cm程である。主軸方位は、N-69°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部は99cm×44cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈す

る。

遺物は、須恵器坏・蓋、土師器甕、鉄製品、土錘が出土した。11・12は刀子の刃部で、それぞれ6.34g、19.74gを量り、11は床から僅かに浮いた状態で、12は覆土中位から出土した。13~16は、断面が円形・台形・四角の棒状鉄器で、それぞれ7.63g、8.91g、20.81g、10.06gを量る。17は鎌の刃部で104.2gを量り、14・15・17は床から、16は床から若干浮いた状態で出土した。

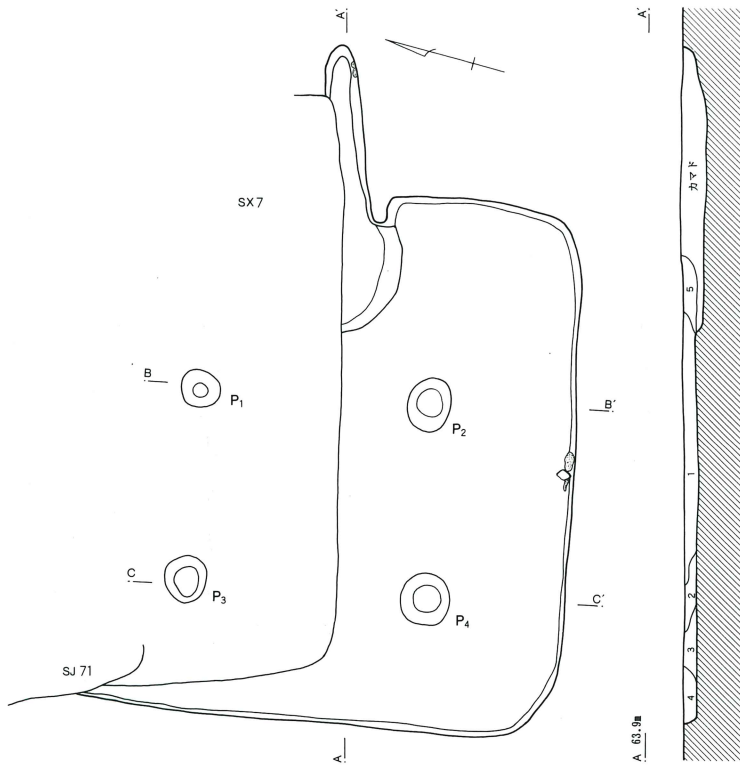
第70号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.70)	(1.27)	0.50	(1.70)		にぶい橙		
2	(2.39)	(0.99)	0.40	(1.77)	B a	浅黄橙	30	カマド
3	(2.99)	1.32	(0.54)	(2.46)		橙		B区
4	(3.24)	1.63	0.46	(7.05)	B a	淡黄		
5	7.97	1.74	0.48	(19.94)		浅黄橙	95	

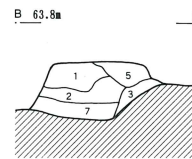
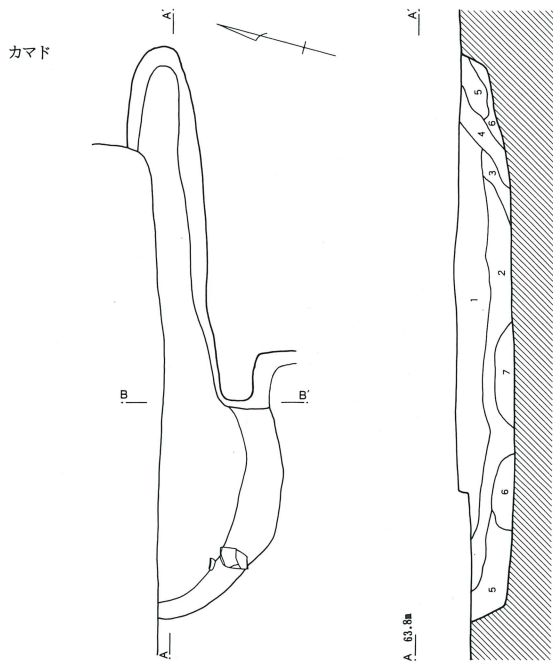
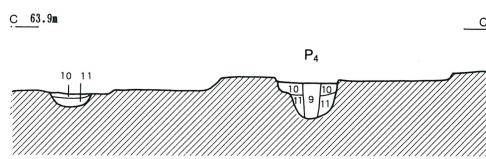
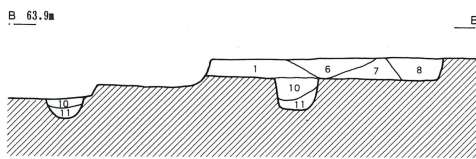
第71号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.57)	1.30	0.50	(3.56)	B a	橙	30	D区
2	(2.56)	1.41	0.46	(2.70)	B a	にぶい黄橙	30	A区
3	(2.58)	1.17	0.50	(3.52)	B b	褐灰	30	C区
4	(3.02)	1.03	0.37	(3.06)	B a	にぶい黄橙	60	C区
5	(2.44)	(2.00)	0.48	(5.67)	B a	淡黄		D区
6	(3.30)	1.45	0.48	(4.61)	B a	褐灰	40	C区
7	(4.72)	1.56	0.51	(8.71)	B a	淡黄	60	D区
8	4.96	1.85	0.70	(13.57)	B a	橙	80	D区
9	5.41	1.20	0.40	8.30	A a V	にぶい橙	100	C区

第104図 第70号住居跡・カマド



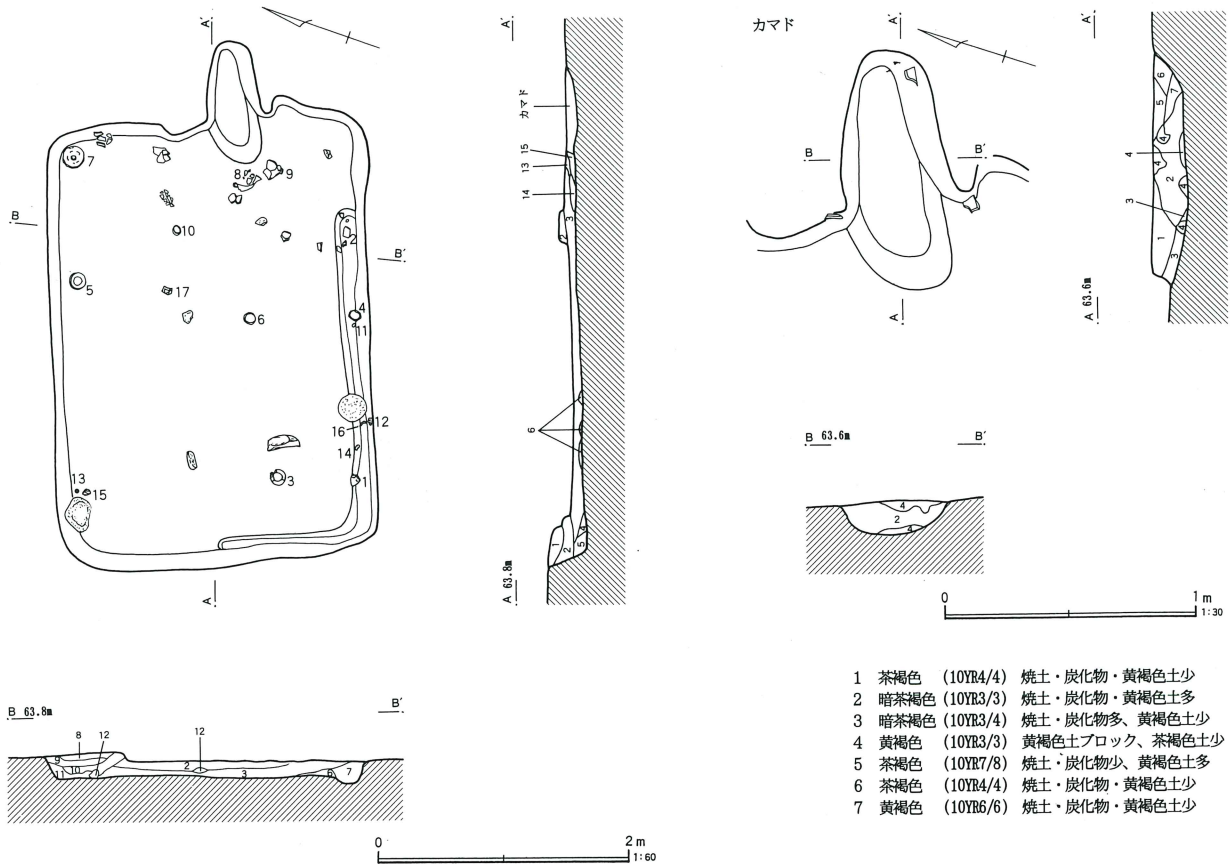
- 1 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物少
- 2 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 茶褐色 (10YR4/4) 黄褐色土少
- 4 暗茶褐色 (10YR3/4) 黄褐色土少
- 5 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物多、灰褐色土少
- 6 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 7 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 8 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 9 黒褐色 (10YR3/2) 炭化物多、粘性ややあり
- 10 暗褐色 (10YR3/4) 地山粒・地山ブロック多、やや砂質
- 11 褐色 (10YR4/4) 地山ブロック多、やや砂質



- 1 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、炭化物粒若干、白色微粒子多
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト質、焼土多、炭化物若干
- 3 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、白色微粒子多
- 4 にぶい黄褐色(10YR4/3) 明黄褐色シルト多
- 5 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物粒子多
- 6 明黄褐色 (10YR6/6) 炭化物粒微
- 7 褐色 (10YR4/3) シルト質



第105図 第71号住居跡・カマド



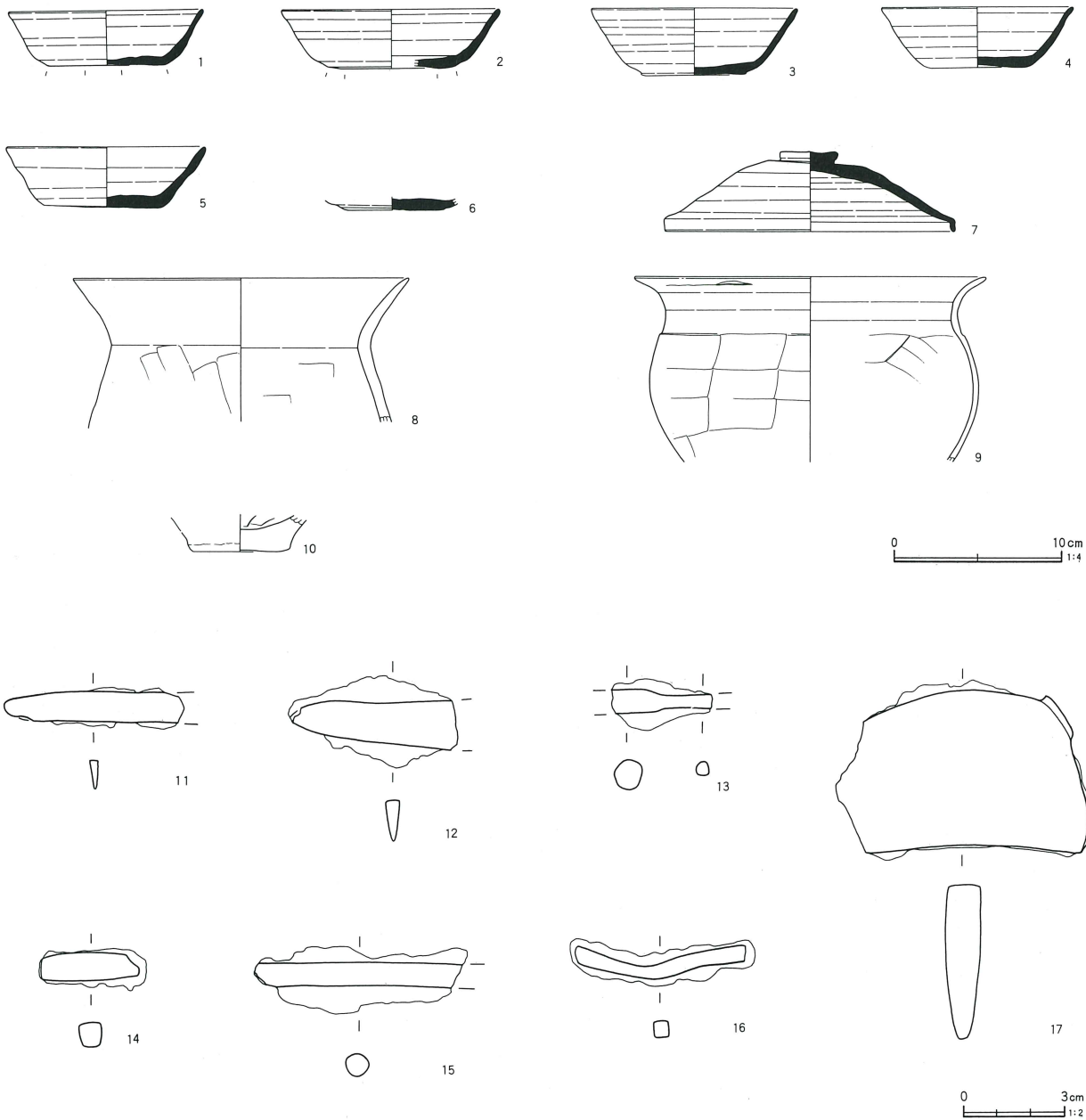
- 1 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 2 暗茶褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物・黄褐色土多
- 3 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 4 黄褐色 (10YR3/3) 黄褐色土ブロック、茶褐色土少
- 5 茶褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物少、黄褐色土多
- 6 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 7 黄褐色 (10YR6/6) 焼土・炭化物・黄褐色土少

- 1 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少、砂質
- 2 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少
- 4 褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物・暗褐色土少
- 5 茶褐色 (10YR4/6) 黄褐色土多
- 6 黄褐色 (10YR7/8) 焼土・炭化物多、茶褐色土少
- 7 茶褐色 (10YR4/6) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 8 暗茶褐色 (10YR3/4) 黄褐色土少
- 9 茶褐色 (10YR4/4) 黄褐色土少
- 10 暗茶褐色 (10YR4/3) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 11 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土多
- 12 黄褐色ブロック(10YR6/8) 黄褐色土少
- 13 暗茶褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 14 茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 15 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物多、黄褐色土少

第71号住居跡出土遺物観察表 (第106図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.6	3.3	7.0	F J	不良	黄灰	30	Na22	床 底部右回転ヘラ削り
2	坏	(13.0)	3.5	(7.6)	F L	普通	黄灰	30	Na18・B区	床 底部周辺左回転ヘラ削り
3	坏	12.3	4.0	6.2	B I	良	灰	95	Na23	床 底部右回転糸切り
4	坏	(11.4)	3.6	(6.4)	A B J	普通	灰	40	Na21	床 底部右回転糸切り
5	坏	11.9	3.7	7.2	A F J	不良	黄灰	95	Na9	床+4cm 底部調整不明
6	坏			6.2	B F H	普通	黄灰	100	Na10	床 底部糸切り後周辺手持ちヘラ削り
7	蓋	17.2	4.8		F H J L	不良	浅黄	95	Na8	床 つまみ直径3.5cm
8	甕	(20.0)			B J L	普通	橙	10	Na12	床
9	甕	(21.0)			D	不良	にぶい橙	40	Na13	床+5cm 器壁荒れ
10	甕			6.0	E J	普通	橙	100	Na6	床+3cm

第106図 第71号住居跡出土遺物



第72号住居跡 (第107・108図)

L-7グリッドに位置し、他の住居跡の密集部からは北に離れ重複などは無い。平面は、軸長4.50m×3.00mのやや歪んだ長方形で、深さ7cm程を測る。主軸方位は、N-68.5°-Eを指す。

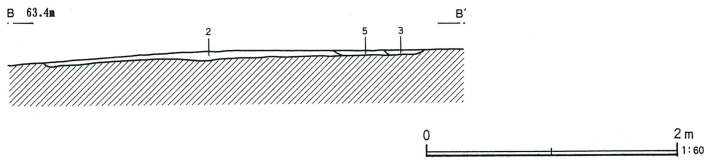
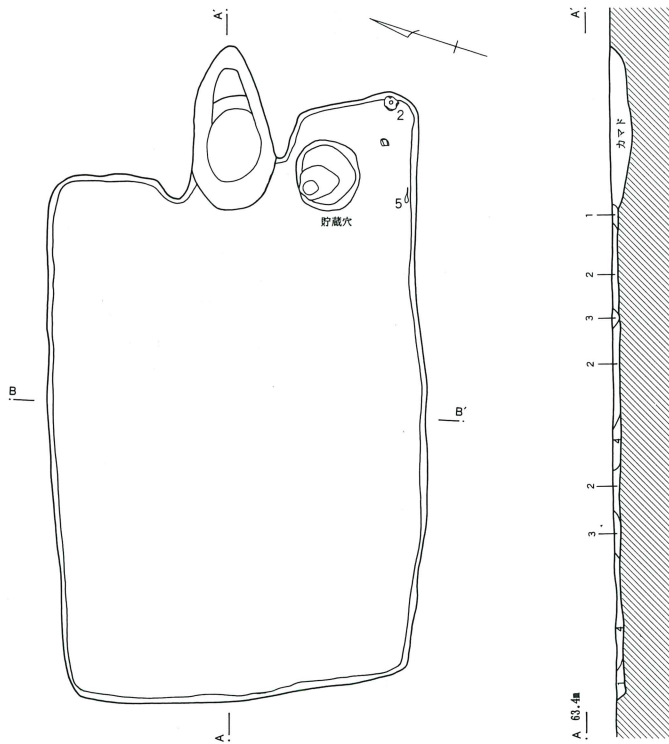
カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は130cm×65cmの楕円形で、床面から深さ16cmの窪み状を呈す

る。

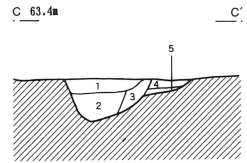
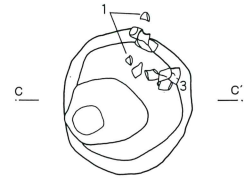
貯蔵穴は、南東部に備わる。上面は径50cm×57cmの円形で、底面は一部が深くなり、深さ17cmを測る。

遺物は、須恵器坏・高台付椀・皿・甕のほか、鉄製品が出土した。鉄製品は小刀で、茎と刃部一部で、30.84gを量る。貯蔵穴の南、南壁際の床から出土した。

第107図 第72号住居跡・カマド



貯蔵穴

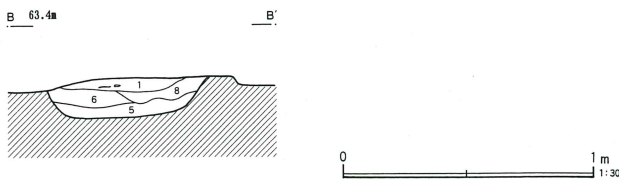
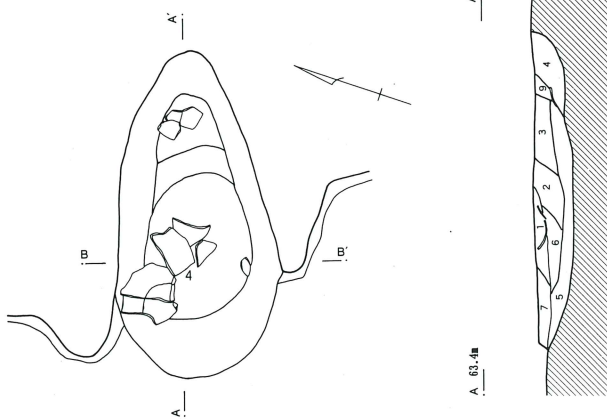


- 1 明黄褐色 (10YR6/6) シルト質、白色微粒子
- 2 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物粒、砂質
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 締まりなし
- 4 明黄褐色 (10YR6/6) 砂質
- 5 褐色 (10YR4/6) 砂質



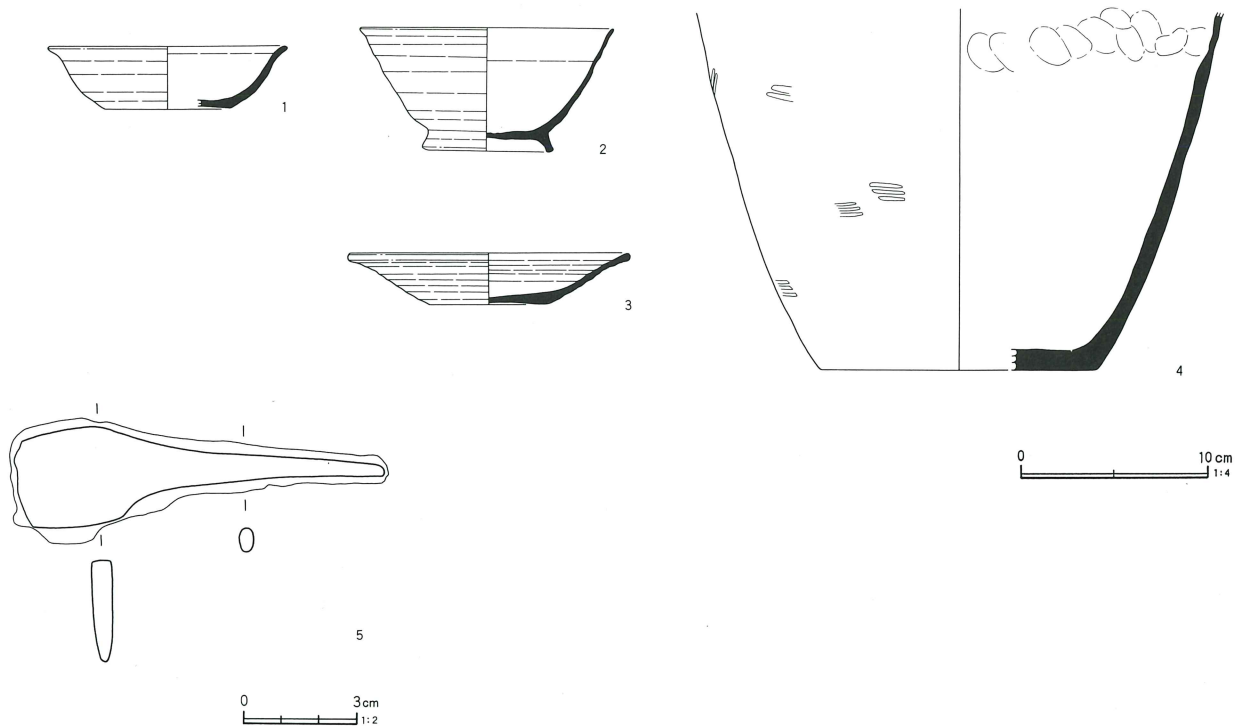
- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土少
- 2 明黄褐色 (10YR7/6) シルト質
- 3 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒微
- 4 におい黄褐色(10YR5/4) 締まり強し
- 5 褐色 (10YR4/4)

カマド



- 1 明黄褐色 (10YR7/6) シルト質、灰白色微粒子
- 2 暗褐色 (10YR3/4) シルト質、焼土・明黄褐色シルト
- 3 褐色 (10YR4/6) 焼土多
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干
- 5 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、焼土若干
- 6 炭灰層
- 7 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干、締まり極強い
- 8 炭灰層 焼土塊、明黄褐色土
- 9 明黄褐色 (10YR6/6)

第108図 第72号住居跡出土遺物



第72号住居跡出土遺物観察表 (第108図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.8)	3.3	(6.6)	F I J	良	灰	25	Na12・Na16	貯蔵穴 底部回転糸切り
2	高台付椀	(13.5)	6.6	6.9	B J	良	灰	60	Na7	床 高台貼付痕明瞭
3	皿	(15.0)	2.3	(6.4)	B J L	良	にぶい橙	20	Na9	貯蔵穴 底部回転糸切り 外面酸化焰焼成
4	甕			(14.6)	B L	良	灰	40	Na1 ~ Na3	カマド 外面平行叩き後ナデ消し

第73号住居跡 (第109図)

N-7・8グリッドに位置する。北部が第16号・第30号住居跡に、東部が第36号住居跡に切られる。平面は、軸長6.82m×4.31mの歪んだ長方形と捉えられ、深さ14cm程を測る。主軸方位はN-100.5°-Wを指

す。

カマドは、西壁に設けられているが北側が第16号住居跡により切られている。燃焼部83cm×30cmで楕円形を呈する。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

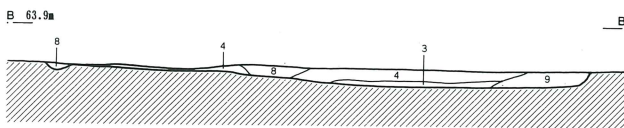
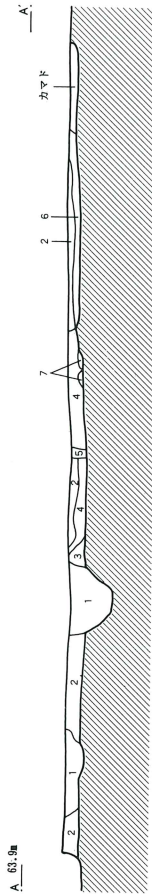
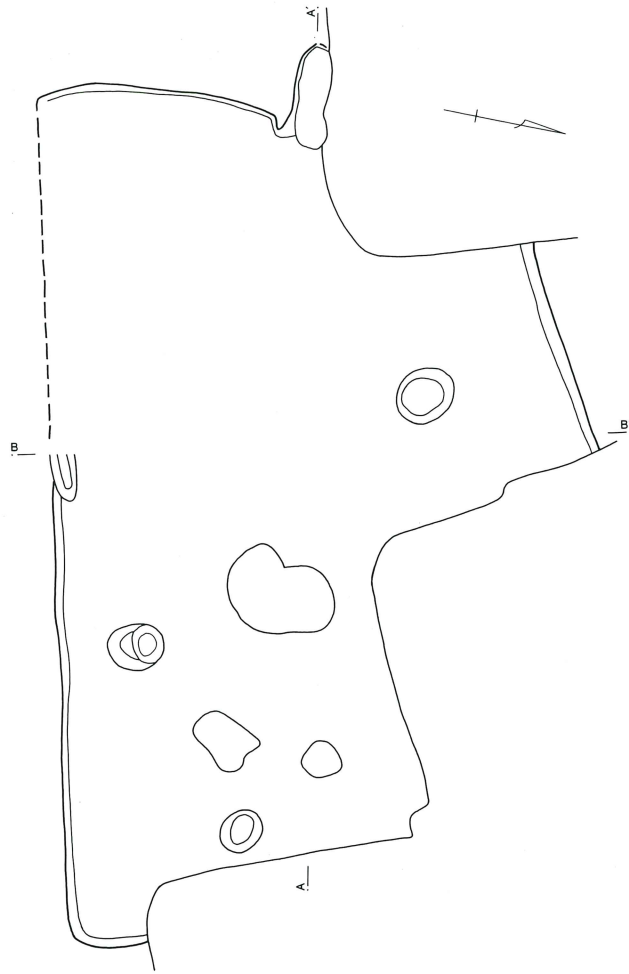
第73号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.45)	1.47	(0.51)	(2.87)	B	淡黄		B区
2	(3.96)	1.51	0.58	(6.04)	B b	褐灰	40	D区
3	(5.48)	1.62	0.53	(11.69)	B b	淡黄	95	C区
4	(6.40)	1.97	0.58	(21.92)	B b	淡黄	70	D区

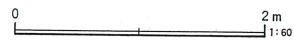
第73号住居跡出土遺物観察表 (第109図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.2)			B G	普通	褐灰	20	B区	

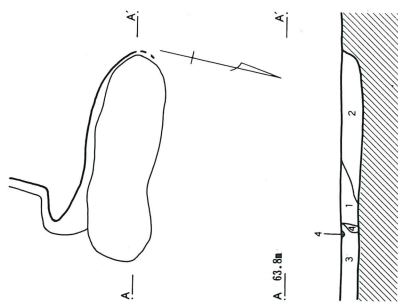
第109図 第73号住居跡



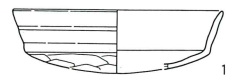
- 1 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト多
- 2 にふい黄褐色シルト(10YR5/6) 炭化物・橙色土粒
- 3 明黄褐色 (10YR6/8) 砂質
- 4 明黄褐色シルト(10YR6/8)
- 5 にふい黄褐色シルト(10YR5/4) 白色微粒子
- 6 にふい黄褐色シルト(10YR6/4)
- 7 明黄褐色シルト(10YR6/6)
- 8 明黄褐色シルト(10YR5/4) 炭化物粒子
- 9 暗褐色シルト (10YR3/4) 白色粒子・炭化物



カマド



- 1 褐色 (10YR4/6) 焼土多
- 2 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒・白色微粒少
- 3 にふい黄褐色シルト(10YR6/4)
- 4 焼土



第74号住居跡 (第110図)

O-8グリッドに位置する。西側が第18号住居跡に切られ、第55号住居跡のカマドにも切られている。平面は、軸長4.00m×5.02mの長方形で、深さ30cm程を測る。主軸方位は、N-40°-Eを指す。

カマドは、北東壁の北西よりに設けられている。燃烧部は南西部が切られており、58cm×38cmの長方形を

呈し、深さ23cmを測る。また、支脚の石が遺存していた。煙道部は燃烧部と段差を有し20cm程確認できた。

遺物は、土師器甕、白玉、土錘が出土した。白玉は、径6.0mm、厚さ3.0mm、孔径1.9mm、重さ0.17gで、覆土中からの出土である。

第74号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.58)	1.32	0.36	(2.93)	B b	黄灰		

第74号住居跡出土遺物観察表 (第110図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(14.6)			J L	普通	にぶい褐	25	Na4 ~ Na6	床 外面ヘラ削り 内面ヘラ及び指ナデ

第75号住居跡 (第111・112図)

L-11グリッドに位置する。第64号住居跡の下にあり、第76号・第89号住居跡を切り、第92号・第94号住居跡の上に乗る。平面は、軸長5.96m×5.59mの方形で、深さ19cm程を測る。壁溝は幅13~25cm、深さ1~7cmである。主軸方位は、N-29°-Wを指す。

カマドは、北壁に設けられている。燃烧部は177cm×60cmの楕円形で、床面からの深さ18cmを測る。

柱穴は4本の主柱穴が検出された。径65~82cmの円形で、深さ50~80cmを測り、ピット2・3・4は柱痕が確認された。

貯蔵穴は北隅に備わる。軸長123cm×70cmの隅丸長方形で、深さ40cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕、須恵器蓋、白玉、土玉、土錘が出土した。13の白玉は半分ほど欠損しており、径6.0mm、厚さ4.0mm、重さ0.11g。14は土玉で、径11.2~11.9mm、高さ10.0mm、孔径2.8~3.0mm、重さ1.41gである。13・14ともに床からの出土である。

第76号住居跡 (第111・112図)

L-11グリッドに位置する。ほとんどが第75号住居跡に切られている。平面は不明で、深さ14cm程を測る。

カマド等の施設は確認できなかった。

遺物は、土師器坏が出土した。

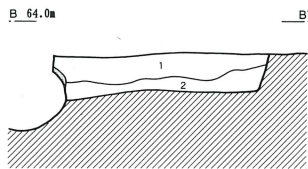
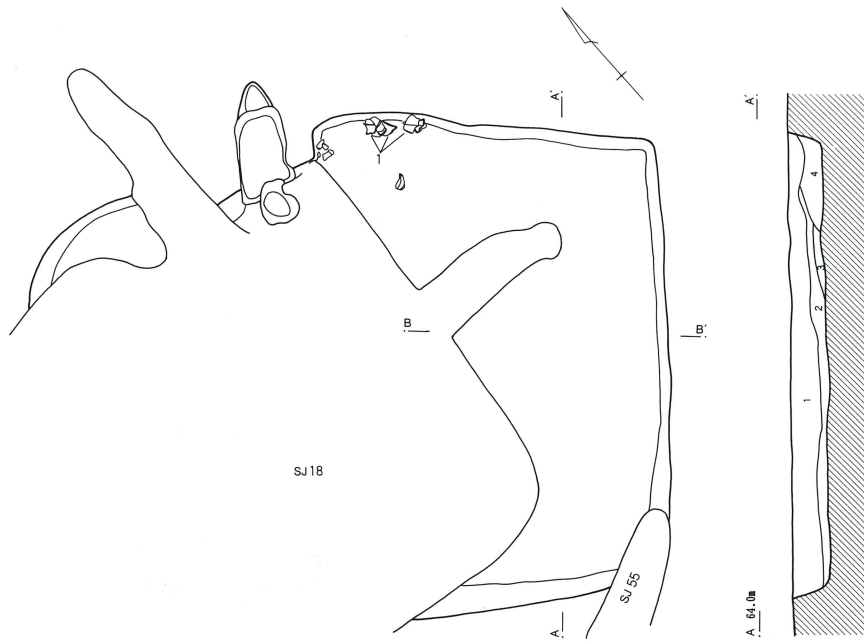
第77号住居跡 (第113図)

O-9グリッドに位置しカマドのみの確認である。カマドの主軸方位は、N-70°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられていたと考えられる。燃烧部は147cm×53cmの楕円形で、床面から深さ13cmを測る。燃烧部中央の両壁に扁平な河原石が補強材として使用されていた。煙道部は、燃烧部と段差を有し、46cm程確認できた。

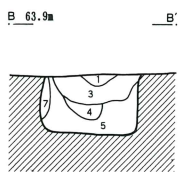
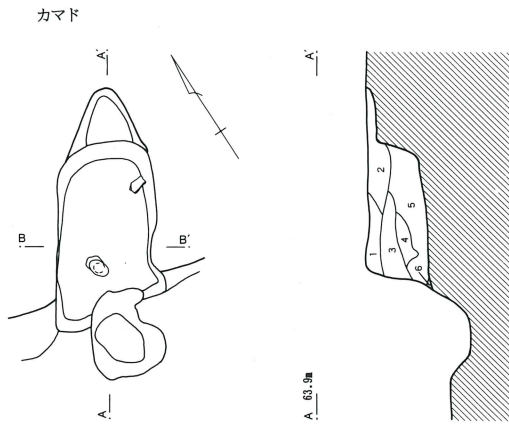
遺物は、須恵器坏、土師器甕、土錘がカマドから出土した。

第110図 第74号住居跡



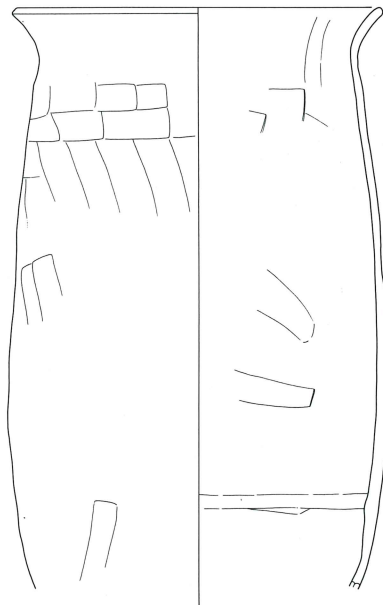
- 1 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、白色微粒多、焼土粒少
- 2 にふい黄褐色 (10YR5/4) シルト質
- 3 にふい黄褐色 (10YR6/3) シルト質
- 4 黄褐色 (10YR5/6) 白色微粒・炭化物

0 2m
1:60

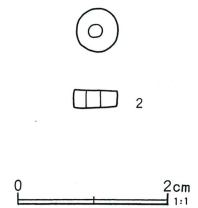


- 1 にふい黄褐色(10YR6/4) シルト質
- 2 褐色 (10YR4/6)
- 3 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色シルト多
- 4 にふい黄褐色(10YR4/3)
- 5 黒褐色 (10YR4/3) 焼土・炭灰多
- 6 焼土層
- 7 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色シルト多、焼土

0 1m
1:30

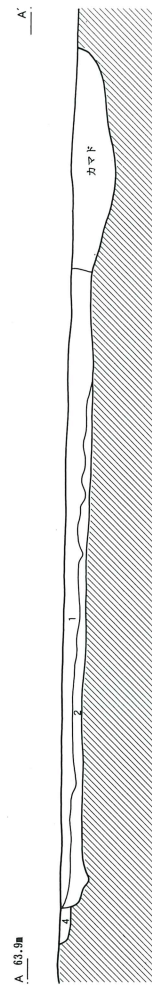
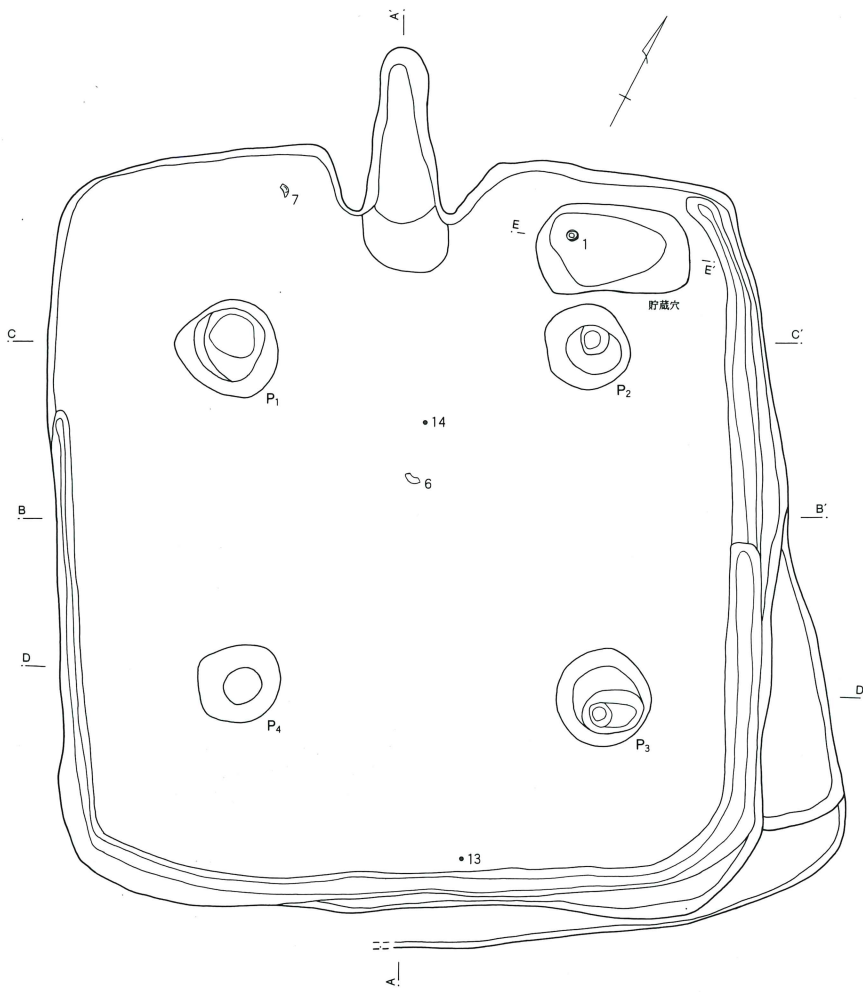


0 10cm
1:4

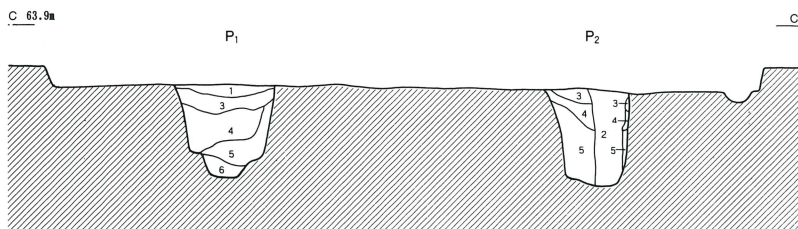
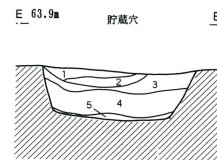
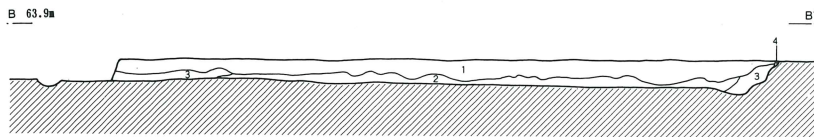


0 2cm
1:1

第111図 第75・76号住居跡



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 黄褐色シルト多、焼土粒子・炭化物
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 地山ブロック・炭化物多
- 3 褐色 (10YR4/4) 地山ブロック・粒子多
- 4 褐色 (10YR4/6) 黄褐色シルト多

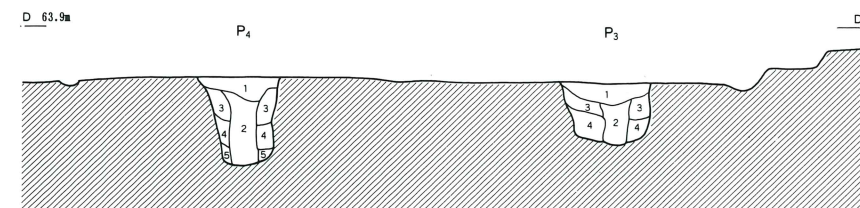


貯蔵穴

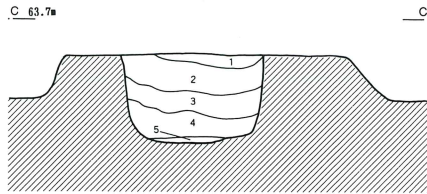
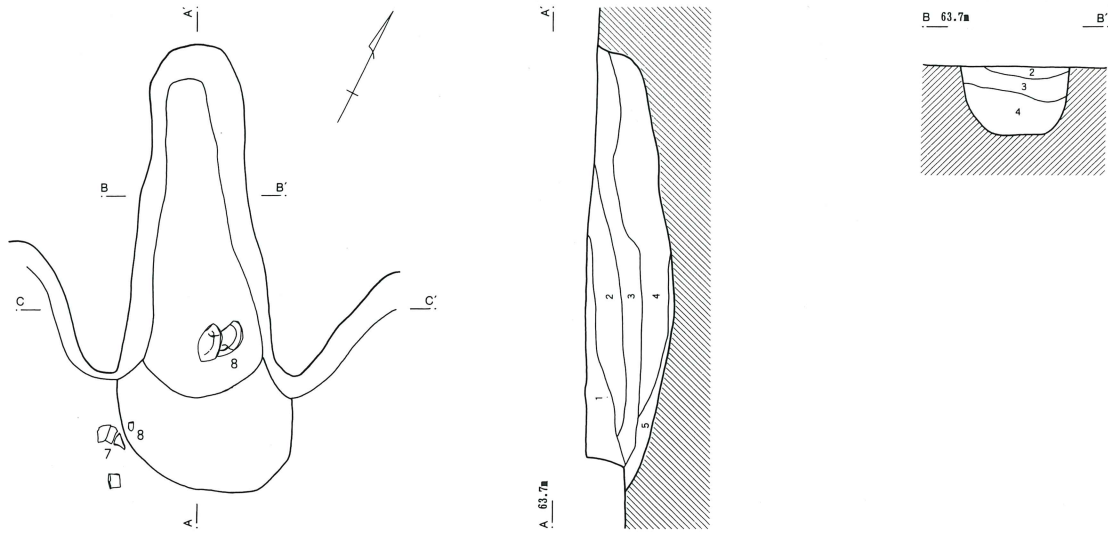
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山ブロック多、焼土粒・炭化物粒、縮まり・粘性ややあり
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・焼土粒
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山ブロック多
- 4 にぶい黄褐色(10YR4/3) 灰色粘土ブロック多、粘性あり
- 5 黒褐色 (10YR3/2) 地山ブロック多、砂質

P1~4

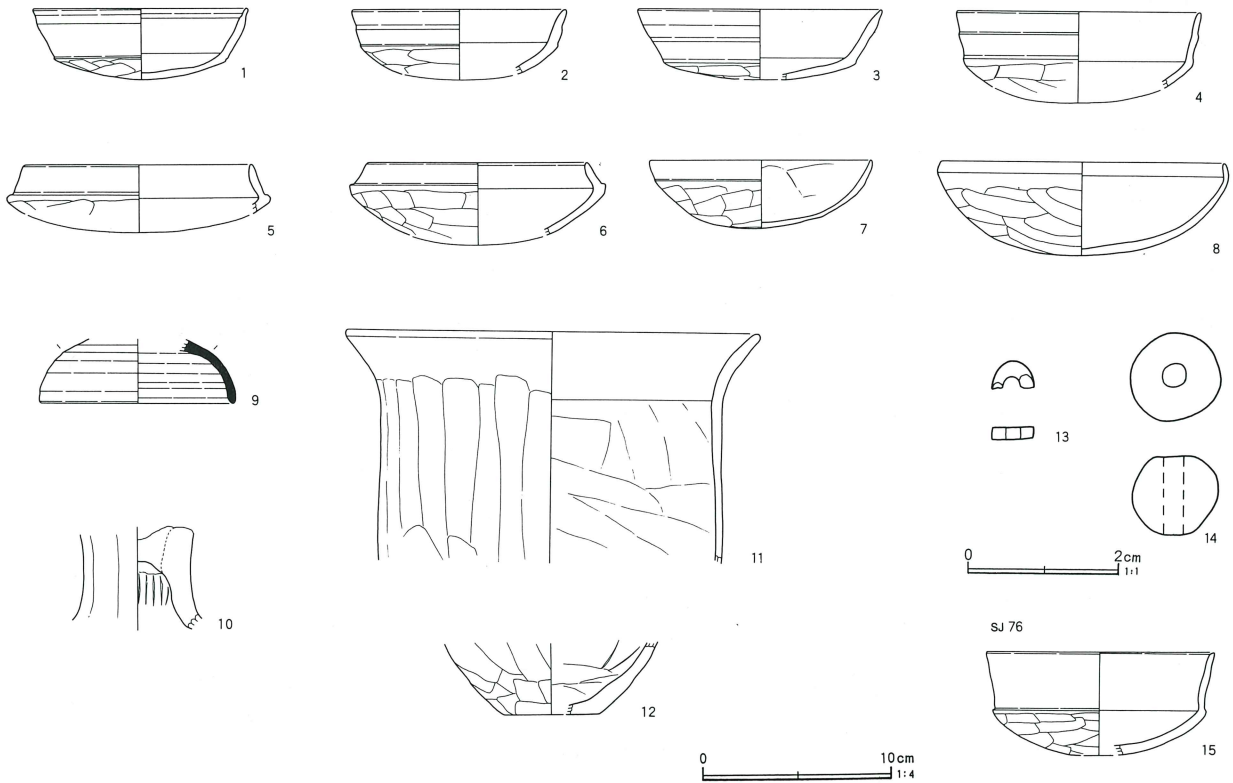
- 1 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・焼土粒、縮まりあり
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック、粘性ややあり
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 地山ブロック多、砂質
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 地山ブロック、砂質
- 5 黄褐色 (10YR5/6) 地山ブロック多、砂質
- 6 黒褐色 (10YR3/3) 地山ブロック、砂質



第112図 第75号住居跡カマド・第75・76号住居跡出土遺物



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 黄褐色シルト多、焼土粒子・炭化物
- 2 暗赤褐色 (2.5YR3/6) 焼土粒・焼土ブロック多
- 3 赤褐色 (2.5YR4/8) 焼土多、炭・灰・砂質
- 4 暗赤褐色 (2.5YR3/4) 焼土粒、砂質
- 5 黒色 (10YR2/1) 炭・灰多



第75号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.60)	(1.51)	(0.38)	(1.80)		灰白		C区
2	(2.13)	(1.84)	0.54	(3.91)		黄灰		C区
3	(2.66)	(1.27)	(0.42)	(2.72)	B a	にぶい黄橙		C区
4	(2.92)	1.16	(0.47)	(2.19)		にぶい黄橙		A区
5	(2.85)	1.30	(0.52)	(3.16)	B a	浅黄橙	20	C区
6	(3.80)	(1.56)	(0.34)	(5.07)		橙		A区
7	(4.15)	(1.41)	(0.44)	(3.48)		にぶい黄橙		C区
8	(4.39)	1.82	0.57	(8.77)	B a	淡黄		A区
9	(3.22)	1.29	0.50	(2.99)	B a	褐灰	30	B区
10	(2.53)	1.52	0.58	(4.70)	A a	にぶい黄橙		A区
11	(2.98)	1.30	0.45	(3.68)	B a	浅黄橙	40	A区
12	(3.01)	(1.37)	0.50	(4.06)	B a	にぶい橙	30	A区
13	(2.82)	1.51	0.57	(5.50)	B a	にぶい褐	30	B区
14	(3.08)	1.46	0.51	(4.89)	B a	褐灰	30	A区
15	(3.19)	1.57	0.50	(5.60)	B a	浅黄橙	30	カマド
16	(2.95)	1.59	0.48	(6.22)	B a	灰白	30	C区
17	(3.30)	1.50	0.55	(6.34)	B a	灰黄褐	60	A区
18	(3.98)	1.60	0.50	(7.46)	B a	褐灰	60	C区
19	(4.35)	1.20	0.75	(4.92)	A a	淡黄		C区
20	(4.58)	1.64	0.60	(10.12)	B a	にぶい黄橙	60	A区
21	(4.68)	1.64	0.55	(10.31)	B a	にぶい黄橙	60	A区
22	5.52	1.36	0.43	9.52	B a IV	灰黄褐	100	C区
23	(5.17)	1.79	0.70	(12.10)	B' a	淡黄	80	D区
24	(5.77)	1.60	0.45	(12.26)	B a	淡黄	70	A区
25	5.18	2.08	0.55	18.52	C a V	にぶい黄橙	100	貯蔵穴
26	(5.32)	2.26	0.77	(17.11)	B a	にぶい橙	60	D区
27	(5.40)	2.14	0.58	(14.93)	B a	橙	70	B区
28	(6.23)	2.10	0.52	(18.42)	B a	にぶい黄橙	80	A区
29	(7.61)	2.04	0.72	(32.40)	A a	浅黄橙	90	P 4

第75・76号住居跡出土遺物観察表 (第112図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.4	3.8		B D	普通	褐灰	95	No6	貯蔵穴
2	坏	(11.4)			E F	不良	にぶい橙	40		C区
3	坏	(13.0)	3.7		B E F	不良	にぶい橙	15		A区
4	坏	(13.0)			D	不良	灰黄褐	15		D区
5	坏	(12.0)			D	普通	橙	15		D区
6	坏	(11.6)			D E	普通	にぶい褐	30	No8	床
7	坏	11.7	3.7		E J	不良	橙	95	No2・5・B区	カマド
8	坏	15.0	5.0		D H	不良	橙	95	No1・3・5	カマド
9	蓋	(10.2)			B	良	灰	30		B区
10	高坏				B J	不良	にぶい橙	40		D区
11	甕	(22.0)			B G	普通	にぶい褐	15	貯蔵穴	貯蔵穴
12	甕			(5.0)	D G	普通	灰黄褐	55	貯蔵穴	貯蔵穴
15	坏	(12.0)	5.5		B F G	普通	橙	15	SJ76	SJ 76

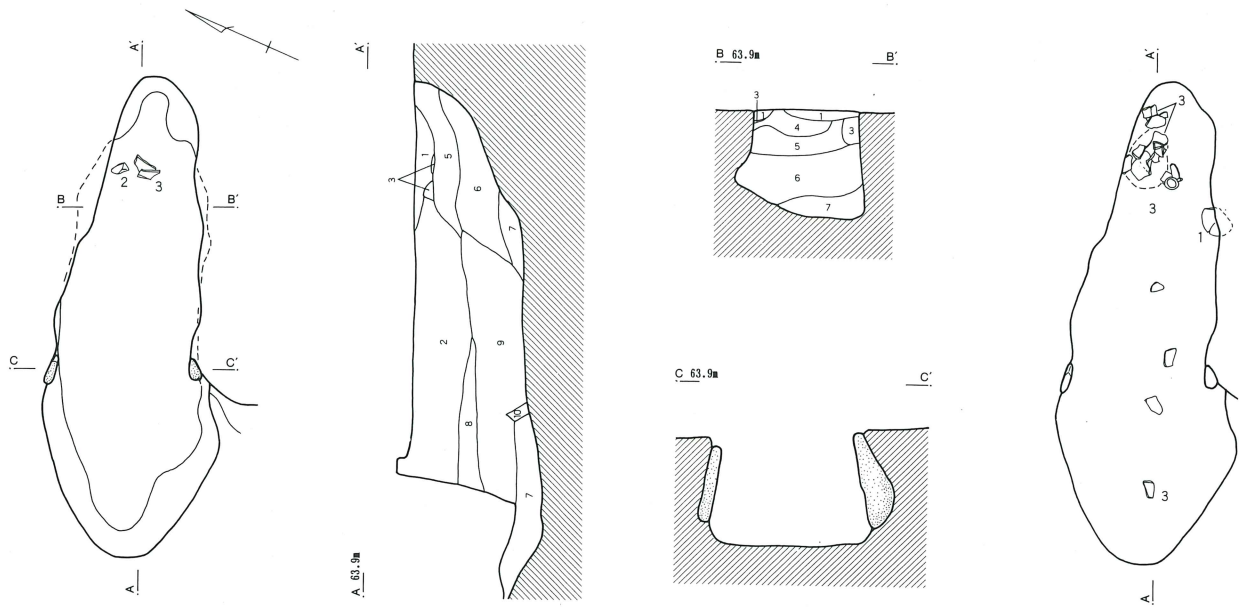
第77号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.17)	1.25	0.50	(2.30)	B a	黄灰	20	カマド
2	(3.16)	2.09	0.76	(10.92)	E a	橙		C区
3	3.51	1.86	0.53	11.42	B b VI	にぶい黄橙	100	C区
4	(4.03)	2.02	0.47	(16.43)	B a	にぶい黄橙	60	カマド
5	6.07	1.71	0.49	17.81	B a IV	にぶい橙	100	カマド
6	6.11	2.14	0.46	21.97	C a IV	にぶい橙	100	カマド
7	6.65	1.86	0.48	17.73	B a III	褐灰	100	C区
8	(6.80)	2.10	0.50	(26.02)	B a	にぶい黄橙	90	カマド

第77号住居跡出土遺物観察表 (第113図)

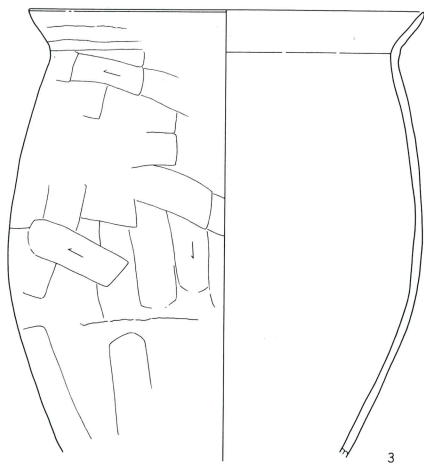
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.2	3.2	6.0	B F J	良	黄灰	70	No17	カマド 底部右回転系切り
2	坏	13.2	4.0	5.8	F J	普通	灰	85	No26・SJ78	カマド 右回転系切り 底部内面回
3	甕	(21.0)			J	普通	にぶい橙	40	B区・P 3 No1・3・5・8・12 14・21・23・24	転へら整形 内面横ナデ

第113図 第77号住居跡カマド・出土遺物



- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 暗褐色 (10YR3/3) | 6 暗褐色 (10YR3/4) |
| 2 褐色 (7.5YR4/3) シルト質、焼土少 | 7 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色土多 |
| 3 焼土層 | 8 褐色 (7.5YR4/3) シルト質 |
| 4 褐色 (7.5YR4/3) 焼土極多 | 9 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化材 |
| 5 褐色 (7.5YR4/3) 焼土少 | 10 明黄褐色 (10YR6/6) |

0 1m
1:30



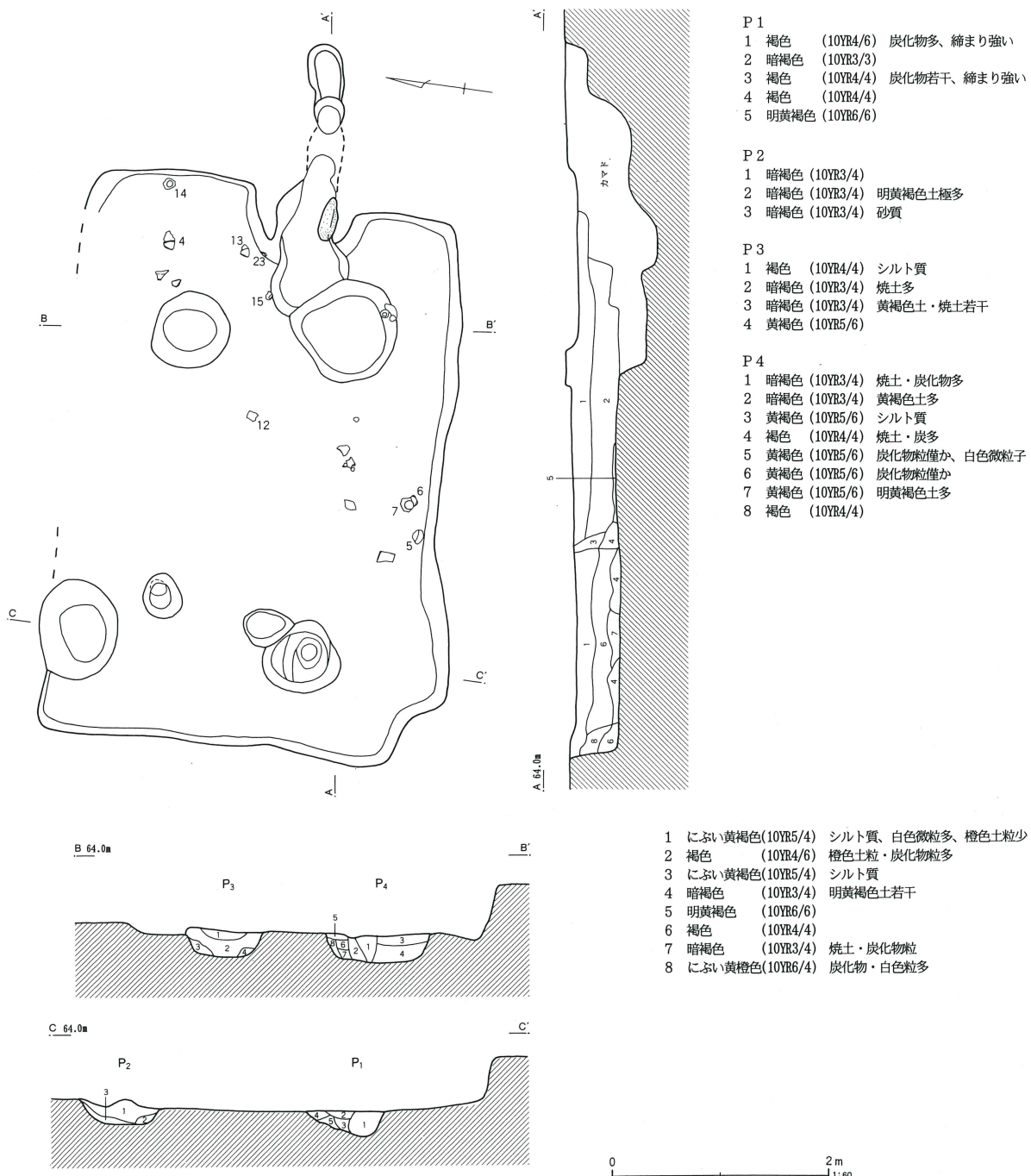
0 10 cm
1:4

第78号住居跡 (第114・115・116図)

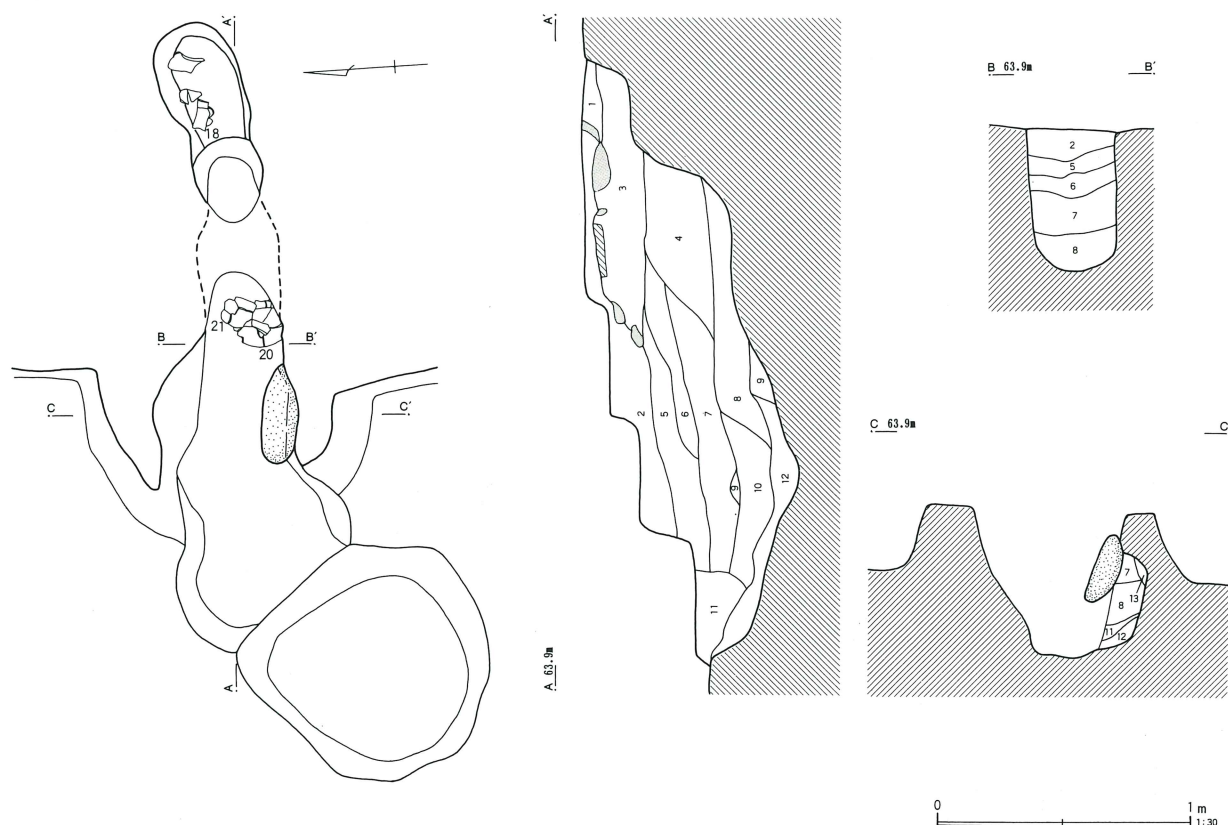
0-9グリッドに位置する。第45号・第79号住居跡を切っている。平面は、軸長5.15m×3.56mの長方形で、深さ40cm程を測る。主軸方位は、N-80°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃烧部は195cm×57cmで中央がやや窪んで、床面から深さ35cmを測る。煙道部は燃烧部と段差を有し、48cm確認できた。燃烧部の一部には天井が遺存していた。右袖部に補強の石が見られたが原位置を留めていない

第114図 第78号住居跡



第115図 第78号住居跡カマド



- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1 におい黄褐色(10YR5/6) シルト質、明黄褐色シルト含 | 8 暗褐色 (10YR3/3) 焼土極多 |
| 2 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭化物微 | 9 明黄褐色 (10YR6/6) |
| 3 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干、明黄褐色土少、締まり強し | 10 褐色 (10YR4/4) 焼土若干 |
| 4 褐色 (10YR4/6) | 11 黒褐色 (10YR2/2) 炭化物粒多、焼土若干 |
| 5 褐色 (10YR4/6) 焼土若干 | 12 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色土 |
| 6 褐色 (10YR4/6) 焼土多 | |
| 7 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物僅か | 被熱範囲 |

ものとみられる。

柱穴は明らかに主柱穴と見られるものは、検出されなかった。

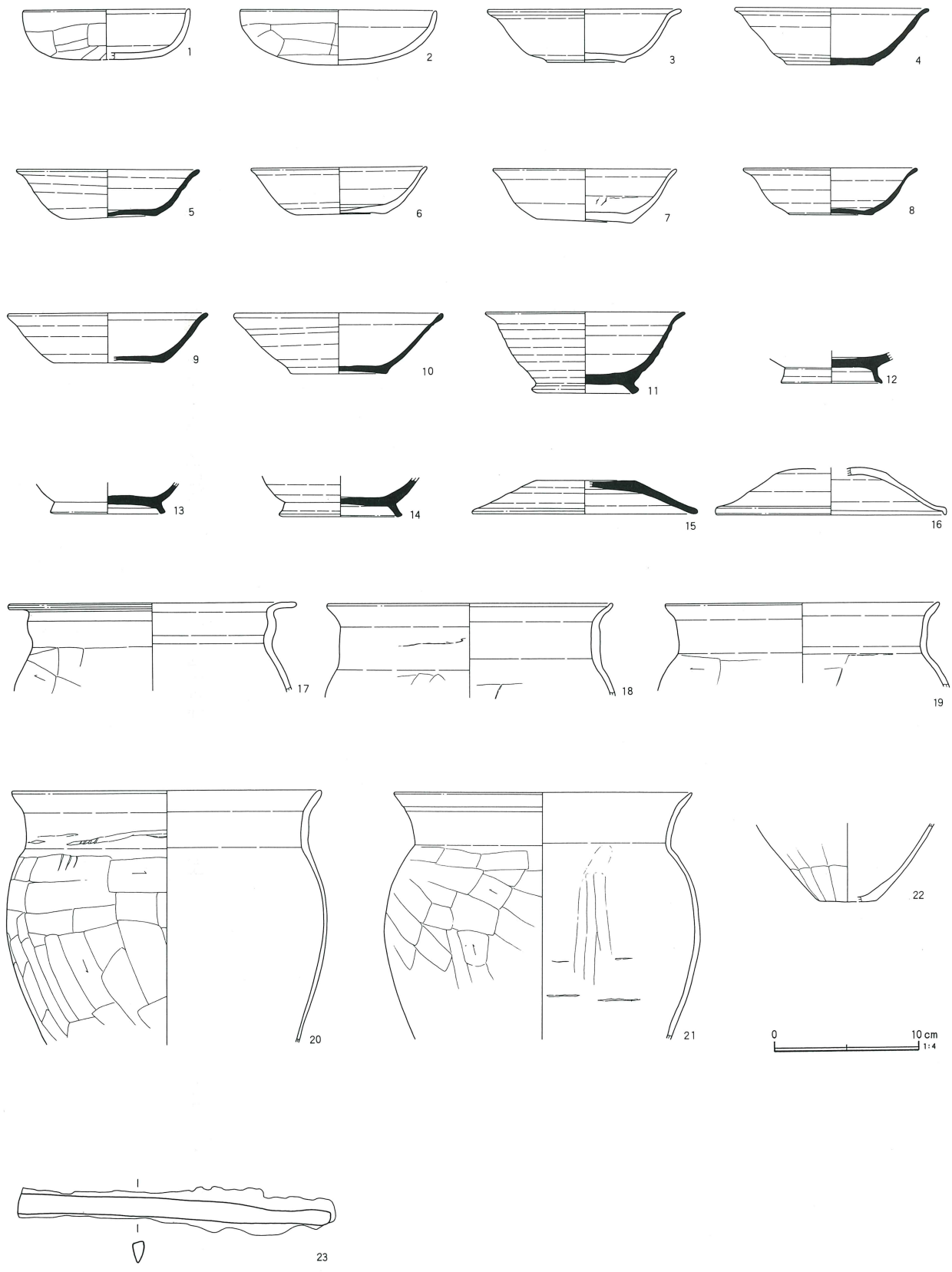
遺物は、土師器坏・甕、須恵器坏・高台付椀・蓋、

鉄製品、土錘が出土した。鉄製品は刀子の刃部先端が欠損しているが、重さは17.19gで、床から若干浮いた状態で出土した。

第78号住居跡出土土錘観察表(1)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	1.76	1.41	0.52	(2.28)	B	黒褐	20	C区
2	(2.23)	1.52	0.39	(3.97)	B a	浅黄橙	20	B区
3	(2.59)	1.62	0.35	(4.20)	B	明赤褐	30	C区
4	(3.33)	1.43	0.47	(4.09)	B	橙	20	SJ45 D区
5	(2.85)	1.58	0.38	(5.25)	B b	灰褐	30	SJ45 D区
6	(3.19)	1.85	0.52	(8.02)	B a	浅黄橙	30	C区
7	(3.88)	1.82	0.57	(7.93)	B a	におい黄橙	40	C区
8	(3.37)	1.60	0.47	(8.04)	B a	におい黄橙	40	C区
9	(4.35)	1.48	0.55	(8.57)	B a	におい橙	50	SJ45 D区
10	(4.28)	1.98	0.52	(10.52)	B a	におい黄橙	50	SJ45 D区
11	(4.81)	1.46	0.45	(9.47)	B a	褐灰	70	B区
12	3.75	1.65	0.55	8.80	B a VI	明赤褐	100	C区

第116图 第78号住居跡出土遺物



第78号住居跡出土土錘観察表 (2)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
13	4.00	2.00	0.38	15.92	C a VI	にぶい黄橙	100	カマド
14	5.19	1.90	0.47	17.30	B a V	橙	100	カマド
15	(5.69)	2.08	0.58	(15.67)	B a	明赤褐	90	SJ45 D区
16	(5.31)	2.28	0.50	(22.49)	B a	にぶい黄橙	80	A区
17	(5.98)	1.89	0.60	(16.42)	B a	橙	95	SJ45 D区
18	(6.89)	2.01	0.40	(22.19)	B a	灰白	95	SJ45 D区
19	5.77	2.05	0.45	(23.64)	B b IV	浅黄橙	95	SJ45 D区
20	7.13	1.92	0.55	16.53	B b	灰白	90	SJ45 D区
21	(5.55)	1.97	0.48	(19.02)	B a	灰褐	95	B区
22	5.50	1.98	0.60	18.31	B b IV	黒褐	100	C区
23	5.52	1.89	0.60	18.20	B a IV	黄灰	100	B区
24	5.24	2.28	0.53	21.77	B a V	橙	100	C区
25	5.38	2.04	0.52	18.12	B a V	橙	100	カマド
26	5.66	2.21	0.60	22.34	B a IV	浅黄橙	100	C区
27	5.72	2.16	0.60	20.71	B a IV	にぶい橙	100	C区
28	6.41	2.09	0.53	19.98	B a IV	にぶい橙	100	D区
29	(6.60)	1.75	0.54	(15.88)	B a	橙	95	C区
30	6.61	2.44	0.49	28.16	B a III	褐灰	100	C区
31	6.83	2.24	0.51	28.35	B a III	淡黄	100	C区
32	7.38	1.39	0.48	12.31	B a III	褐灰	100	SJ45 D区

第78号住居跡出土遺物観察表 (第116図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	3.5	(7.6)	A E	不良	にぶい黄橙	40		
2	坏	(13.6)	3.8		D E J	普通	橙	55	P 3・4・B区	カマド
3	坏	13.4	3.7	5.4	B I J	良	にぶい橙	45	P 3・P 4	底部右回転糸切り 口縁部のみ還元焰焼成
4	坏	(13.5)	4.0	6.0	J	良	灰オリーブ	55	Na6・Na27	床 底部右回転糸切り
5	坏	12.7	3.3	6.5	C E F H J L	普通	淡黄	100	Na 4	床 底部右回転糸切り 一部切り残し
6	坏	12.2	3.2	6.2	B H L	良	灰オリーブ	95	Na19	床+2cm 底部内外面酸化焰焼成 底部右回転糸切り
7	坏	12.8	3.6	6.5	H L	良	褐	90	Na18	床+8cm 体部内外面酸化焰焼成 底部右回転糸切り
8	坏	(12.1)	3.2	5.8	I J	良	にぶい赤褐	20	P 4	底部右回転糸切り
9	坏	(14.0)	3.5	(7.6)	J	普通	灰白	30	P 4	底部回転糸切り
10	坏	14.5	4.2	6.7	J	良	灰	70	P 4・B区	底部右回転糸切り
11	高台付椀	(13.8)	5.6	(7.3)	E F H J	良	灰	25	C・D区・ SJ78・79	ロクロ痕顕著
12	高台付椀			7.0	D F	良	灰	60	Na14	床 底部回転糸切り 高台周辺ヘラ後 ナデ
13	高台付椀			8.0	B I	良	灰	50	Na9	床+5cm 底部右回転糸切り 高台周辺 ナデ
14	高台付椀			8.5	B L	良	灰白	100	Na5	床 底部右回転糸切り 高台周辺ナデ
15	蓋	(15.6)	2.3		J	良	黄灰	40	Na9・10・カマド ・B区	天井部右回転糸切り
16	蓋	(17.2)			A E F J	普通	にぶい橙	35	A区	天井部左回転ヘラ削り 酸化焰焼成
17	甕	(20.0)			B G	普通	にぶい赤褐	45	B区・SJ78・79	
18	甕	(19.8)			A B D E G	普通	橙	25	Na21・カマド	口縁部横ナデ
19	甕	(19.0)			B D E G	普通	にぶい橙	30	B区	カマド
20	甕	21.2			B D	普通	橙	90	Na1	カマド
21	甕	(20.5)			B D G	普通	橙	30	Na2	カマド
22	甕			4.0	G J	普通	にぶい橙	60	カマド・P 3・4	

第79号住居跡 (第117・118図)

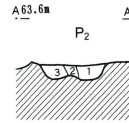
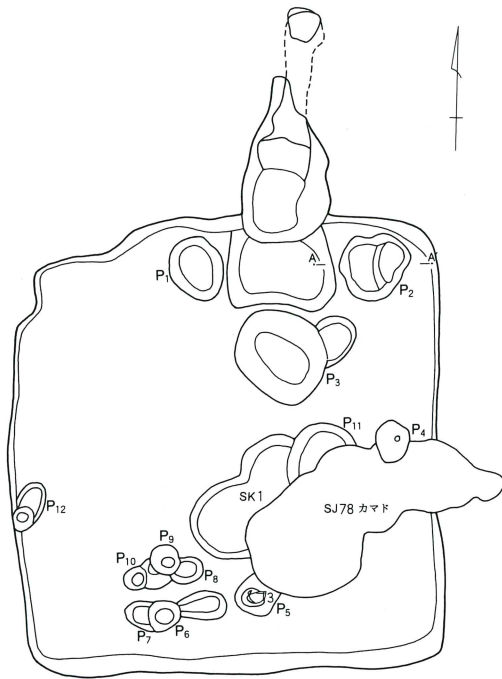
〇-9グリッドに位置する。第78号住居跡に切られ、第45号住居跡を切っている。平面は、軸長3.62m×3.40mの方形で、深さ40cm程を測る。主軸方位は、N-2°-Eを指す。

カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃

焼部は117cm×70cmの楕円形を呈し、床面からの深さ33cmを測る。煙道部はトンネル状で68cm確認できた。煙出しは、22cm×26cmの台形状を呈している。また、カマド前に土坑状の窪みが見られた。

遺物は、須恵器高台付椀・蓋、土師器甕、土錘が出土した。

第117図 第79号住居跡・カマド



SJ79

1 褐色 (10YR4/4)

P2

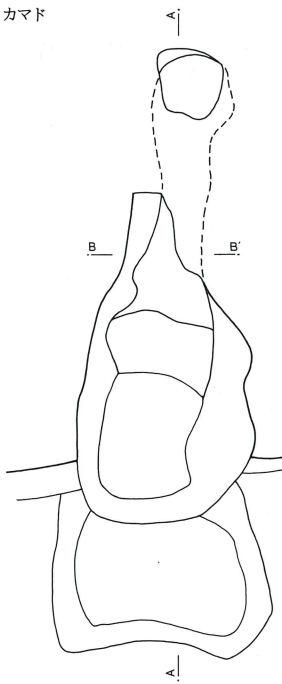
1 褐色 (10YR4/6)

2 明黄褐色 (10YR6/8)

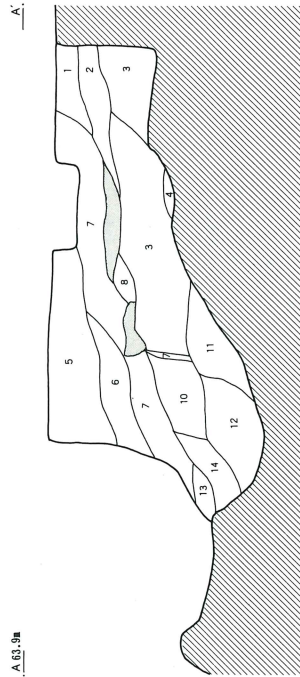
3 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物僅か



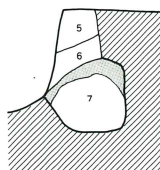
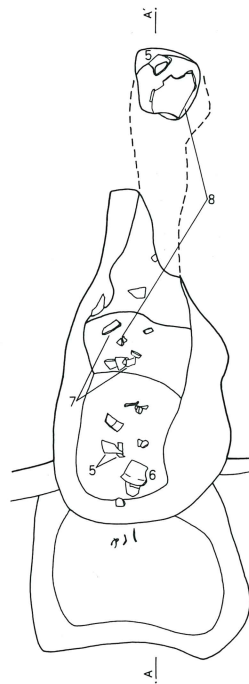
カマド



B 63.9m

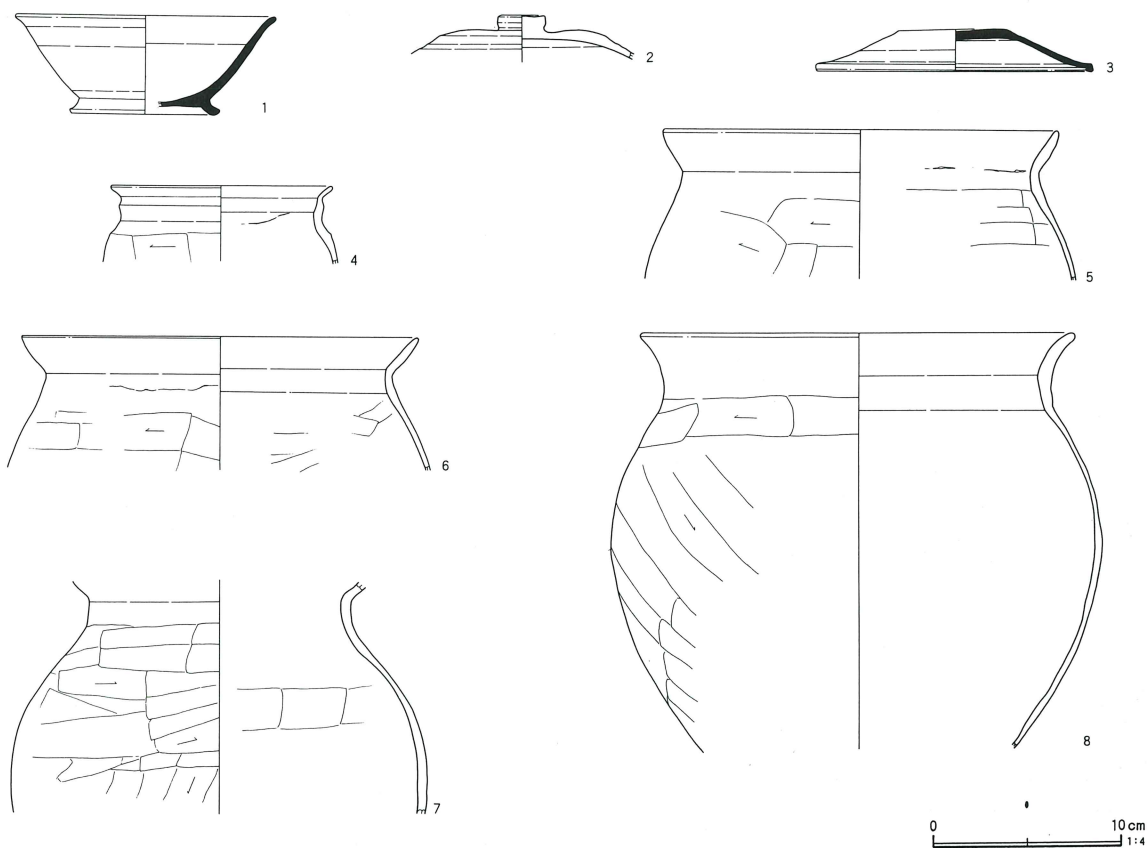


A 63.9m



- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1 黄褐色シルト(10YR5/6) | 8 褐色 (7.5YR4/3) 締まり強い |
| 2 褐色シルト (10YR4/6) 焼土若干 | 9 褐色 (7.5YR4/3) 焼土多 |
| 3 褐色 (7.5YR4/4) 焼土微、締まり強い | 10 褐色 (10YR4/6) 焼土、明黄褐色土微 |
| 4 褐色 (10YR4/4) | 11 暗褐色 (10YR3/3) 明黄褐色土多、 |
| 5 におい黄褐色シルト(10YR5/4)白色微粒子、焼土粒子微 | 12 暗褐色 (10YR3/3) 焼土・炭化物・明黄褐色土 |
| 6 黄褐色シルト(10YR5/6) | 13 褐色 (10YR4/6) 明黄褐色土極多 |
| 7 におい黄褐色シルト(10YR5/4) | 14 暗褐色 (10YR3/3) 焼土微 |

第118図 第79号住居跡出土遺物



第79号住居跡出土遺物観察表 (第118図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	高台付椀	(13.8)	5.3	(8.0)	E I J L	不良	にぶい黄橙	35	B区	P 2 つまみ径 2.5 cm、天井部右回転 削り 酸化焙焼成 ピット内 天井部左回転糸切り
2	蓋				E J L	普通	にぶい橙	40	P 2	
3	蓋	14.7	2.3		B I L	良	灰	55	No34	カマド カマド 内面横ナデ 外面ヘラ削り
4	甕	(11.8)			B E G	良	にぶい黄橙	20	A区	
5	甕	(21.0)			B G I J	普通	橙	35	No3・21・22	カマド カマド 内面横ナデ 外面ヘラ削り
6	甕	(21.0)			G I J	良	にぶい赤褐	40	No25・A区・ SJ45No22	
7	甕				I J	普通	橙	40	No6・9	カマド
8	甕	22.8			E J	普通	橙	40	No1・8・31・32	カマド

第79号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	3.15	1.10	0.37	3.29	B a VI	にぶい黄橙	100	A区
2	(3.02)	1.47	0.41	(5.17)	B b	橙	40	B区
3	(3.06)	1.37	0.48	(4.38)	B a	橙	40	B区
4	(4.28)	1.90	0.48	(12.07)	B a	浅黄橙	60	A区
5	4.44	1.73	0.56	(8.32)	A a VI	にぶい黄橙	90	A区
6	4.26	2.04	0.49	14.51	B a VI	浅黄橙	100	D区
7	4.79	2.01	0.65	(13.38)	A a V	にぶい黄橙	90	A区
8	5.05	1.89	0.48	14.97	B a V	浅黄橙	100	A区
9	4.92	1.92	0.50	16.86	B b V	橙	100	P 9
10	(4.92)	2.41	0.55	(18.91)	B a	にぶい橙	50	カマド No. 2
11	5.79	2.34	0.78	(25.16)	B' a IV	橙	90	カマド
12	6.15	2.16	0.56	26.19	B b IV	にぶい黄橙	100	P 9

第78・79号住居跡出土遺物 (第119図)

須恵器・土師器の他に、鉄製品・土製品が出土した。
19は釘で断面は四角形で重さ10.56g。20は断面楕円

形で2.61g。21は断面楕円形で重さ10.85g。22は土
製紡錘車で、長径6.78cm、短径4.75cm、高さ2.84cm、
孔径0.94cmである。いずれも覆土からの出土である。

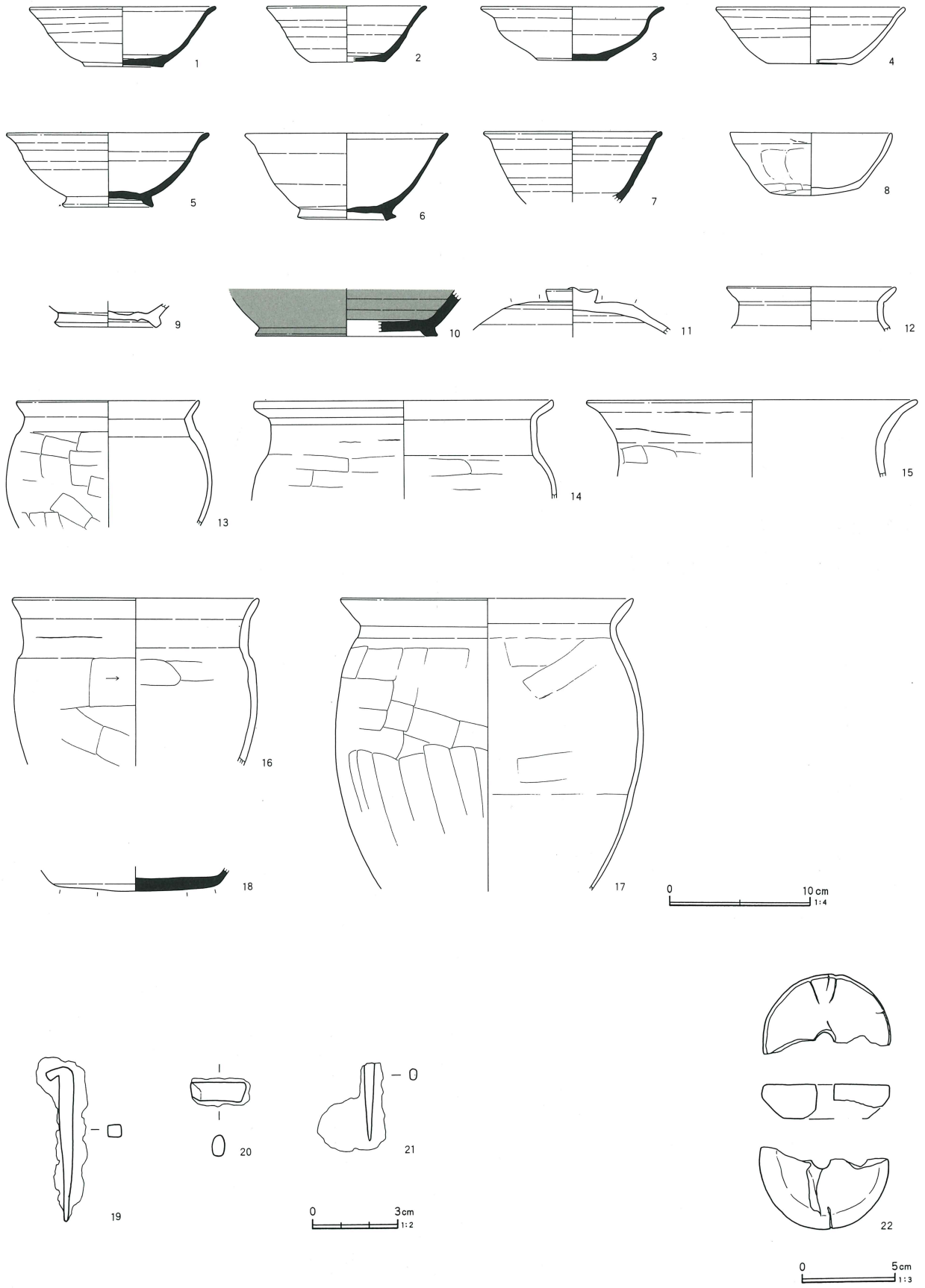
第78・79号住居跡出土遺物観察表 (第119図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.4	4.3	5.8	B L	良	灰	70	SJ45C区 SJ78C区	底部右回転糸切り、体部内面ヘラ調整痕
2	坏	(11.4)	4.0	(5.3)	F	良	灰	20	SJ45Na46・C区	底部右回転糸切り
3	坏	(13.1)	3.8	5.1	B E I J L	良	灰	55	SJ45D区	底部右回転糸切り
4	坏	13.4	4.1	6.0	B E G I J	不良	にぶい褐	95	SJ45Na35	底部回転糸切り 口唇部除き還元焰焼成
5	高台付椀	(14.4)	5.3	6.5	B I J	良	灰	20	SJ45B・C区 SJ78B区	
6	高台付椀	(14.4)	6.1	7.0	A B J L	普通	灰	35	SJ45Na44	
7	椀	(12.8)			A D I	普通	灰白	50	SJ78D区・ SJ79D区	ロクロ痕顕著
8	坏	11.5	4.5	6.3	B D E G	普通	橙	100	SJ45Na24・C区	
9	高台付甕			(13.0)	B	良	灰	30	SJ45Na38	
10	高台付椀			7.0	H	良	黒褐	100	SJ45Na45	黒色土器
11	蓋				B G J L	良	にぶい褐	40	SJ45Na48	酸化焰焼成 天井部右回転ヘラ削り
12	甕	(12.0)			B G I	良	橙	20	SJ45C区	
13	甕	(13.0)			J	普通	にぶい橙	20	SJ45Na41	
14	甕	(21.2)			B D G	普通	橙	15	SJ45C区	
15	甕	(23.5)			B D G J	普通	にぶい橙	30	SJ45Na31	
16	甕	(17.6)			B G	普通	にぶい橙	30	SJ45Na32	内面頸部横ナデ
17	甕	(20.5)			J	普通	にぶい橙	70	SJ45Na27・30 ・33・37	内面ナデ
18	甕			11.0	J	良	褐灰	90	SJ45D区	底部周縁回転ヘラ削り 中央静止ヘラナデ

第78・79号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(0.99)	1.10	(0.44)	(0.50)		明赤褐		SJ45 C区
2	(3.02)	0.86	0.35	(1.65)	B a	にぶい黄橙		C区
3	(2.07)	1.14	0.50	(2.07)	B a	橙		C区
4	(2.30)	1.48	0.48	(3.64)	B a	にぶい黄橙	10	
5	(2.69)	1.74	0.55	(6.85)	B a	灰黄褐	60	C区
6	(3.51)	1.48	(0.47)	(3.67)	B	にぶい黄橙	30	C区
7	(2.80)	1.70	0.55	(4.87)	B b	橙	30	
8	(3.55)	1.47	0.45	(7.00)	B a	橙	70	C区
9	(3.47)	1.59	0.50	(7.22)	B a	にぶい橙	40	C区
10	(3.90)	1.43	0.47	(7.85)	B a	橙	70	
11	(4.90)	1.56	0.50	(10.83)	B a	にぶい黄橙	90	C区
12	4.22	1.81	0.65	12.47	B a VI	にぶい橙	100	C区
13	4.73	1.70	0.57	10.19	B a V	橙	100	C区
14	5.50	1.52	0.49	(9.11)	B b IV	黒褐	50	C区
15	(5.18)	1.64	0.55	(9.85)	B a	淡黄	60	C区
16	(6.43)	1.59	0.50	(13.36)	B a	にぶい黄橙	80	C区
17	(6.42)	1.94	0.54	(11.71)	B b IV	淡黄	50	SJ45 C区
18	(5.55)	1.66	0.55	(11.26)	B a	にぶい黄橙	60	
19	7.43	1.98	0.50	19.50	B a III	にぶい橙	100	C区
20	(4.17)	2.28	0.63	(11.46)	C a	橙		C区
21	3.56	1.86	0.55	11.34	B a VI	にぶい黄橙	100	C区
22	(3.32)	2.11	0.60	(10.94)	E a	橙		C区
23	(3.10)	1.92	0.52	(11.20)	E	橙	40	C区
24	(3.66)	1.95	0.82	(8.68)	E a	にぶい黄橙	40	
25	5.28	2.07	0.75	18.17	E a V	橙	100	C区
26	(4.83)	2.22	0.68	(21.90)	B a	橙	80	C区
27	(6.30)	1.90	0.43	(19.46)	B	淡黄	70	C区
28	(4.41)	2.25	0.55	(18.46)	B	にぶい橙	70	C区
29	(4.84)	2.15	0.75	(17.54)	E a	橙	70	C区
30	(5.12)	2.39	0.70	(21.42)	B a	橙	70	C区
31	5.52	2.18	0.60	22.53	B a IV	浅黄橙	100	C区
32	5.75	2.70	0.63	26.15	B a IV	にぶい赤褐	95	C区
33	6.10	2.28	0.40	(26.91)	B b IV	にぶい黄橙	90	C区
34	5.93	2.39	0.49	24.08	B a IV	浅黄橙	100	
35	(5.85)	2.16	0.55	(20.99)	B b	にぶい橙	60	
36	7.31	2.36	0.68	34.67	B b III	にぶい橙	100	C区
37	6.12	2.40	0.57	29.70	B a IV	灰黄褐	100	C区
38	(3.75)	2.45	0.65	(18.35)	B b	にぶい橙	30	C区

第119図 第78・79号住居跡出土遺物



第80号住居跡 (第120・121・123・124図)

○-9・10グリッドに位置する。第9号性格不明遺構・第40号土坑に切られている。平面は、軸長3.55m×4.10mで、深さ31cm程を測る。主軸方位は、N-4.5°-Wを指す。

カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は110cm×46cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈す

る。

貯蔵穴は北東隅に備わる。径87cm×100cmの円形で、深さ74cmを測る。

遺物は、土師器坏・高杯・鉢・甕・壺・甌、須恵器提瓶、土製支脚、鉄製品、土錘が出土した。28の支脚は径4.8~5.6cm、依存高10.2cmで、床より僅かに浮いた状態で出土した。鉄製品29は刀子の刃部のみで、

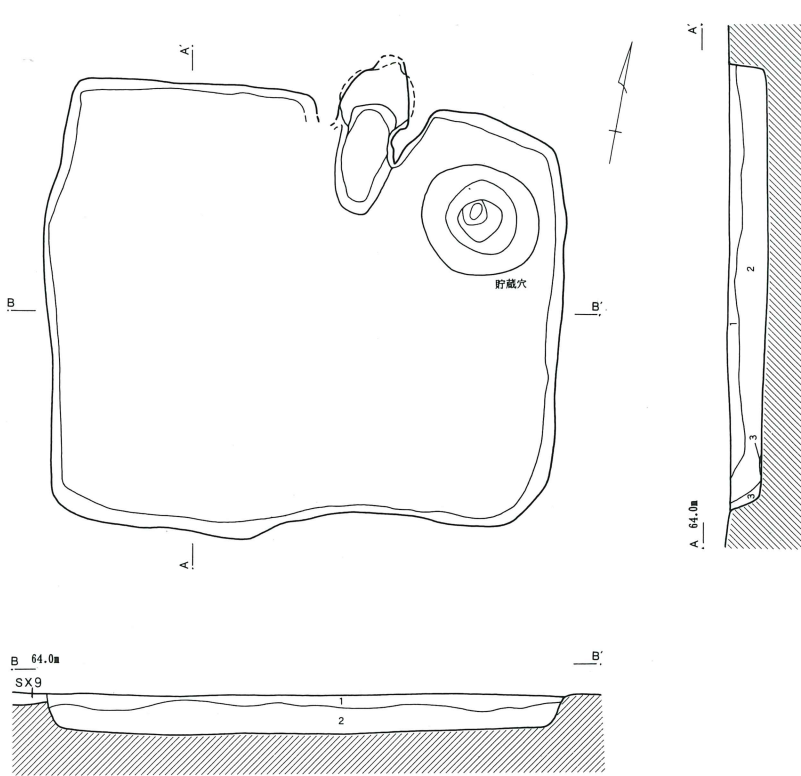
第80号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.71)	1.38	0.48	(2.90)	B a	橙		A・B区
2	(2.96)	1.35	0.47	(3.84)	B a	橙		
3	(2.99)	1.66	(0.59)	(4.90)	E	橙		C・D区
4	(3.15)	1.72	0.45	(7.15)	B a	灰白	40	C・D区
5	(4.07)	1.75	0.41	(9.53)	B a	橙	60	C・D区
6	3.38	1.68	0.50	8.80	B a VI	淡黄	100	C・D区
7	(4.36)	1.94	0.65	(10.83)	B a	淡黄	40	貯蔵穴
8	(3.92)	1.36	0.45	(6.07)	B a	褐灰	40	
9	(4.80)	1.71	0.60	(12.54)	B a	橙	80	
10	6.57	1.57	0.50	14.14	B a III	橙	100	C・D区
11	6.72	1.76	0.56	17.89	B a III	浅黄橙	100	A・B区
12	8.43	3.09	0.58	61.10	B a II	浅黄橙	100	A・B区

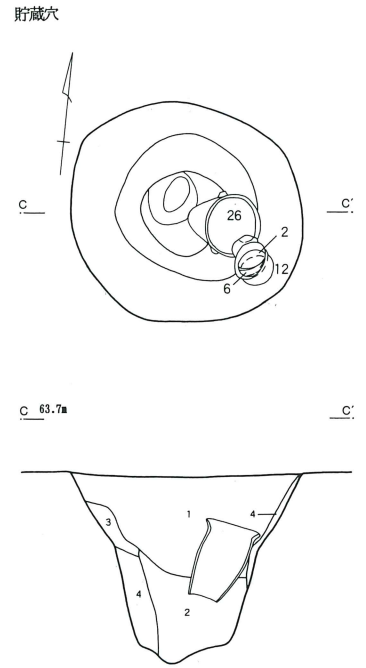
第80号住居跡出土遺物観察表 (第123・124・125図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	7.5		DE J	普通	浅黄橙	30	Na23	
2	坏	12.7	6.1		BDEG J	普通	にぶい黄橙	100	Na128	貯蔵穴
3	坏	(11.9)	4.3		F J	普通	橙	60	Na31・32	床+1cm
4	坏	(11.9)			DF J	不良	橙	30	Na62・108	床+2cm
5	坏	12.3	4.6		ADE J	不良	灰白	90	Na35~Na38	床+3cm
6	坏	13.2	4.4		BDEF J	普通	にぶい赤褐	85	Na129	貯蔵穴 口縁一部内外面に油煙
7	坏	12.1	4.2		E J	普通	にぶい橙	80	Na16・17・26	床+3cm 歪み有り
8	坏	(12.0)	3.9		BDE J	普通	にぶい赤褐	30	Na122カマド	床
9	高坏	(17.0)			BE J L	不良	にぶい橙	30	Na59・60	床 脚部外面↓方向ヘラ削り、他不明
10	高坏				BF J L	良	褐灰	80	Na49	床
11	甕	14.0	17.4	6.5	BE J L	普通	にぶい黄橙	100	Na127	カマド 底部一方向ヘラ削り
12	鉢	18.1	10.3	8.9	BG J L	普通	灰褐	100	Na130	貯蔵穴 底部一方向ヘラ削り 粘土紐積上げ痕顕著
13	甕	13.7			DE J	普通	にぶい橙	40	Na21・22・24	床+3cm
14	壺	(12.3)	14.2	7.9	J L	普通	にぶい橙	80	Na20・29・39 ・40・53	床+3~5cm 外面上位←方向、 下位↓方向ヘラ削り 赤彩
15	甕	(16.3)			D J	普通	にぶい黄橙	60	Na115	床+5cm 外面↓方向ヘラ削り
16	甕	(15.4)			FG J	不良	灰黄褐	55	Na81	
17	甕	19.2			E J	普通	淡黄	100	Na115	床+5cm
18	甕	19.0			J L	普通	灰白	60	Na34・50・51	床+3cm 外面上位↑方向、 以下↓方向ヘラ削り
19	甕	(20.5)			ADFG J	普通	灰黄褐	30	Na99・101 ・105	外面頸部下←方向、上位↓方向、 以下←方向ヘラ削り
20	甕				B J L	良	灰	20	Na41	
21	甕	(19.1)			AE J KL	普通	橙	40	Na61・91~94	外面↑方向ヘラ削り
22	甕	(18.0)	36.3	7.2	AB J L	普通	にぶい黄橙	60	Na85・119 ・120	床
23	甕	(19.6)	41.1	6.2	BG J L	普通	にぶい黄橙	95	Na126	カマド
24	甕	22.0			AB J L	普通	橙	60	Na86・87・102 ・110・112・A	
25	甕			10.8	AE J	普通	にぶい橙	60	Na3・4・6・9	床 底部木葉痕 ヘラ削り
26	甌	23.4	32.6	9.1	BE G L	不良	にぶい黄橙	100	Na131	貯蔵穴
27	提瓶	(8.5)	21.6		J L	良	灰	70	Na1・C区・D区	床+3cm 頸部・体部外面にカキ目 平坦部右回転ヘラ削り 両面で閉塞

第120図 第80号住居跡

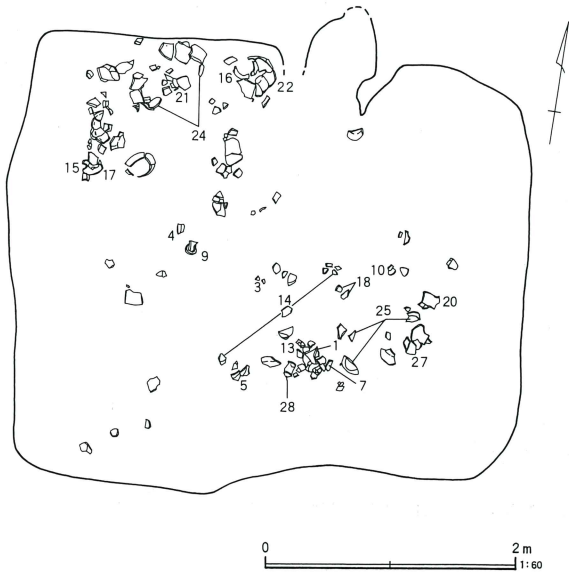


- 1 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質、白色微粒
- 2 褐色 (10YR4/6) 橙色土粒・炭化物粒
- 3 黄褐色 (10YR5/6)

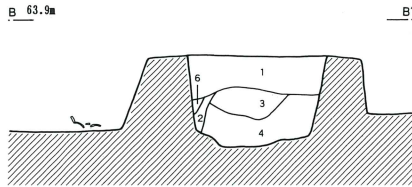
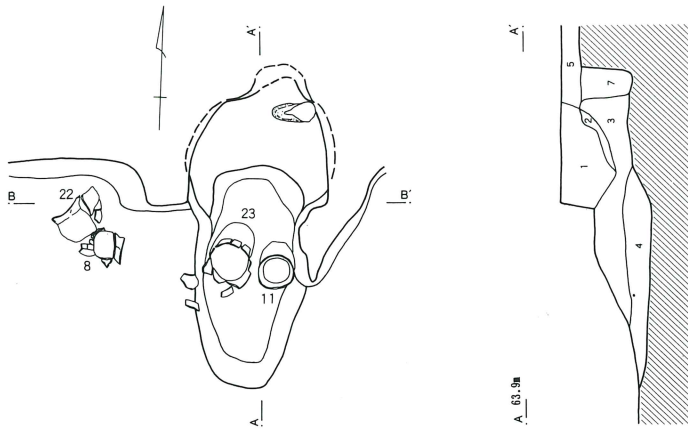


貯蔵穴

- 1 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒少、焼土僅か、締まり強し
- 2 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒僅か
- 3 黄褐色 (10YR5/6)
- 4 黄褐色 (10YR5/6) 砂質



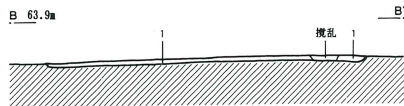
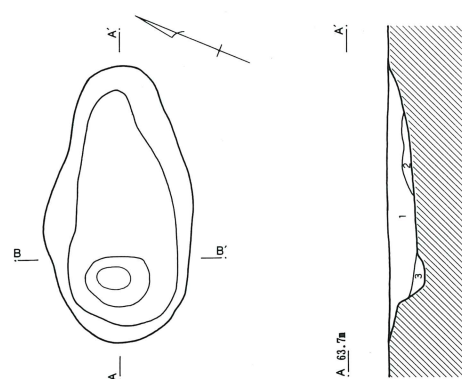
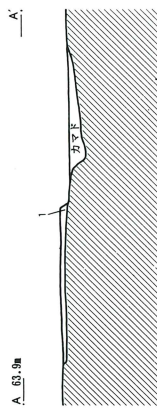
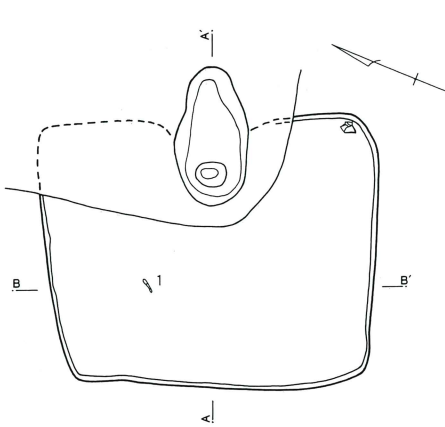
第121図 第80号住居跡カマド



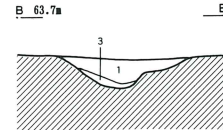
- 1 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒・焼土僅か
- 2 暗褐色 (10YR3/4) 焼土多
- 3 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色シルト
- 4 黒褐色 (10YR3/2) 焼土・炭灰少
- 5 にぶい黄褐色(10YR6/4) シルト質、白色微粒
- 6 褐色 (10YR4/4) 灰白色シルト含、粘質
- 7 褐色 (7.5YR4/3)

第122図 第81号住居跡

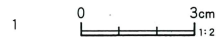
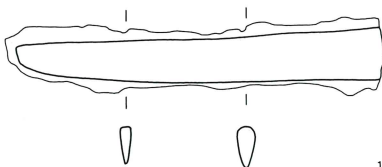
カマド



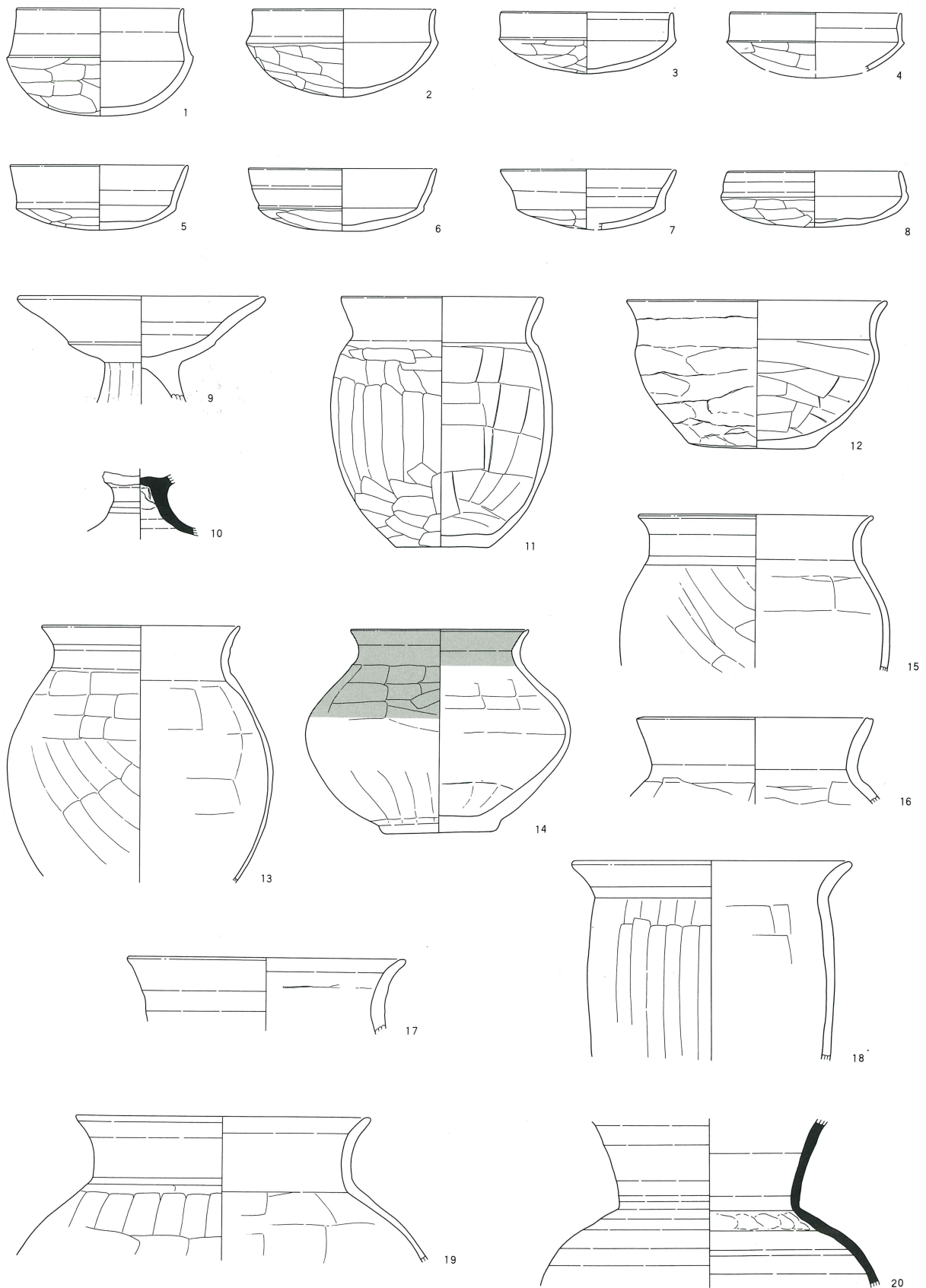
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 地山ブロック・焼土粒



- 1 黒褐色 (10YR3/1) 焼土粒・炭化物粒
- 2 褐色 (10YR4/4) 焼土粒・焼土ブロック
- 3 黒褐色 (10YR2/3) 焼土粒多

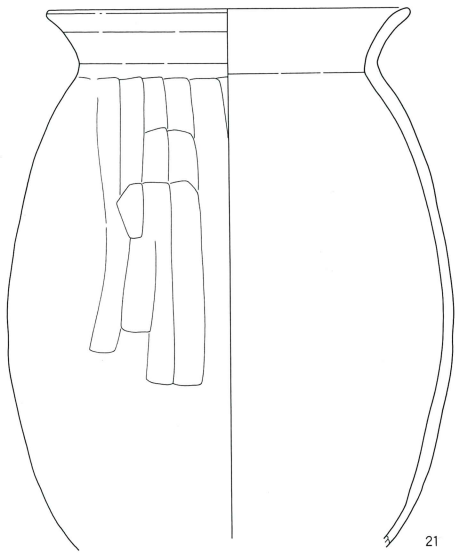


第123图 第80号住居跡出土遺物(1)

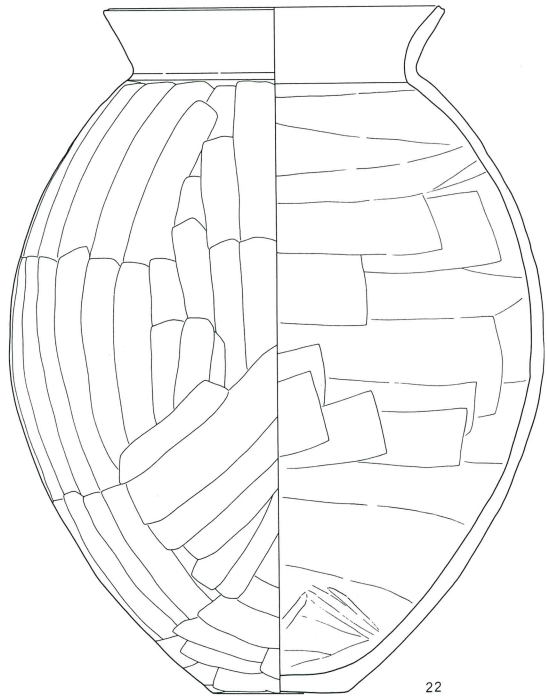


0 10cm 1:4

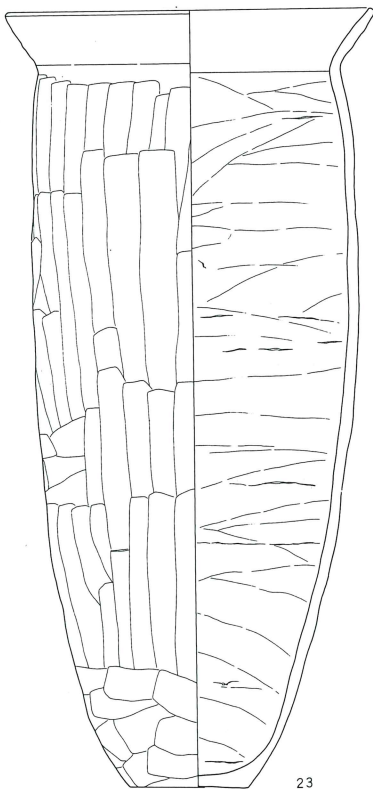
第124図 第80号住居跡出土遺物 (2)



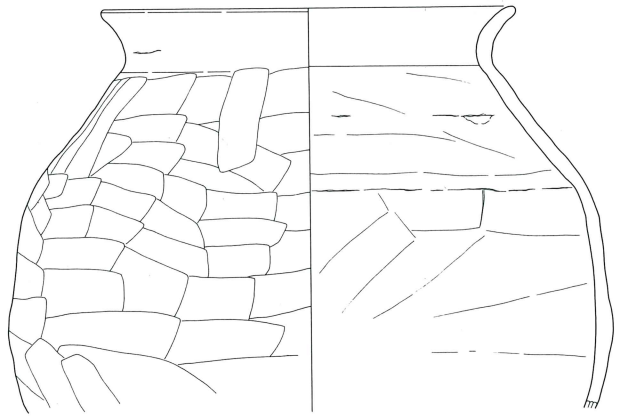
21



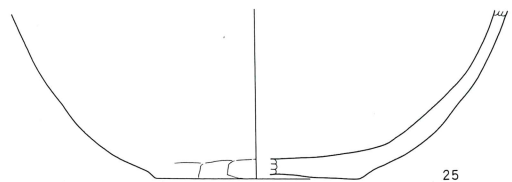
22



23



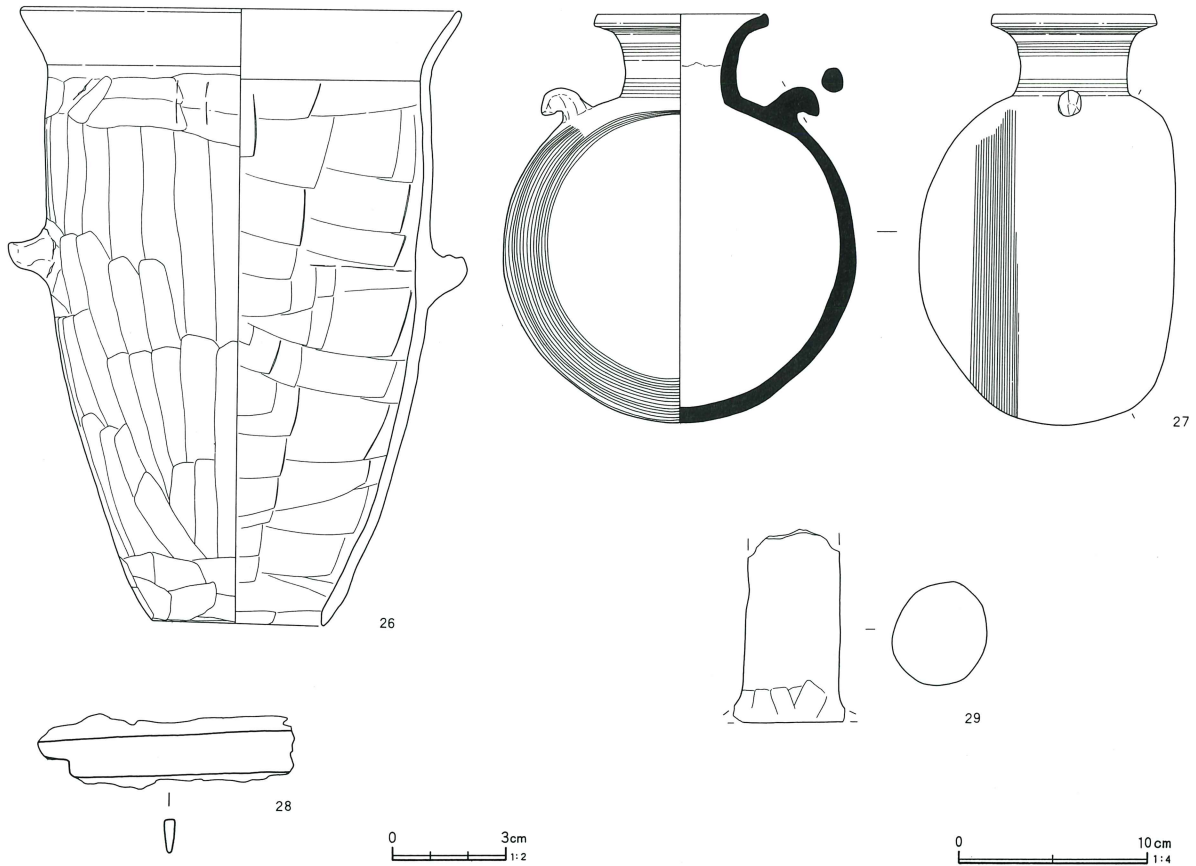
24



25

0 10 cm 1:4

第125図 第80号住居跡出土遺物 (3)



重さ24.20gで、覆土中の出土である。

第81号住居跡 (第122図)

M-10グリッドに位置する。第70号住居跡に切られ、第83号住居跡を切っている。平面は、軸長2.13m×2.62mの方形で、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は110cm×59cmの楕円形を呈し、深さは11cmを測る。

遺物は、刀子刃部が床面から出土し、他に土錘も出

土した。刀子片の重さは、23.48gを量る。

第82号住居跡 (第126図)

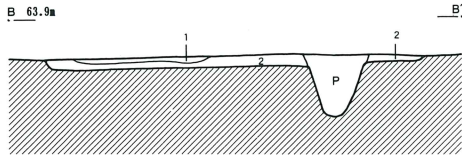
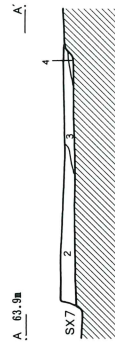
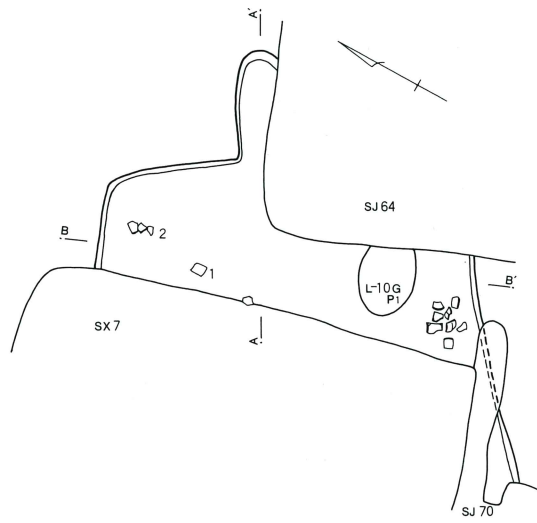
L・M-10グリッドに位置する。北東部を第64号住居跡に、西部と南部を第70号住居跡・第7号性格不明遺構に切られる。平面は、軸長2.60m以上×3.02m、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-55°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられているが南半は、第64号住居跡に切られている。燃焼部は長さ80cmで、床面と同じ高さである。

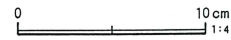
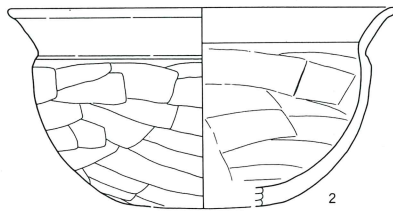
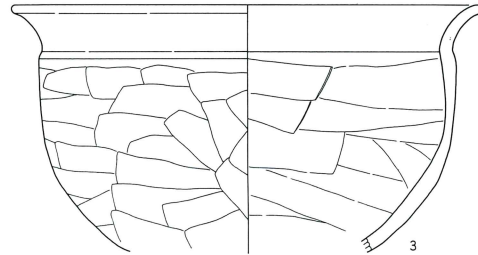
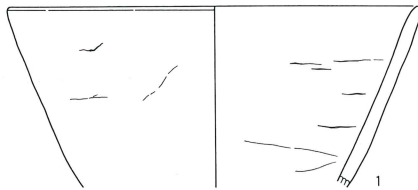
第81号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.85)	1.46	0.48	(4.56)	B	にぶい黄橙	20	
2	6.85	1.82	0.46	17.59	B a III	淡黄	100	

第126図 第82号住居跡・出土遺物



- 1 暗褐色 (10YE3/3) 焼土粒・炭化物
- 2 褐色 (10YR4/6) 焼土粒・地山ブロック
- 3 黒褐色 (10YR4/6) 焼土ブロック・炭化物多
- 4 褐色 (10YR4/6) 炭化物多、砂質



第82号住居跡出土遺物観察表 (第126図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	鉢	(22.0)			B E	普通	にぶい橙	15	No3	床+3 cm
2	鉢	20.6	10.6	(8.4)	E L	普通	橙	60	No4・L-10G	床+5 cm
3	鉢	(25.0)			B D J	不良	にぶい橙	55	No1・SJ82	床

第82号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.52)	1.60	(0.65)	(2.52)	B	灰黄褐		
2	(3.69)	1.76	0.54	(9.63)	B	淡黄	40	カマド

遺物は、土師器鉢、土錘が出土した。

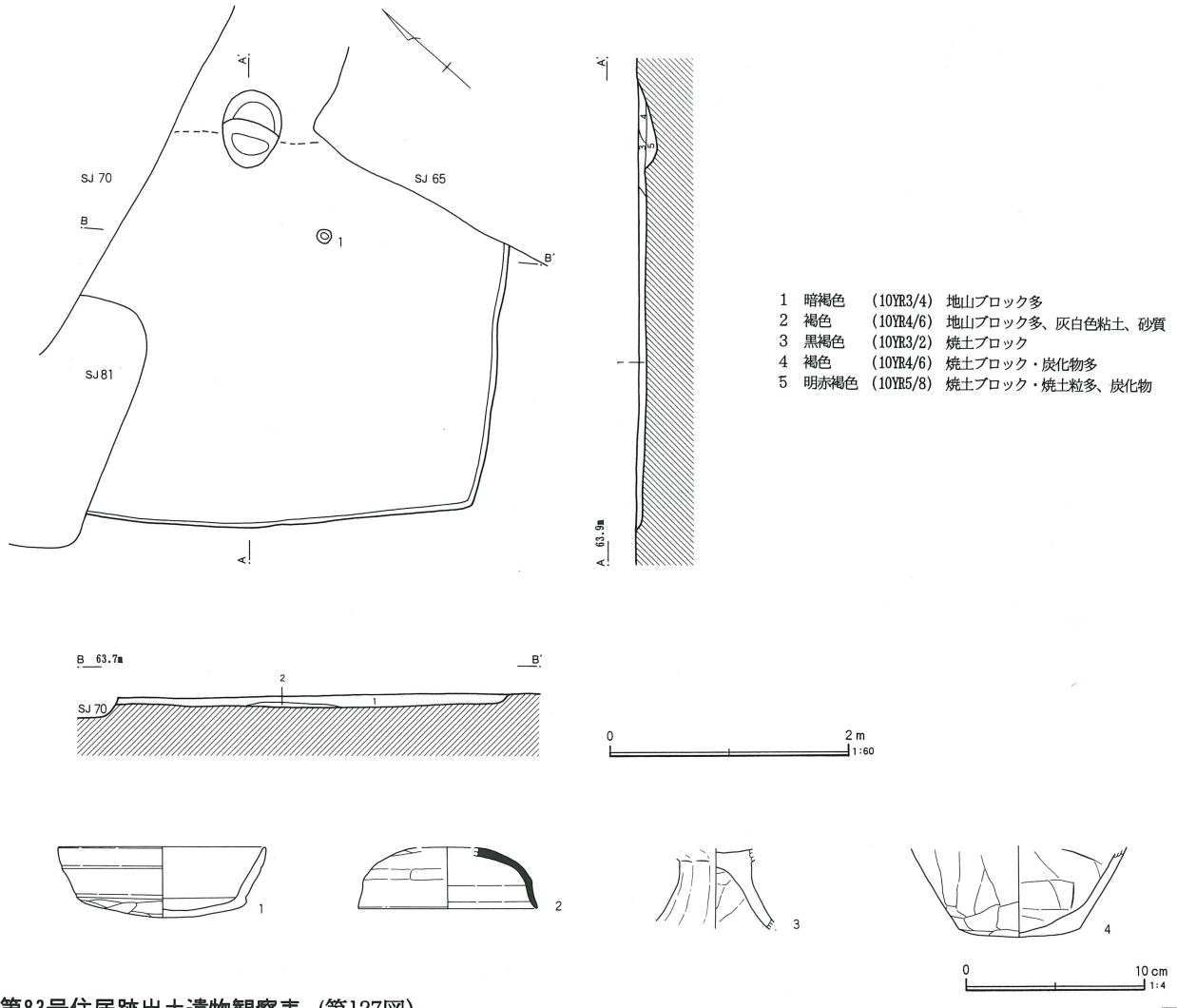
第83号住居跡（第127図）

M-10グリッドに位置する。東隅を第65号住居跡に、北西部を第70号・第81号住居跡に切られる。平面

は、軸長3.23m×3.50m以上、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-51°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられている。燃烧部は66cm×49cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈する。

第125図 第83号住居跡・出土遺物



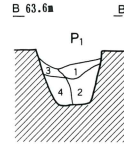
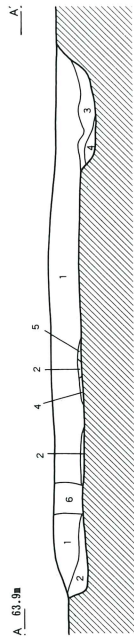
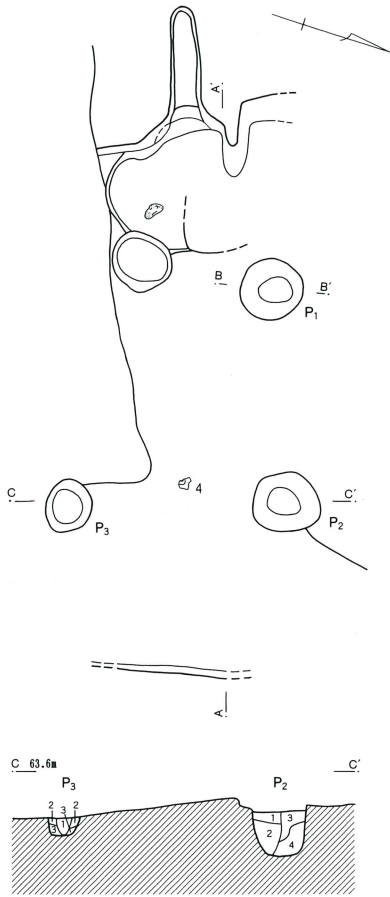
第83号住居跡出土遺物観察表（第127図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.6	4.0		DEG	普通	明赤褐	100	No1	床
2	蓋	(10.0)			BL	普通	灰	50	D区・M-10GP1	天井部手持ちヘラ削り
3	高坏				BE	不良	にぶい赤褐	60	C区	
4	甕			(6.7)	BEJ	普通	にぶい橙	30	カマド	カマド

第83号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.00)	1.38	0.45	(2.00)	B	浅黄橙		D区
2	5.18	1.45	0.58	(7.53)	BaV	橙	95	B区
3	5.67	1.61	0.47	(10.75)	BaIV	浅黄橙	95	B区
4	6.26	1.47	0.53	12.02	BaIV	にぶい黄橙	100	C区
5	(6.46)	1.78	0.50	(14.75)	Ba	浅黄橙	90	D区
6	6.68	1.50	0.58	14.29	BaIII	浅黄橙	100	C区
7	7.17	1.66	0.50	16.31	BaIII	橙	100	C区
8	7.87	1.66	0.48	13.79	BaII	浅黄橙	100	C区
9	8.76	1.80	0.49	19.73	BaI	浅黄橙	100	C区

第128図 第84号住居跡・カマド



P 1

- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、明黄褐色シルト多
- 2 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色シルト少
- 3 褐色 (10YR4/4) シルト質
- 4 明黄褐色(10YR6/6) シルト質

P 2

- 1 褐色 (10YR4/4) 灰白色粘土
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト質
- 3 にぶい黄褐色(10YR5/4)
- 4 明黄褐色(10YR6/6) シルト質

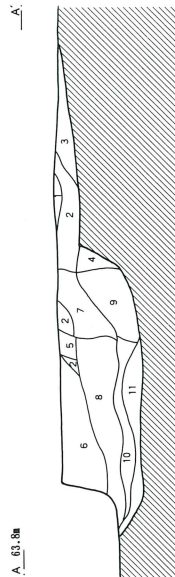
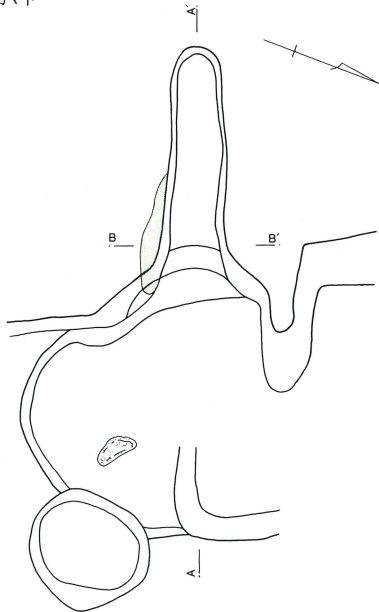
P 3

- 1 黄褐色 (10YR5/6)
- 2 にぶい黄褐色(10YR5/4)
- 3 褐色 (10YR4/4)

- 1 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、白色微粒多、炭化物・焼土少
- 2 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質、炭化物・焼土少
- 3 黒褐色 (10YR2/2) 灰極多
- 4 黄褐色 (10YR5/8) 砂質
- 5 灰白色 (10YR8/2) 砂質
- 6 褐色 (10YR4/6) 白色微粒子
- 7 明黄褐色(10YR6/6)
- 8 黄褐色 (10YR5/6) 明黄褐色シルト多

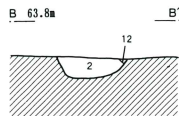


カマド



1 被熱範囲

- 2 にぶい黄褐色(10YR5/4) 焼土少
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 焼土僅か
- 4 焼土
- 5 にぶい黄褐色(10YR4/3)
- 6 褐色 (10YR4/4) 白色微粒
- 7 暗褐色 (10YR3/4) 炭化物粒僅か
- 8 にぶい黄褐色(10YR5/4) 明黄褐色土多
- 9 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭僅か
- 10 灰層
- 11 にぶい黄褐色(10YR5/4) 明黄褐色シルト・灰僅か
- 12 暗褐色 (10YR4/3) 焼土粒子多



遺物は、土師器坏・高杯脚部・甕、土錘が出土した。

第84号住居跡 (第128・129図)

M-10・11グリッドに位置する。北を第65号住居跡に、南を第101号住居跡に切られている。平面は、軸長4.60m、深さ25cm程を測る。主軸方位は、N-110°-Wを指す。

カマドは、西壁に設けられている。燃烧部は116cm×100cmの円形を呈し、床面からの深さ8cmを測る。煙道部は燃烧部と段差を有し、80cm確認できた。

柱穴は2本の支柱穴が検出された。南西隅のピット

3は、支柱穴とは認め難い。径45~50cmの円形で、深さ40~45cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕、土錘が出土した。

第85号住居跡 (第130図)

M-11グリッドに位置する。第65号・第69号住居跡に切られている。平面は、軸長3.23m×3.50m、深さ16cm程を測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

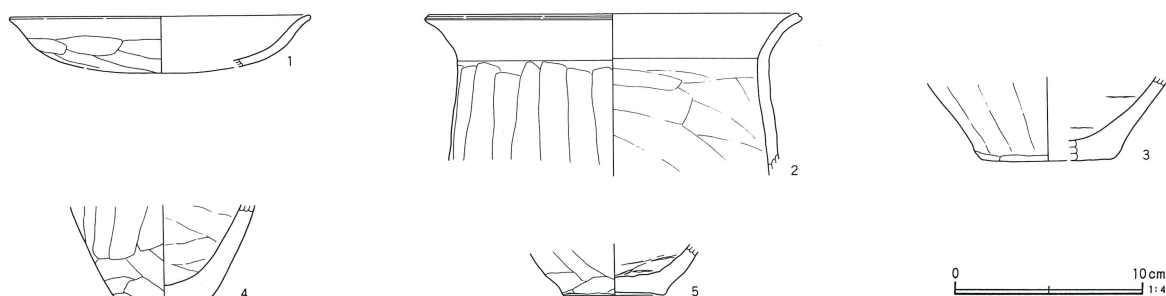
カマドは、北壁に設けられている。燃烧部は152cm×75cmの三角形で、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

第84号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.05)	1.20	0.52	(2.30)	B a	褐灰		A区
2	(3.73)	1.80	0.55	(9.34)	B	褐灰		A区
3	(4.46)	1.48	0.58	(8.13)	A	褐灰		
4	(4.91)	1.97	0.65	(12.70)	B	褐灰	40	A区
5	(5.24)	1.49	0.65	(9.58)	B a	褐灰	60	A区
6	5.58	1.75	0.70	(16.26)	B a IV	にぶい黄橙	95	

第129図 第84号住居跡出土遺物



第84号住居跡出土遺物観察表 (第129図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(16.0)			ABDEJ	不良	橙	15		
2	甕	(20.0)			BDEJ	普通	にぶい橙	15		外面↓方向へラ削り
3	甕			(7.0)	BJL	不良	にぶい橙	35	A区	外面↓方向へラ削り
4	甕			5.2	BJL	不良	にぶい橙	50	No1	床+5cm 外面↑方向・底部へラ痕
5	甕			5.4	JL	普通	にぶい褐	70		外面↓方向へラ削り 底部木葉痕

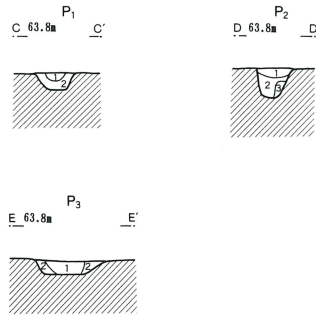
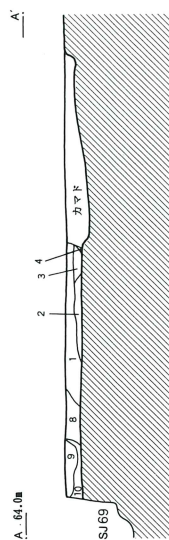
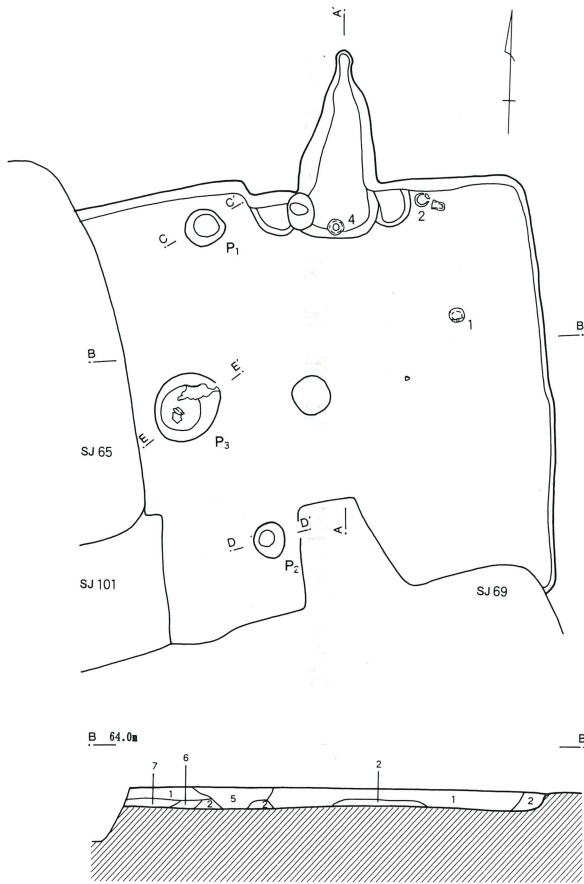
第85号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.67)	1.13	0.50	(1.26)	B a	浅黄橙		D区
2	5.08	1.57	0.46	10.57	B a V	にぶい黄橙	100	A区
3	(5.87)	1.57	0.52	(12.13)	B a	橙	90	C区

第85号住居跡出土遺物観察表 (第130図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	3.3		DFJ	不良	橙	100	No4	床
2	坏	10.3	3.1		BDJ	不良	にぶい褐	100	No2	床
3	坏	11.3	3.7		J	不良	灰褐	60	B区	床
4	坏	10.5	3.2		DJL	不良	灰黄褐	95	No1	カマド
5	坏	(13.4)			BE	普通	褐	10	A区	

第130図 第85号住居跡



- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭化物粒・白色微粒多
- 2 黄褐色 (10YR5/4)
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 炭灰少
- 4 黄褐色 (10YR5/6) 焼土少
- 5 にぶい黄褐色(10YR6/4) 白色微粒多
- 6 黄褐色 (10YR5/6) 炭灰極多
- 7 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒少
- 8 にぶい黄褐色(10YR5/4)
- 9 褐色 (10YR6/4) 白色微粒・焼土少
- 10 焼土層

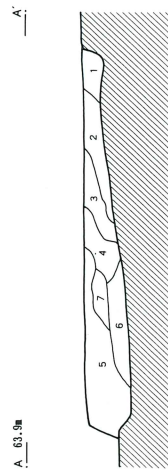
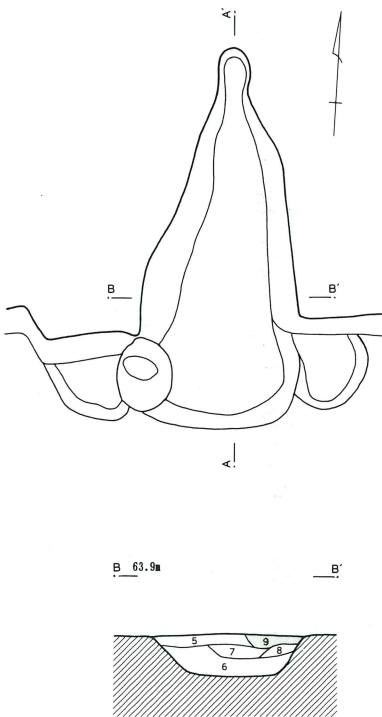
- P1
- 1 黄褐色 (10YR5/8) シルト質、灰白色シルト
- 2 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物粒少

- P2
- 1 褐色 (10YR4/4)
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト質
- 3 褐色 (10YR4/6)

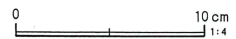
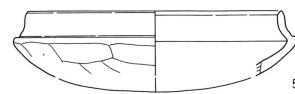
- P3
- 1 褐色 (10YR4/4) 炭極多 しまり強し
- 2 明黄褐色(10YR6/6) しまり強し



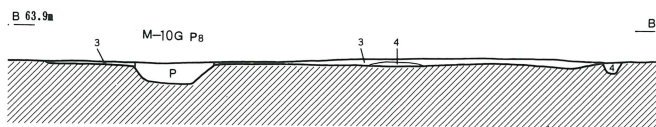
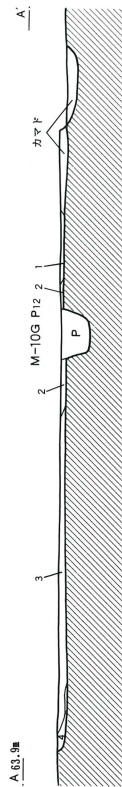
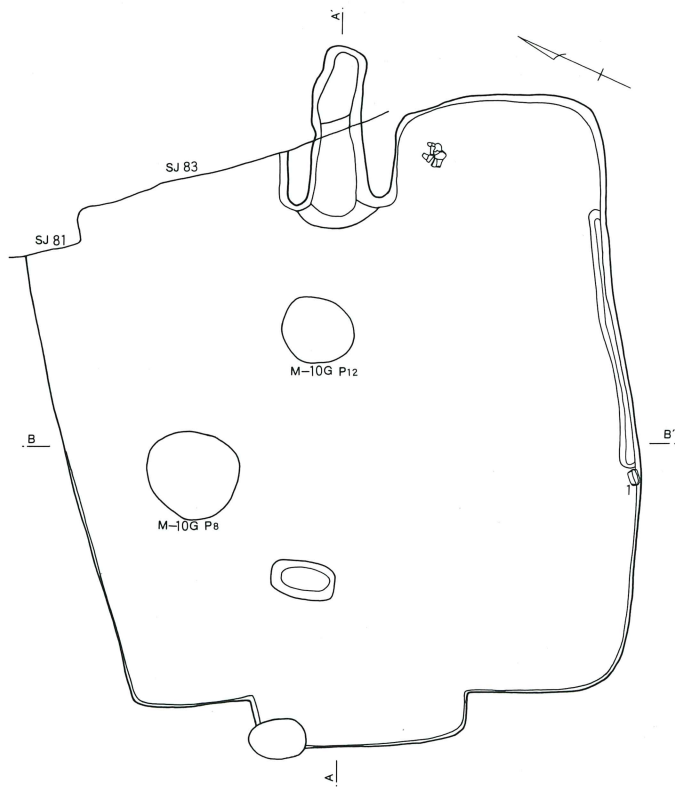
カマド



- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭化物粒・白色微粒多
- 2 黄褐色 (10YR5/6) シルト質
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 焼土塊多
- 4 黄褐色 (10YR5/6)
- 5 黄褐色 (10YR5/6) 白色微粒極多
- 6 褐色 (10YR4/6) 焼土多
- 7 焼土層
- 8 黄褐色 (10YR5/6) 焼土僅か
- 9 被熱焼土



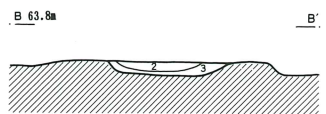
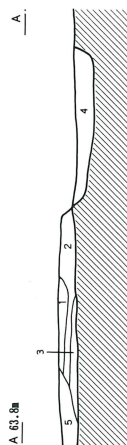
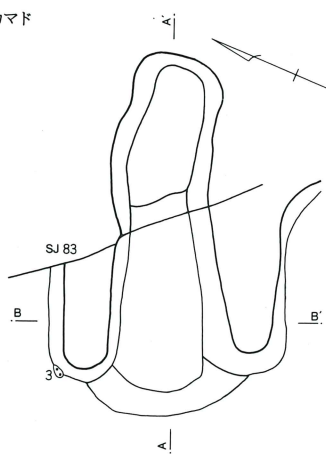
第131図 第86号住居跡・カマド



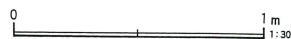
- 1 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・炭化物
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 炭化物・焼土粒・地山ブロック・
褐灰色粘質土ブロック多
- 3 褐灰色 (10YR5/1) 褐灰色粘質土ブロック・地山ブロック多
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 焼土ブロック・炭化物多



カマド



- 1 明赤褐色(2.5YR5/8) 焼土多、地山ブロック
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 焼土ブロック・炭化物・灰
- 3 赤褐色 (2.5YR4/8)
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 焼土粒・地山ブロック多
- 5 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・炭化物



第86号住居跡 (第131・132図)

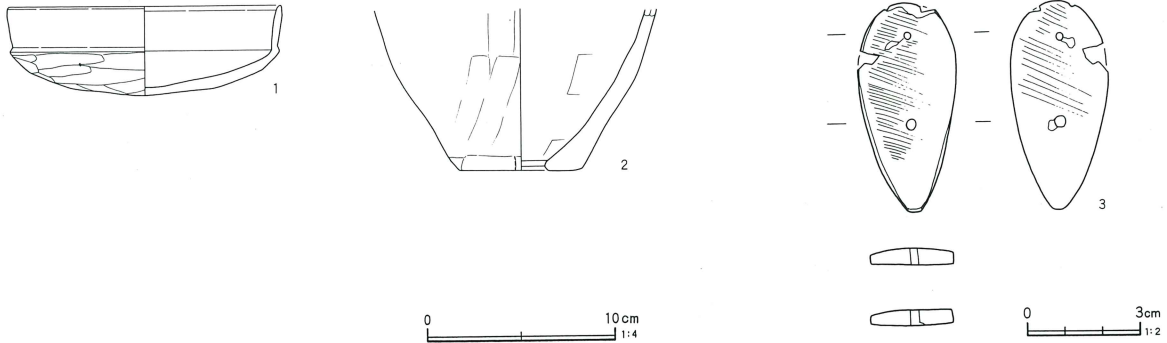
M-9・10グリッドに位置する。第81号・第83号住居跡に北側が切られている。平面は、軸長 4.50m×4.50mの台形を呈し、深さ 5cm程を測る。西壁には、170cm×35cmの長方形の張り出しがある。主軸方

位は、N-60.5°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられ、先端は第83号住居跡に切られている。燃焼部は85cm×50cmの隅丸長方形を呈し、深さ 8cmを測る。

遺物は、土師器坏・甑、石製模造品が出土した。石

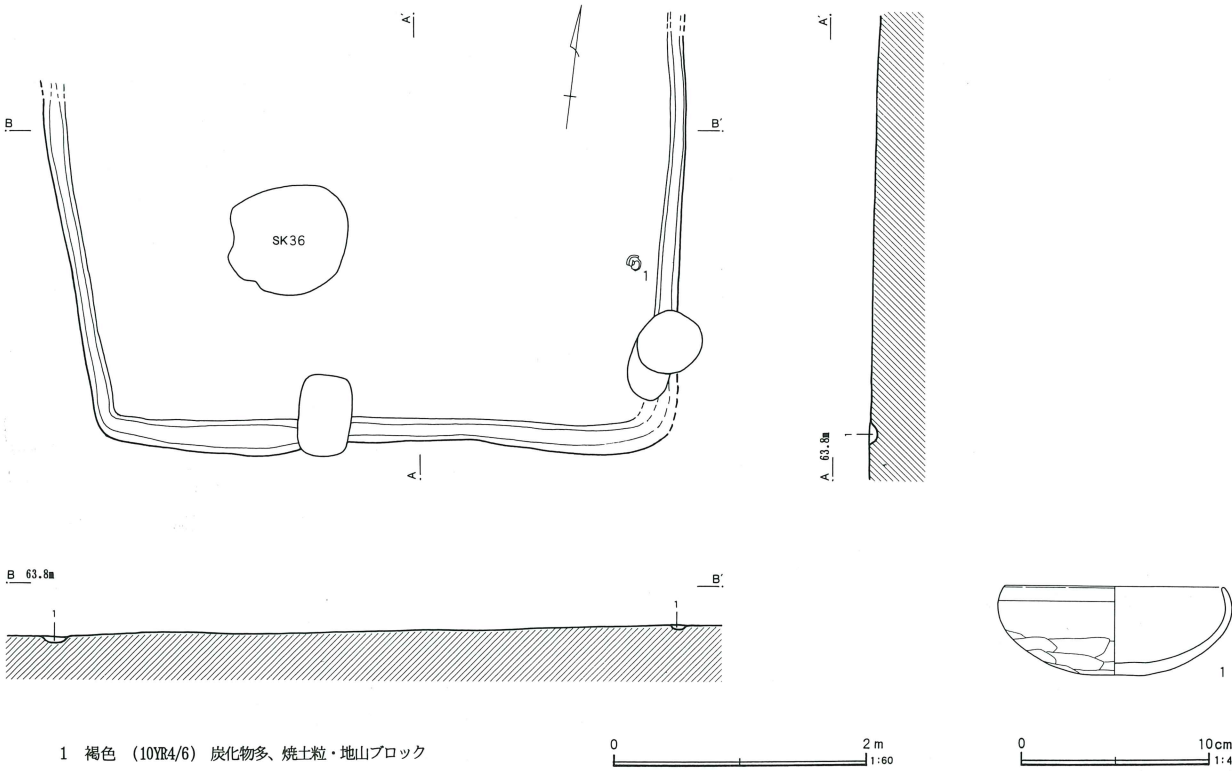
第132図 第86号住居跡出土遺物



第86号住居跡出土遺物観察表 (第132図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(14.6)	4.7		E F	普通	橙	40	No1	床
2	甑			(6.5)	B H J L	普通	にぶい黄橙	30	B区	孔径 2.8cm 内面ヘラナダ

第133図 第87号住居跡・出土遺物



1 褐色 (10YR4/6) 炭化物多、焼土粒・地山ブロック

第87号住居跡出土遺物観察表 (第133図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	4.7		B E H J L	不良	にぶい赤褐	45	No1	床 内面赤彩一部残存

製模造品は、剣形品で長さ5.54cm、幅2.61cm、厚さ0.44cm、重さ10.46gでカマド左袖先端裾際から出土した。

第87号住居跡 (第133図)

L-10グリッドに位置する。壁溝からの検出で、北側は僅かに傾斜して下っているため確認できなかった。平面は、軸長3.60m以上×5.08mを測る。壁溝は北壁を除いては全周し、幅13~28cm、深さ4~7cmを測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

カマド等の施設は、確認できなかった。

遺物は、土師器坏が床面から出土した。

第88号住居跡 (第134・135・136図)

M・N-11グリッドを中心に位置する。第85号住居跡を切り、第69号住居跡に切られる。平面は、軸長

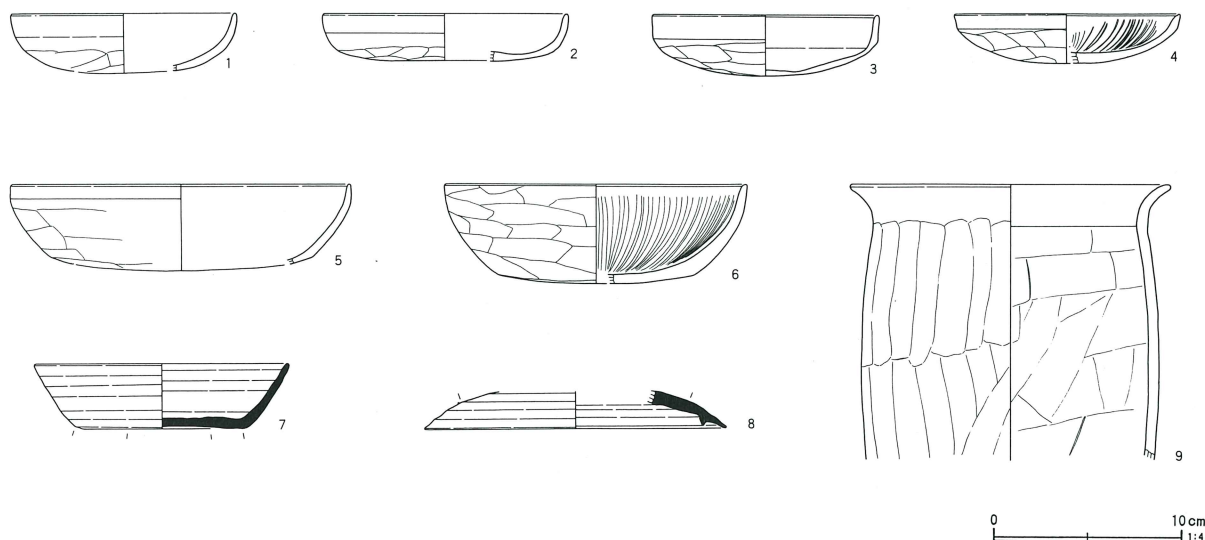
5.63m×6.23mの方形を呈し、深さ17cm程を測る。壁溝は、北壁・西壁・南壁の一部に検出され、幅17~35cm、深さ4~7cmである。主軸方位は、N-22°-Wを指す。

カマドは、北壁に設けられている。燃烧部は165cm×58cmの不整長方形を呈し、床面からの深さ23cm程を測る。煙道部は燃烧部と段差を有し、58cm確認できた。

土坑が床面より11基確認できた。深さは数cm~20cm程を測る。

遺物は、土師器坏・暗文土器・甕、須恵器坏・蓋、土錘が出土した。

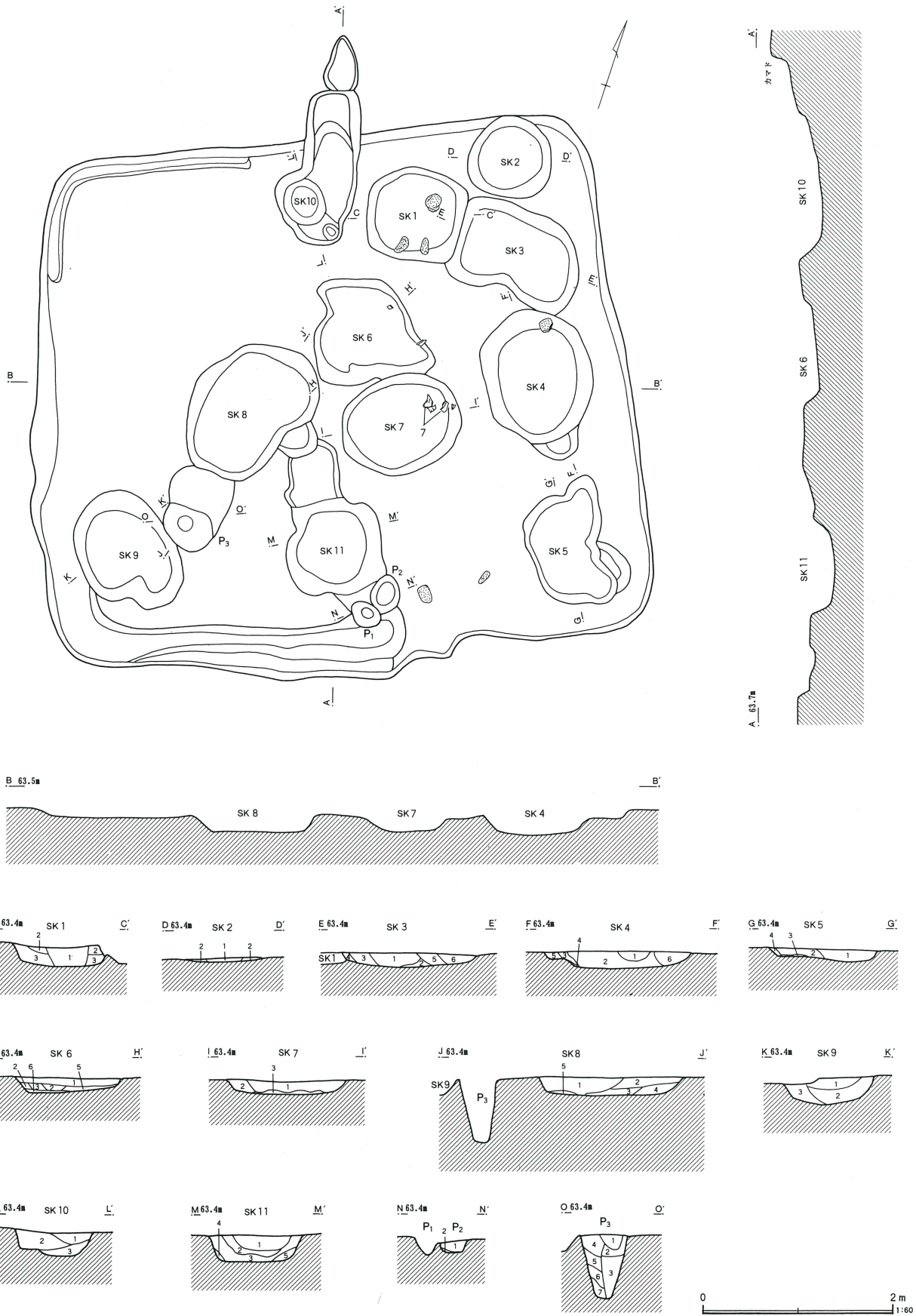
第134図 第88号住居跡出土遺物



第88号住居跡出土遺物観察表 (第134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			B D E	普通	橙	30	SK4	SK4
2	坏	(13.0)	2.5		B D J	不良	橙	10	B区	
3	坏	(12.0)	3.3		A B D J	不良	にぶい橙	30	SK3・B区	SK3
4	坏	(12.0)	2.6		A B E	不良	橙	10	B区	内面に暗文
5	椀	(18.0)			D G J	不良	にぶい橙	15	SK6	SK6
6	椀	(16.0)	5.2	(10.4)	B D E J	普通	橙	20	SK11	SK11 内面に暗文
7	坏	13.6	3.4	8.2	I J	良	灰	90	SK7No3・4	床 底部周辺右回転ヘラ削り
8	蓋	(16.0)			F J L	良	灰	20	D区	天井部右回転ヘラ削り
9	甕	(17.0)			H J L	不良	にぶい褐	20	SK11	SK11 外面↑方向ヘラ削り

第135図 第88号住居跡



第136図 第88号住居跡・カマド

SK 1

- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物・明黄褐色土
- 2 暗褐色 (10YR3/4)
- 3 暗褐色 (10YR3/4) シルト質

SK 2

- 1 褐色 (10YR4/6)
- 2 黄褐色 (10YR5/6)

SK 3

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 焼土多 炭化物少
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物微
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 明黄褐色土少
- 4 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質
- 5 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物・焼土微
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物・焼土・明黄褐色土少

SK 4

- 1 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色土多、炭化物粒微
- 2 褐色 (10YR4/4) 炭化物粒少
- 3 褐色 (10YR4/4) 灰白色シルト、炭化物微
- 4 暗褐色 (10YR3/4)
- 5 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色シルト少
- 6 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、締まり強し

SK 5

- 1 褐色 (10YR4/4) 炭化物微、明黄褐色土多、締まり強し
- 2 黄褐色 (10YR5/6) 締まり強し
- 3 明黄褐色 (10YR7/6) 砂質
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 炭化物少、締まり強し

SK 6

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 焼土少、締まり強し
- 2 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物少、締まり強い
- 3 褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物少、明黄褐色土多
- 4 にぶい黄褐色(10YR5/4)焼土多
- 5 明黄褐色 (10YR6/6) シルト質

SK 7

- 1 褐色 (10YR4/6) 焼土少、締まり強い
- 2 暗褐色 (10YR3/4) 締まり強い
- 3 黄褐色 (10YR5/6)

SK 8

- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土・白色微粒多
- 2 褐色 (10YR4/4) 焼土少、白色微粒多
- 3 にぶい黄褐色(10YR5/3) シルト質、炭化物微
- 4 褐色 (10YR4/4) シルト質、焼土少
- 5 明黄褐色 (10YR7/6) シルト質

SK 9

- 1 にぶい黄褐色(10YR4/3) シルト質、明黄褐色土・炭化物粒少
- 2 暗褐色 (10YR3/3) シルト質、焼土・炭化物粒少
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 焼土多、炭化物粒微

SK10

- 1 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質
- 2 暗褐色 (10YR3/4) 焼土少
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 砂質

SK11

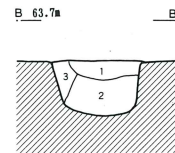
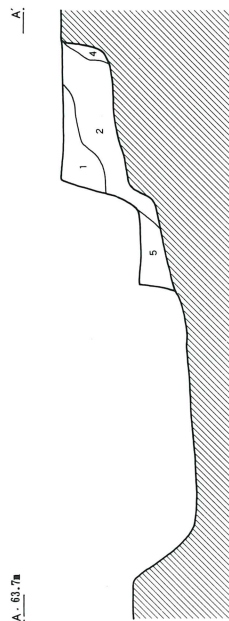
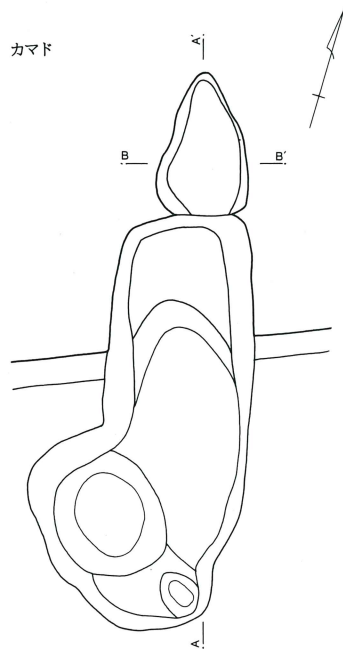
- 1 褐色 (10YR4/4) 明褐色土粒・炭化物粒
- 2 褐色 (10YR4/4) 明褐色土粒多
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 焼土少
- 4 黄褐色 (10YR5/6)
- 5 黄褐色 (10YR3/6) 暗褐色土・焼土少

P 2

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物粒多
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 明黄褐色土少

P 3

- 1 明黄褐色 (10YR6/6) シルト質
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト質、明黄褐色土極多
- 3 暗褐色 (10YR3/4) 明黄褐色土少
- 4 褐色 (10YR4/4) シルト質炭化物粒少
- 5 暗褐色 (10YR3/4) 炭化物粒・明黄褐色シルト、締まりなし
- 6 暗褐色 (10YR3/4) 締まりなし
- 7 黄褐色 (10YR5/8)



- 1 にぶい黄褐色(10YR4/3) シルト質
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 焼土少
- 3 明黄褐色 (10YR5/6) シルト質、白色微粒
- 4 黄褐色 (10YR5/6)
- 5 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物粒微、明黄褐色シルト少



第88号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.17)	(1.82)	(0.44)	(2.30)	B	にぶい黄橙		S K 11
2	(2.38)	(1.49)	(0.59)	(2.48)	B	淡黄		A区
3	(3.31)	1.68	0.50	(9.36)	B a	褐灰	40	D区
4	(3.33)	2.10	(0.66)	(9.39)	B a	にぶい黄橙	30	S K 4
5	(3.71)	1.68	0.66	(8.99)	B a	褐灰	50	B区
6	(4.15)	0.98	0.40	(3.63)	B a	浅黄橙	90	C区
7	(4.45)	1.91	0.60	(11.33)	B a	褐灰	40	S K 11
8	4.80	1.89	0.50	9.64	B a	にぶい黄橙	40	S K 11
9	(5.31)	1.65	0.58	(12.40)	B a	にぶい黄橙	95	S K 10
10	5.31	1.77	0.50	13.82	B a V	浅黄橙	100	B区
11	(5.03)	1.85	0.50	(13.26)	B	橙	60	S K 11
12	5.85	1.93	0.48	19.22	B a IV	淡白	100	A区
13	6.95	1.71	0.45	15.80	B a III	にぶい橙	100	A区
14	(7.50)	1.74	0.61	(14.86)	B a	灰黄褐	95	S K 11

第89号住居跡 (第137・138図)

K・L-11グリッドに位置する。第75号住居跡・第41号土坑に切られている。平面は、軸長4.00m×4.38mのやや歪んだ方形を呈し、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-108°-Wを指す。

カマドは、西壁の南寄りに設けられている。燃焼部は88cm×39cmの楕円形を呈し、床面からの深さ10cmを測る。支脚の石が遺存し、その上に小型甕が伏せられていた。

遺物は、土師器坏・高杯・小型甕・甕、石製紡錘車、白玉、土錘が出土した。6の石製紡錘車は、側面に4ヵ所「×」印が線刻されている。長径3.98~4.13

cm、短径1.29cm、高さ2.03cm、孔径0.90cm、重さ38.10gで、床面より出土した。7の白玉は、径6.0mm、厚さ2.7~3.1mm、孔径0.13~0.16mm、重さ0.19gで、床から僅かに浮いた状態で出土した。

第90号住居跡 (第139図)

K-12グリッドに位置する。平面は、軸長3.29m×4.71mの長方形を呈し、深さ9cm程を測る。北側へ僅かに下って傾斜している。主軸方位は、N-1°-Wを指す。

カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は77cm×35cmの楕円形で僅かな窪み状を呈する。遺物は、土師器坏・鉢・甕、土錘が出土した。

第89号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	5.85	1.80	0.50	14.74	B a IV	褐灰	100	
2	6.44	1.44	0.52	(11.20)	B a IV	浅黄橙	95	

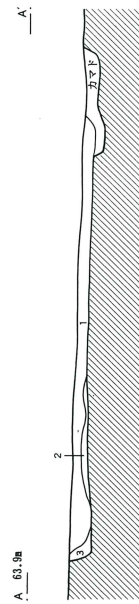
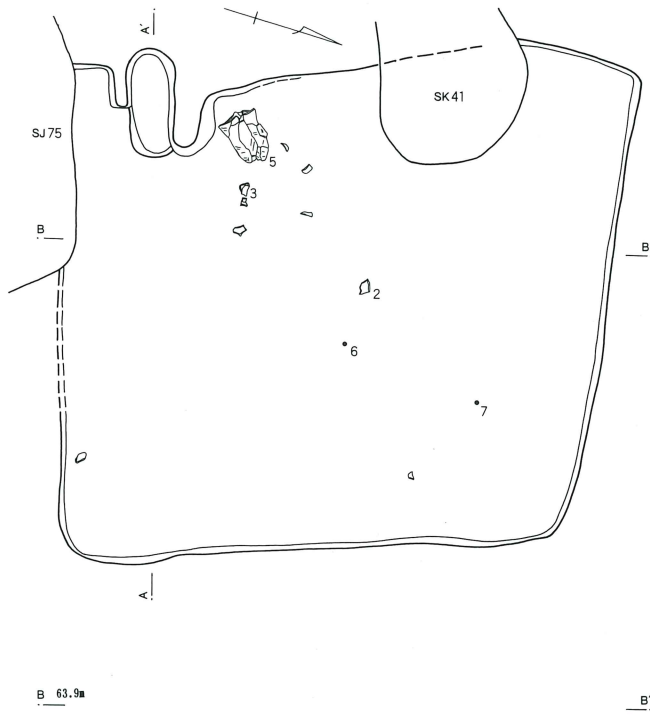
第90号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.10)	1.15	0.46	(2.14)	B a	にぶい黄橙		貯蔵穴

第91号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.97)	(1.26)	(0.46)	(1.32)		褐灰		C区
2	(1.55)	1.32	0.49	(2.20)	B	褐灰	10	カマド
3	(2.25)	1.40	0.40	(2.92)	B a	浅黄橙	20	C区
4	(2.63)	1.60	0.48	(4.76)	B a	黄灰	20	D区
5	(2.85)	1.54	0.44	(4.59)	B	褐灰		C区
6	(3.83)	1.46	0.50	(6.37)	B a	灰黄褐	40	C区
7	(4.50)	1.32	0.48	(6.10)	B a	にぶい橙	90	C区
8	(4.62)	1.73	0.42	(11.78)	B a	橙	70	D区
9	4.89	1.94	0.60	14.96	B a V	にぶい黄橙	100	D区
10	5.41	1.61	0.52	11.78	A a V	淡黄	100	B区
11	(6.02)	1.66	0.53	(13.35)	B a	浅黄橙	70	カマド
12	6.15	1.67	0.52	12.13	B a IV	灰黄褐	100	A区
13	6.64	1.67	0.55	15.65	B a III	にぶい黄橙	100	D区

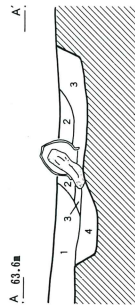
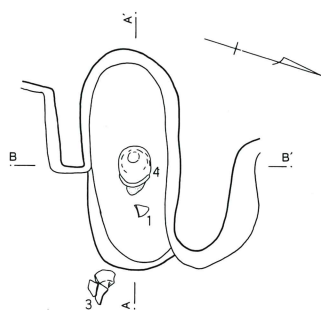
第137図 第89号住居跡・カマド



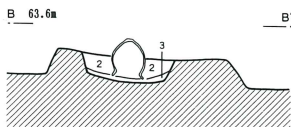
- 1 灰黄褐色 (10YR5/2) 地山ブロック・炭化物多、褐灰色粘質土ブロック
- 2 褐灰色 (10YR6/1) 炭化物・褐灰色粘質土ブロック
- 3 褐色 (10YR4/4) 地山ブロック多、砂質



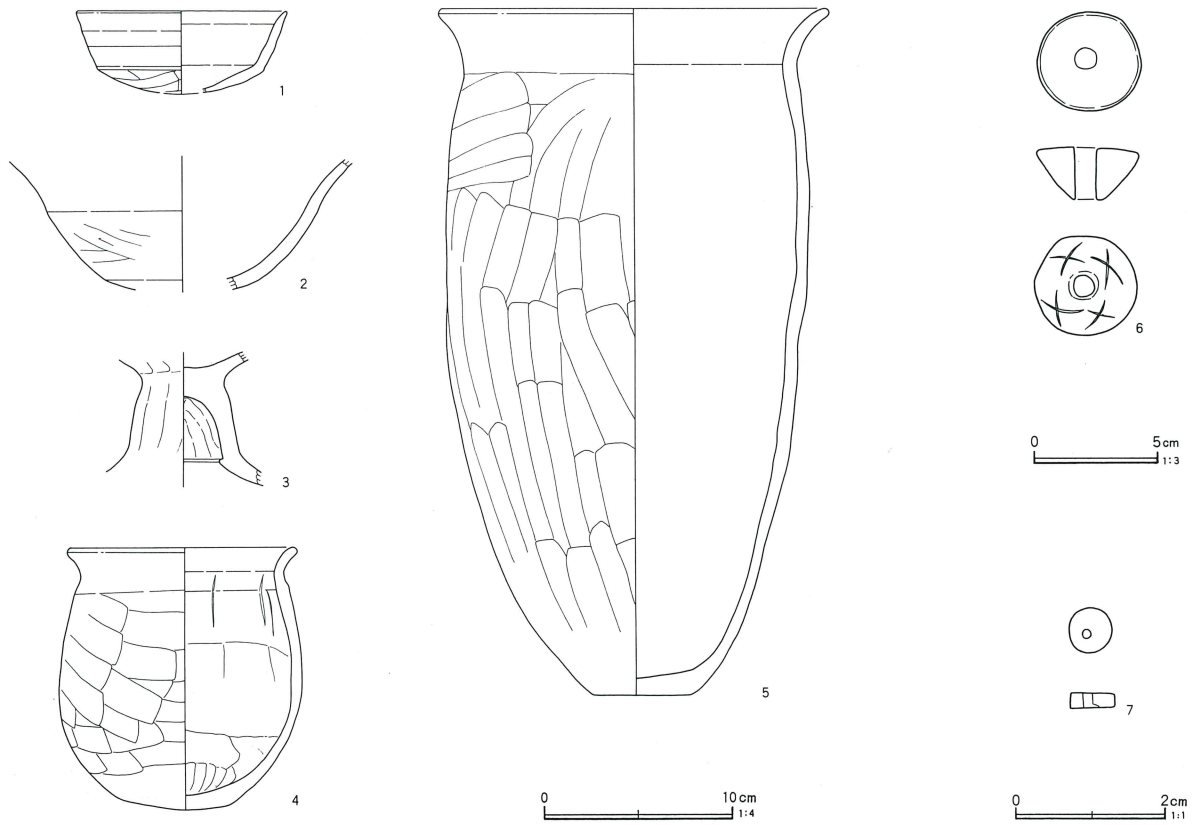
カマド



- 1 灰黄褐色 (10YR5/2) 地山ブロック・炭化物多、褐灰色粘質土ブロック
- 2 明赤褐色 (2.5YR5/8) 焼土粒・焼土ブロック・炭化物多
- 3 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・焼土ブロック・炭化物多
- 4 暗褐色 (10YR3/3) 地山ブロック多、やや砂質



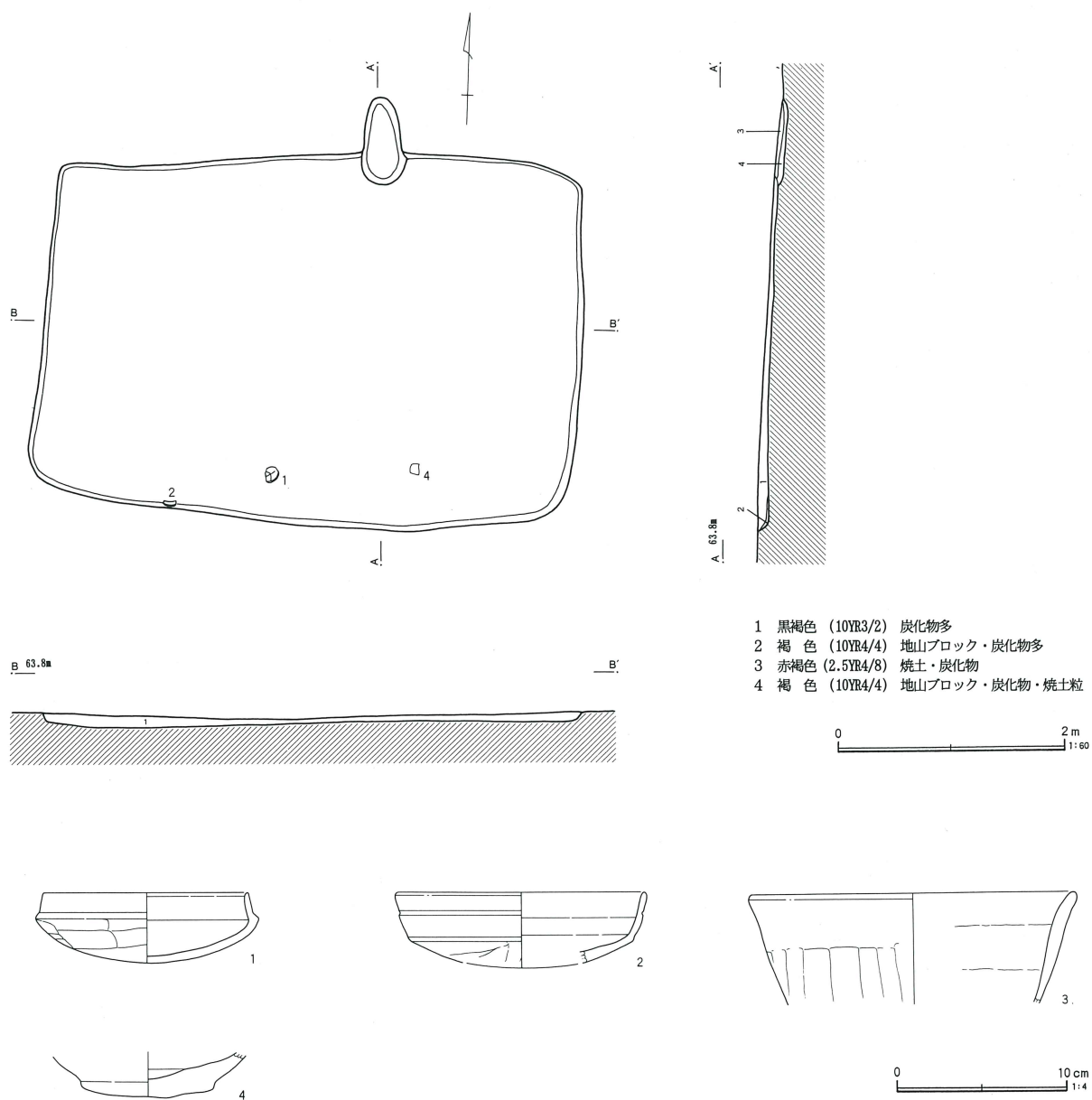
第138図 第89号住居跡出土遺物



第89号住居跡出土遺物観察表 (第138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.2)	(4.4)		BDEJ	普通	にぶい橙	30	Na3	カマド内・前床+5cm
2	高坏				BEJL	普通	橙	30	Na12	床 器面荒れ 整形不詳
3	高坏				BE	普通	橙	70	Na4・Na9	床 外面ヘラナデ 内面指ナデ
4	甕	11.8	13.9	5.8	CHJL	普通	にぶい黄橙	100	Na1	カマド
5	甕	20.2	36.4	(5.0)	JL	普通	橙	90	Na5	床

第139図 第90号住居跡・出土遺物



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 炭化物多
- 2 褐色 (10YR4/4) 地山ブロック・炭化物多
- 3 赤褐色 (2.5YR4/8) 焼土・炭化物
- 4 褐色 (10YR4/4) 地山ブロック・炭化物・焼土粒

第90号住居跡出土遺物観察表 (第139図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.0	4.1		B E	普通	橙	95	No1	床
2	坏	(14.5)			B D E G	普通	明赤褐	15	No3	床 + 4 cm
3	鉢	(19.0)			D J K L	普通	にぶい橙	30	C区	外面↑方向ヘラ削り
4	甕			7.6	B D J	良	橙	95	No2	床

第91号住居跡 (第140・141・142図)

K・L-12グリッドに位置する。第96号・第113号住居跡を切っている。東壁で他の住居跡(第91B号住居跡)のカマドを切っている。平面は、軸長3.86m×4.15mのやや歪んだ方形を呈し、深さ32cm程を測る。主軸方位は、N-3°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は110cm×52cm、一部がピット状で深さ23cmを測る。煙道部

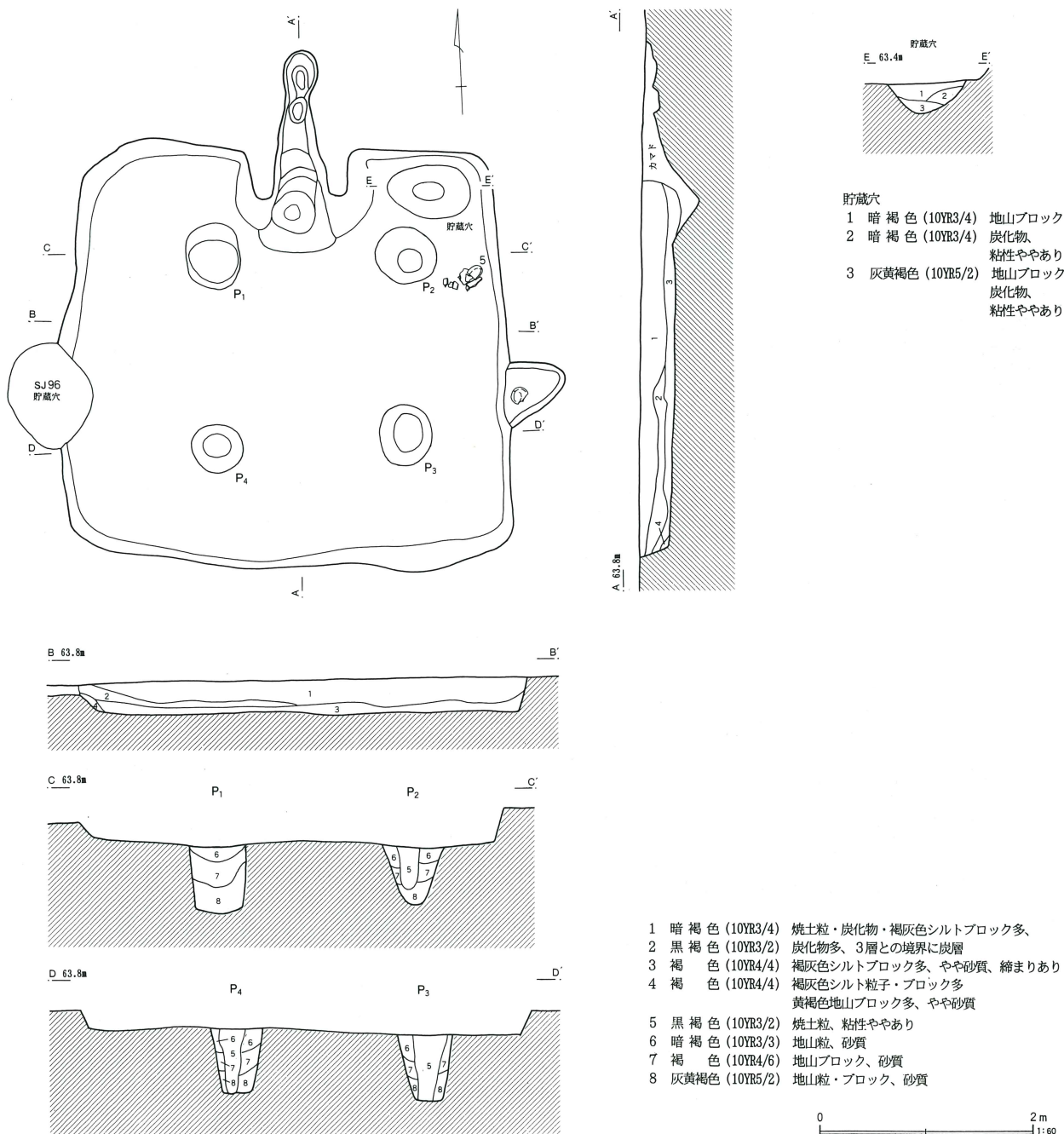
は75cm確認できた。

柱穴は支柱穴4本が検出された。径45cmから63cmの円形で、深さ55~62cmを測り、ピット2・3・4では柱痕が確認できた。

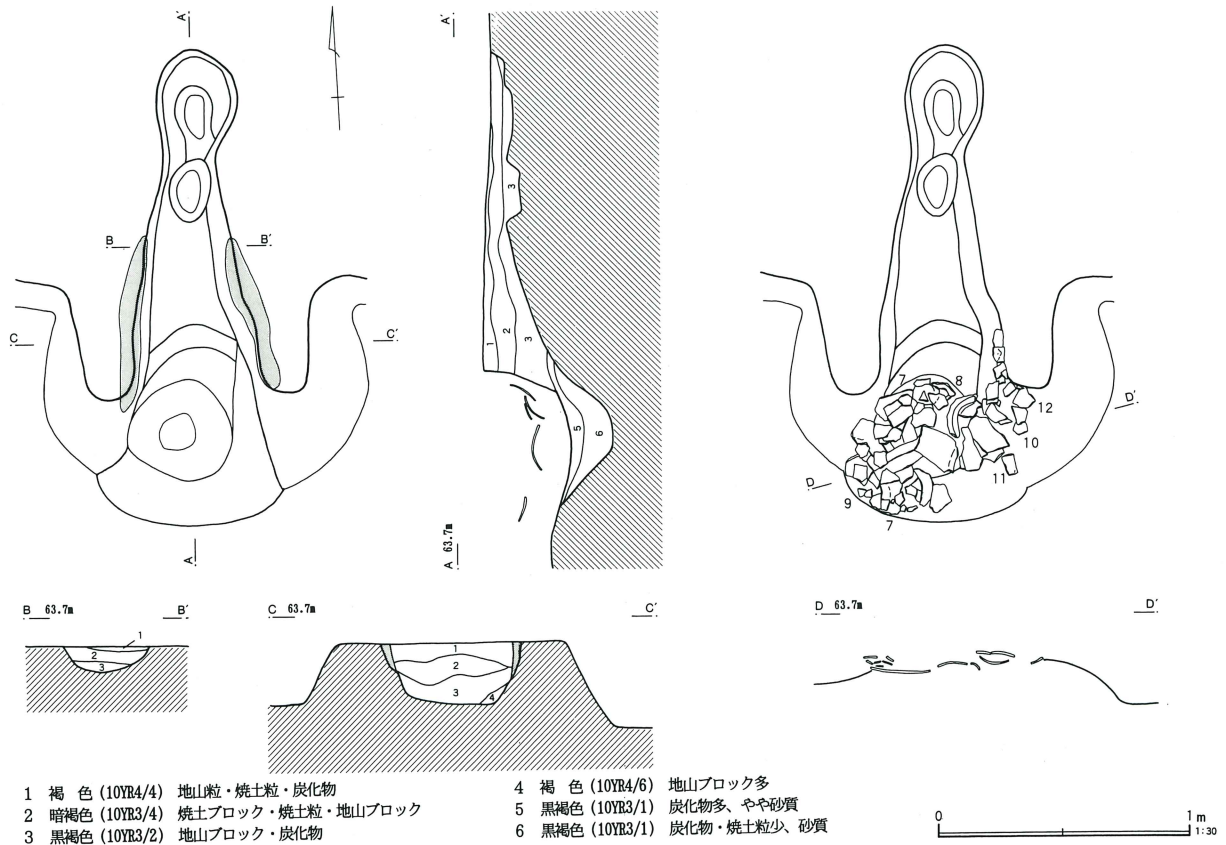
貯蔵穴は、北東隅に備わる。軸長77cm×48cmの楕円形を呈し、深さは25cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕・甑、土錘が出土した。

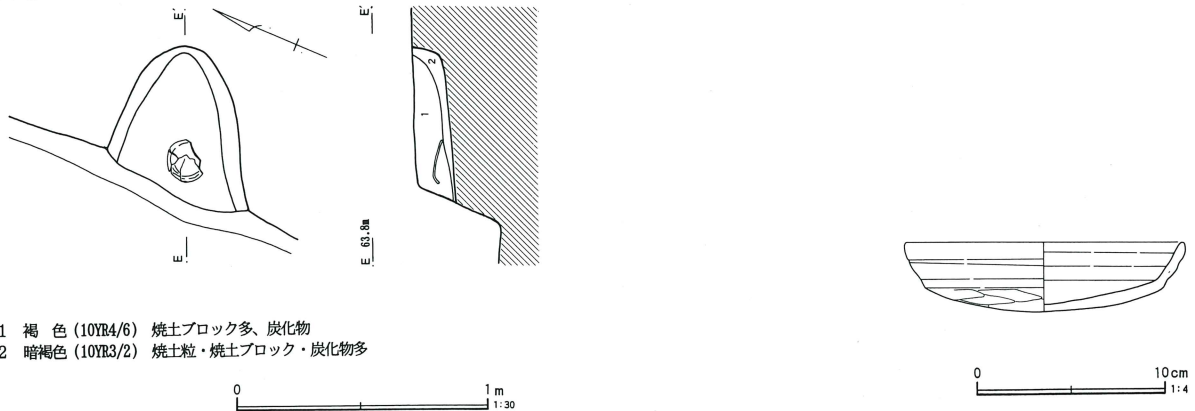
第140図 第91号住居跡



第141図 第91号住居跡カマド



カマド B



第91号住居跡カマド B 出土遺物観察表 (第141図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	14.7	3.7		BDE	普通	にぶい橙	85	カマド B No1	